

## 中国華北・東北・東部モンゴル地域の

## 宗教と文化に関する基礎研究

——本学図書館所蔵「東本願寺旧蔵資料」海外布教関係部分調査の過程から——

桂華 淳 祥  
山本 琢

### 海外布教史研究の意義と今後の展望

本学の真宗総合研究所〔指定研究〕国際仏教研究において、二〇〇五年度から進めてきた「中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化」研究班は、中国の東北師範大学（吉林省長春市）との学術提携による共同研究プロジェクトとして、地道かつ着実な歩みが続けている。具体的な活動としては、東北師範大学と本学の研究者が往来し双方にて当該テーマに関する共同研究会を実施し、さらに現地関係者の協力を得て中国華北・東北・東部モンゴル地域に存する仏教遺跡あるいは近時急速に復興しつつあるチベット仏教寺院など宗教施設の探訪調査をおこなった。その一方で、本学図書館に所蔵されるが未整理の状態にある「東本願寺旧蔵資料」の一部「旧教学課資料」（いずれも仮称）に含まれる二〇世紀初頭から中頃にかけての真宗大谷派海外布教関係事務書類の内容調査にも着手した。このうち後者では、本プロジェクトの当初の対象地域である中国東北地域（旧満洲）に関する部分について調査を完了するに至った。そこでここでは調査過程からの報告とともに、その結果を資料一覧として紹介したい。

資料一覧は、調査の結果得られた約一四〇〇点におよぶ任免辞令などの布教関係事務書類を掲げ、標題・年次・発給者・受給者・その他についてのデータを付したものである。現在のところ当該地域に関してこれだけまとまった資料を残す日本仏教宗派は他に知られておらず、この一覧によって本資料が二〇世紀初頭から日本仏教諸教団が鎬を削って展開した中国東北地域への布教を解明する重要な一次資料群として注目すべきものであることが確認される。この書類綴りは、当時は東本願寺教学課が所管し、のちに真宗大谷派宗務所組織部の所管となっていたもので、一九六〇年代に往時の活動資料として本学図書館に寄託されたとのことである。このようにして残された資料であるが、その後四十余年、書類内容の詳細にまでは調査が行われない状況が続いてきたことから、本プロジェクトを機会としてそれに着手したものである。資料の内容については後掲の山本報告と一覧に付された凡例を参照されたい。

ちなみに、本研究班が築きつつあるその他の研究成果については、機会を改めて報告する予定である。

次に本研究班の今後の方向性について一言しておきたい。そもそも本研究班は、東北師範大学との学術提携という利点を生かし、大学の所在地、すなわち日本の傀儡国家として誕生した満洲国の統治下となり、日本の宗教勢力の影響をも蒙った中国東北地域に焦点を置く研究からスタートした共同研究であるが、その後、同じく満洲国の治下にあった東部モンゴル地域を含めた研究に移行すると、そこにも在地宗教に対する日本仏教の働きかけの形跡が色濃く見られるなど、宗教活動に関する課題がますます多くなってきている。またその課題は、単に二〇世紀前半の事柄に限らず、伏線にある各地域で育まれてきた宗教の歴史的な背景にまで及ぶことも現地調査を通じて知見され、それらによって、日本仏教の海外における布教の足跡をたどりその実態の解明を目指すことが、それぞれの地域で行われている宗教の展開過程の究明にも繋がって行くことを実感した。一方、前述のように、ここで報告する資料一覧は「旧教学課資料」のうち調査を終えた中国東北地域分であるが、当該資料にはそれ以外にも華北・華中地域に関する書類も少なくなく、さらには朝鮮半島・台湾などの各地域に係わるものもある。



本プロジェクトでは、このような状況を踏まえて今後さらに中国華北・華中地域さらには朝鮮半島へと範囲を拡大しながら宗教と文化の問題について追求して行くことが構想され、布教関係資料については、引き続き華北地域に関する調査に着手しているところである。このような資料の存在する地域の研究を基軸としながら、実地調査を含めた多面的な検討を進めることが、徐々にではあるが東アジア全体の宗教活動の有様を俯瞰できるような成果に繋がっていくのではないかと思っている。

なお本研究活動は、その中心をなす各研究員・研究補助員は勿論のこと、実際に埃にまみれた書類の綴りを紐解き、その一枚一枚を丹念に調べて整理するという作業に携わる方々の協力なくしては為し得ないことである。末筆ながら、長期間にわたって貴重な資料の閲覧を許された図書館のご厚意と班員各位に御礼申し上げますとともに、今後いっそうの御助力をお願いする次第である。

(研究班キャップ 桂華淳祥)

【付記】後掲の『真宗大谷派中国東北地域(旧満洲)布教資料一覧』とそれに関する報告は、資料の所蔵機関である本学図書館の許可を得て、本研究班の研究成果の一部としてここに載録するが、未だ「東本願寺旧蔵資料」全体が整理されるまでには至っていないので、資料の原本については、現時点において一般の閲覧には供されていない。「東本願寺旧蔵資料」の整理状況については図書館に問い合わせ願いたい。

### 真宗大谷派の中国布教に関する資料の紹介とそれをめぐる研究の展望

大谷大学図書館には、二〇世紀初頭から中頃までの、真宗大谷派教団による東アジア布教関係の資料が所蔵されている。それは旧東本願寺教学課、のちに真宗大谷派宗務所組織部の所管にあった事務書類群であり、一九六〇年代に過去の海外布教の記録として大谷大学図書館に寄託されたものである。以来、ほとんど手が付けられないまま保管されてき

たが、二〇〇五年度より真宗総合研究所〔指定研究〕国際仏教研究の活動の一環としてその調査が進められ、この度、調査を終えた中国東北地域（旧満洲…以下、説明の便から満洲と称す）部分について『真宗大谷派中国東北地域（旧満洲）布教資料一覧』（以下『満洲布教資料一覧』と略称）として報告することとなった。

そこで本報告では、後掲の『満洲布教資料一覧』に記されている資料について、内容に従い五項目に分類してその概略を紹介するとともに、先行研究を参考にして近代における日本仏教の対東アジア布教活動に関する研究動向を概観しつつ、本資料の持つ意味について言及しておきたい。

【『満洲布教資料一覧』掲載資料の概要】

（1）布教使・開教使出願関係書類、布教使・開教使任免・人事関係書類

布教使・開教使の人事に関する文書は、当該資料のうち約半数を占める。満洲国が建国された一九三二年（大同一、昭和七）から始まった満洲移民指導者の募集・選考および採用された者の満洲拓事講習所・哈爾濱訓練所における語学や布教使としての教養・精神の修得などに関する書類である。このほか、人事異動に関する資料も多く含まれており、各布教施設の開設に伴う人事異動の様相などを明らかにすることができると思われる。

（2）別院・布教所開設関係書類、本尊仏具類下附関係書類、設備費・交通費等財政関係書類、布教所設計・見取図

満洲布教における別院・布教所の開設、布教の展開については木場明志氏の論考<sup>1</sup>に詳しい。木場氏は布教の開始時期や別院・布教所の設置の時期・場所の特定、教団の布教態勢などを解明しているが、本資料群には財政関連資料も多数含まれていることから、さらに布教施設の開設に伴う経済面の特徴などを把握することができると思われる。また、別院・布教所の配置図（No. 21）や設計図（No. 333）も含まれており、当時の布教施設の建築様式や機能をうかがい知るこ

ともできよう。以下、参考までに満州地域について現段階で把握されている別院・布教所名を挙げておく。

○別院

満洲別院・大連別院・奉天別院・哈爾濱別院・安東別院

○布教所（順不同・布教所の語は省略）

旅順・沙河口・甘井口・鞍山・遼陽・本溪湖・鷄冠山・鐵嶺・大東・撫順・四平街・通化・吉林・敦化・新站・五常・三棵樹・牡丹江・城子河・新密山・黒咀子・黒合・勃利・宝清・千振・彌榮・佳木斯・依蘭・綏稜・北安鎮・琦玉村・齊々哈爾・白城子・黒河・海拉爾・満洲里・赤峰・承德・平泉・阜新・通遼・錦州・壺蘆島・朝陽川・龍井・局子街・図們・汪清・問島・長春・慶源・灰幕洞・寧安・凌源・大黒河・三棵樹・濰県・克山・大泉子・甘南・東安・鶴立・香川開拓団・山形郷開拓団・六道河・高鶯・暉春・沖河・田師付・瑞穂・四国開拓団・西二道崗開拓団・西二道崗東光・三道溜鹿西郷開拓団・久田見・興城・湯原・八紘・帽児・雞寧・埴科・栗熊・莊河・海倫・富錦・国礎・穆稜・錦西・涼台・北五道崗・九台・盤山・亜州・郡上開拓団・嫩江・老石房・霞城・虎林・南叉・方正・清和・柳樹河開拓団

(3) 手紙、現地報告書、現地新聞記事、現地布教テキスト、仏教会等現地仏教交流書類

手紙や報告書は、満洲開教監督部、満洲拓事講習所、布教使またはその関係者から差し出されたものが多い。主に、現地での景気や開拓団の近況、そして各教団の進出状況などを伝える現地報告書的な性格（No. 431～438）のものがある。こうした現地からの情報を踏まえ、教団側は戦略的に満洲布教を展開したと考えられる。ほかにも報告書には、各仏教教団との交流や布教使・開教使の情報収集、布教活動における人的ネットワークや現地宗教・現地人に与えた影響などについて言及したものもあり、布教活動の様相を明らかにすることができる。

(4) 傷病兵慰問・従軍布教等軍事関係書類

本資料には、療養所慰問 (No. 424・424) や戦没者追弔 (No. 433) などの軍事関連資料もみられる。なかでも、南京の説教場拡張に使用されるはずであった費用が、従軍僧の派遣用品の準備費に宛てられた事例 (No. 904~907) や、同時期に従軍布教に伴う従軍僧への本尊下附の事例 (No. 1024) は興味深い。これらの資料は、開拓団など現地日本人中心であった従来の布教活動が、一九四一年(康德八、昭和一六)の戦況の緊迫化によって従軍布教へとシフトすることがあったことを表すものといえよう。

(5) 個人・団体宛下附申請書類

一九三三年(大同二、昭和八)頃から、別院・布教所設立に尽力した世話方や総代に対する功勞として、満洲開教監督部や布教所より記念品・法宝物などの下附を申請したものがみられるようになる。具体的には、念珠 (No. 550) や木盃 (No. 1116・1287) などのほか、特に功績のあったものに対しては染筆院号・法名 (No. 929) が下附された。なかでも、陸軍中將への下附の事例 (No. 474・475) から、現地における布教活動が軍部との関係のなかで行われていたことがうかがえる。また、従軍布教・慰問に功績を残した布教使には、褒章を下附する事例 (No. 388) も見られる。

これらの資料は教団側の記録であるが、その内容は教団内部の事柄に留まらず、現地の政治的・宗教的実情を反映する性格をも有している。また従来の研究で主に用いられている教団機関誌のような、情報を発信するに際して制約を受けたことも考えられる資料とは異なった生の資料であり、当該期における満洲地域の様々な実態を明らかにする上で極めて有用であろう。

【日本仏教の対東アジア布教活動に関する研究動向】

日本が欧米諸国の植民地となることへの危機意識を抱いていた明治政府は、日本の独立を維持するために欧州諸国のような国家、つまり帝国主義化を目指した。これ以降、日本は日清・日露戦争を経て帝国主義国家として確立し、さらに第一次世界大戦を契機に大国としての国際的地位を獲得するに至る。<sup>2</sup>

そして一九二〇年代以降、帝国主義による植民地経営や資本主義の発達に伴う市場獲得などの満蒙問題を理由に、中国大陸への進出政策を取り続けた日本は、一九三一年九月に柳条湖事件に端を発した満洲事変を起こして中国東北地域を占領し、翌一九三二年に「五族協和」「王道楽土」をスローガンとする傀儡政権である「満洲国」を建国した。<sup>3</sup>その後急速に満洲の近代化が進む一方、日本から満洲への移民、いわゆる満蒙開拓移民団による入植政策が実施され、一九三六年には二万人の家族移住者が、そして一九三八年から一九四二年の間に二〇万人の農業青年が送り込まれることになった。<sup>5</sup>

こうした動きは日本仏教界にも大きく影響し、国家や社会に同調する「時代対応型仏教」が生み出され、アジア侵略・移民政策に追従する形で、各仏教教団は近隣アジア諸国への布教を展開した。そして満洲は、日中両国からの移民の流入によって様々な宗教が混在し、さらに政治的抑圧・編成を受ける状況にあった。<sup>6</sup>

近代のアジア布教に関する研究史は藤井健志氏が整理している。それによると、従来は右のように東アジア地域への布教活動が日本の帝国主義化に基づくアジア侵略に加担する形で展開していったとする視点で語られ、教団・日本国家のあり方に反省を促すという、規範的研究が多かった。<sup>7</sup>なかでも浄土真宗東西両派を対象とする研究が進展している。教団が編纂した資料類<sup>8</sup>と諸研究から各地域における布教の展開や態勢などの具体相が明らかにされてきた。その一方で、他宗派の布教活動・展開については、曹洞宗など一部の教団を除いてその具体相が不明であり、今後の研究の進展が期待される。

そして近年、戦前期における日本仏教の海外布教に関する研究が盛んに進められている。その研究成果としては、まず①機関誌などの教団側資料から布教の展開過程が解明された。また、②各宗各派の全体的な布教活動が開拓団や軍隊慰問など現地の日本人を対象にしたものであり、仏教界が独自に布教地を開拓したのではないこと、さらに③現地に對する布教はあまり行われず、日本仏教は現地人には受容されなかったこと、などが東アジア布教の全体的動向として明らかとなった。

しかし先述の通り、東アジア布教、特に植民地期の満洲布教に対する先行研究の評価は「侵略加担」に帰結することが多く、侵略・抑圧された側の視点や現地の中国仏教界の受けた影響、諸宗教、地域レベルといった多角的な視点からの研究アプローチが少なく、さらに資料的制約という問題から、植民地期満洲の宗教状況や実態に迫った研究は見られなかった。<sup>9</sup>『満洲布教資料一覽』からもうかがえるように、一部に従軍布教や傷病兵慰問など、教団と軍部との関係が見受けられるが、これらは戦況の緊迫化という時代の要請に応じて行われたものであり、教団側から積極的に侵略へ加担したということではない。

前述のように、満洲布教資料は大谷派教団の布教活動だけでなく、中国仏教・日本仏教の各教団と現地人との交流や情報収集、当該期の満洲の実情などを知る上で非常に有効であり、今後こうした研究史的課題を克服していく上で重要な資料になると思われる。二〇〇五年以降、日中両国の研究者による共同研究の成果が出され、植民地期満洲における諸宗教の新たな様相が明らかにされつつあるが、<sup>10</sup>まだまだ研究が立ち遅れているとしなければならない。今後、新たな研究の進展や資料の発掘・公開が期待される。本資料一覽が今後の研究発展の一助となれば幸いである。

(研究補助員 山本 琢)

註

- 1 木場明志「満洲における大谷派開教」（小島勝・木場明志編『龍谷大学仏教文化叢書三 アジアの開教と教育』〈龍谷大学仏教文化研究所、一九九二年〉）、「真宗大谷派海外（満洲）布教所設置・人事データ」（木場明志・程舒偉編『日中両国の視点から語る植民地期満洲の宗教』〈柏書房、二〇〇七年〉）。
- 2 「アジアの日本観・日本のアジア観」（『岩波講座日本通史』第一九卷近代四〈岩波書店、一九九五年〉）。
- 3 伊香俊哉『戦争の日本史二二 満洲事変から日中全面戦争へ』（吉川弘文館、二〇〇七年）。
- 4 満洲事変後、日本が満洲・内蒙古などに行なった農業移民団。農業従事者を中心に、村落や集落などの地縁関係に重点をおいた移民団が日本の各地で結成された。満洲国の治安維持や対ソ戦備など国策的な性格を帯びており、武装して組織的な軍事訓練も受けていた。
- 5 「アジアの日本観・日本のアジア観」（『岩波講座日本通史』第一九卷近代四〈岩波書店、一九九五年〉）。
- 6 木場明志「日本仏教の満洲（中国東北地域）布教と現地仏教の動向」（『植民地期中国東北地域における宗教の総合的研究』〈平成一三年度～平成一六年度科学研究費補助金（基盤研究（B））—（1）— 研究成果報告書〉）。後に「日本仏教の満洲布教と現地仏教再編の試み」（『日中両国の視点から語る植民地期満洲の宗教』〈柏書房、二〇〇七年〉）に一部改定再録。
- 7 藤井健志「戦前における仏教の東アジア布教—研究史の再検討—」（『近代仏教』六号〈日本近代仏教史研究会、一九九九年〉）。
- 8 『宗門開教年表』（真宗大谷派宗務所組織部、一九六九年）、真宗大谷派教科書編纂委員会編『教団のあゆみ 真宗大谷派教団史』（東本願寺出版部、一九八六年）、本願寺史料研究所編『本願寺史』第三卷（浄土真宗本願寺派宗務所、一九六九年）、『海外開教要覧—海外寺院開教使名簿—』（浄土真宗本願寺派、一九七四年）など。
- 9 木場明志・程舒偉編『日中両国の視点から語る植民地期満洲の宗教』（柏書房、二〇〇七年）の「はしがき」参照。
- 10 前出注6参照。

『真宗大谷派中国東北地域（旧満洲）布教資料一覽』

凡例

一、本一覽は大谷大学図書館所蔵「東本願寺旧蔵資料」の一部「旧教学課資料」に含まれる真宗大谷派海外布教関係部分のうち、中国東北地域（旧満洲）に関する書類綴（名称はそれぞれの綴りに記されている題名に則して付した）の調査結果を、おおむね年代順に列記したものである。

『昭和三年開教地報告書』

『昭和五年開教事務綴』

『昭和八年開教事務書類』

『昭和九年開教地報告書』

『昭和一六年満洲人件・雑件書類』

『昭和一六年度満洲前回議書・昭和一六年度満洲関係』

『昭和一五年度満洲全会議書』

『昭和一九年度満洲會計原書』

『布教所図面・別院配置図』

『満洲開教事務報告』

『満洲開教参考資料』

『満洲人事関係書類』

『満洲財政関係書類』



『満洲拓事講習生出願書類原書』

一、調査記録として資料の形をできるだけ忠実に伝えることを旨とし、以下の方針に従って作成した。

- ① 資料名称は内容を端的に表すよう心掛けた。
- ② 年次については、書類の発給・書簡の差出の年月日を記した。また同一資料内に複数の年次がみられる場合は基本的に上記年月日のみを採用したが、申付日などが記載される上申書については両者を併記したものもある。
- ③ 資料の記載項目が多岐にわたる場合は、必要に応じて備考欄に補足説明をした。
- ④ 資料に添付されている付箋・貼紙の内容は、備考欄において原文または要約の形で記載した。
- ⑤ 破損等で判読不能の文字は□、あるいは「」で示した。
- ⑥ 正字および異体字・俗字・略字は、常用漢字または通行の字体に改めた。ただし、一部については資料のままの字体を用いたものもある(例 人名・寺院名・役職名など)。
- ⑦ 変体仮名・合字等は通行の字体に改めた。
- ⑧ 引用文には「」を施した。
- ⑨ 明らかな誤字・衍字とみられるものは正した。

一、各資料には具体的内容を端的にあらわす左記のような分類コードを付した。

【内容分類コード一覧】

- 300 機関報告書・年次総合報告書
- 301 開教準備・本尊仏具類準備開設(図面・写真を含む)、布教所分布(図・表を含む)

- 302 直接布教（法話会・定例説教・講・年中行事など）
- 303 間接布教（施療伝道・子供会・青年会・婦人会・娯楽・映画・紙芝居・毛綱など）
- 304 福祉事業（託児所・娯楽所・無料ホーム・授産所など）
- 305 教育事業（幼稚園・小学校・中学校・語学学校・技術専門学校・教師要請など）
- 306 軍事関連（傷病兵慰問・戦没者追弔・軍事ホーム・軍隊慰問・パンフレット配布・千人針・名号・忠魂碑・忠霊塔など）
- 307 任免・人事（履歴書など）
- 308 行政関連（区画変更）
- 309 財政関連（予算・補助金申請・医療費など）
- 310 特派布教・特派巡回（門主視察など）
- 311 留学生・学術調査研究・現地宗教施設
- 312 仏教会・現地仏教交流
- 313 仏教婦人会（日華仏教婦人会などを含む）
- 314 仏教諸派
- 315 神道
- 316 新宗教
- 317 皇室関連
- 318 規則
- 319 現地人僧侶養成

- 320 出版・雑誌・新聞（布教テキスト・メディアなど）
- 321 現地宗教事情・現地反応（現地刊行新聞記事など）・内政関連
- 322 資産・設備関連
- 323 特務関連
- 324 抗日行動
- 325 帰還報告書・戦後処理（帰国関連全般）
- 326 個人・団体宛下附物（院号・名号・功劳・賞罰など）
- 327 日本人収容所（図面・写真を含む）
- 328 慈善・社会事業（医院・医療救済など）
- 329 |
- 330 その他（訓練所関係・死亡通知など）

附記

一、資料の所蔵者である大谷大学図書館から、貴重な資料の閲覧・調査許可をいただいた。記して御礼を申し上げます。

一、資料の調査・翻刻においては、天児真・平松正宣・三角明々・祐川恵理・石黒智教の各氏（ともに大谷大学大学院生）の全面的協力を得た。篤く御礼申し上げます。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.
310	310	321 301 ・ 307	322 301 ・ 307	307 ・ 321	302 ・ 309	314 ・ 321	326 314 ・ 321	309 307 ・ 311 308	309 307 ・ 311 308	分類 No.
加藤特派布教使巡回日程	特別伝道開催に付加藤智学派遣及び巡回日程の儀伺書	四平街開教に關し芳野正照氏辭令交付依頼書	四平街布教所開設に關し伺書	崑山頼哲書簡一部	二月一九日付照会要件に対する回答依頼書	張作霖葬儀に付西本願寺弔問使訪問の儀新聞記事切り抜き	張作霖葬儀に付弔問認可及び弔詞下附の儀具申書	二月二七日付金融事情調査に關し至急回報依頼状	昭和二年度海外派遣布教師及び留學生数並びに仕送金額調査及び回報依頼書	資料名称
滿蒙開教監督部	奉天別院藤永彰隆	(崑山) 頼哲	在長春崑山頼哲	崑山頼哲 滿洲長春東本願寺	長春布教所崑山頼哲		奉天布教所在勤開 教使藤永彰隆	文部省宗教局長下 村壽一	文部省宗教局長下 村壽一	発給者
		新田監督	滿蒙開教監督 新田神量		教学課		教学課	真宗大谷派 管長	真宗大谷派 管長伯爵大 谷光暢	受給者
			昭和3年 1月8日		昭和3年 6月3日		昭和3年 9月28日	昭和3年 5月5日	昭和3年 2月27日	年次
						※新聞記事は「謝領□人張學泣血稽類」などと印刷された紙に貼付。			※金融事情調査上大蔵省理財局より申越があり調査を依頼。	備考

17	16	15	14	13	12	11
322 301 307	309 301 308	308 301 309 307	308 301 309 307	322 314 301 321 309	301 322	322 301 309
遼陽布教所設置完了に関する報告書	四平街警察署に対する回答状 送付に付礼状	四平街布教所設立及び維持費等に関する照会状	四平街布教所設立及び維持費等に関する照会状	撫順布教所新築に関し補助金無下附に付上申書	撫順布教所本堂及び庫裡工事報告書	撫順大谷派本願寺布教所本堂及び庫裡新建築収支決算明細書
開教員藤原開運	満洲遼陽大谷派本願寺布教所設置係	芳野正照	京都真宗大谷派本願寺署長	在勤廣野訣、総代伊東直、松井辰三郎、山田小四郎、三島三右え門、他世話方一同	京都真宗大谷派本願寺署長	京都真宗大谷派本願寺署長
教学部	教学課	教学部長	教学部長	大谷派本願寺事務総長 春日圓城	教学部長	教学部長
昭和3年 2月8日	昭和3年 4月22日	昭和3年 4月12日	昭和3年 3月13日	昭和3年 8月8日	昭和3年 8月8日	昭和3年 8月8日
			※封筒あり。	※追伸あり「満鉄撫順炭礦及び大谷派本願寺より下附金無し」。	※起工式 大正15年4月10日 上棟式 同年7月30日 竣工 同年10月30日 工事請負人 伊賀原組伊賀原徳太郎 敷地 350坪 仮入仏式 同年11月7日	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

25	24	23	22	21	20	19	18
309	309	320 303 ・ 306	320 ・ 322	301 ・ 322	317	321 305 ・ 330 310	301 ・ 308
遼陽布教所補助金交附に付上 申書	遼陽布教所月額補助支出に付 上申書	同朋第三卷第一一號（昭和六 年一二月号）	昭和四年一月二六日付「満洲 日報」	大連大谷派本願寺別院配置図	故久邇邦彦王殿下位牌を安置 し法要を修する願に付上申書	京釜沿線教勢視察報告書	遼陽布教所開設許可状写
神量	之	釜山府東本願寺別 院同朋青年會文書 傳道部	—	—	台北別院輪番芳原 政信	—	関東長官伯爵児玉 秀雄
教学課	教学部長	—	—	—	寺務総長大 谷瑩誠・内 事局長信國 堅城	—	遼陽佟家大 街23番地藤 原開運外四 名
11月 28日	昭和4年	昭和6年 12月1日 発行	昭和4年 1月26日	—	昭和4年 2月8日	—	昭和3年 8月12日
—	※遼陽布教所月額補助20円。	※目次、冠頭言(1)、日本佛教の特 質・暁鳥敏(2)、満洲駐屯軍を慰問 して・渡邊圓(6)、鬼の舌・K・S・ K(10)、不断煩惱得涅槃・鐵泉 (11)、別院彙報(14)、人事往来 (15)、婦人會だより(15)、同朋學 園だより(15)、幼稚園だより (15)。※9、10頁は欠落。	※紙面七頁に「大連一の大きなお寺 の建築東本願寺大連別院」の記事あ り。	※縮尺六〇〇分の一。	—	※六月一二日より二六日まで。	—

34	33	32	31	30	29	28	27	26
330	330	330	320	307・310	307・310	307・310	307・310	330
大連別院経営の大慈園へ下附の染筆額様式に付上申書	大連別院経営の大慈園に「佛心者大慈悲是」の染筆額下附に付上申書	大連別院経営の大慈園に「佛心者大慈悲是」の染筆額下附に付上申書	昭和四年二月一六日付大連新聞	山内修謙海外派遣証明書下書き	山内修謙海外派遣証明書	山内修謙海外派遣証明書	山内修謙海外派遣証明書	遼陽布教場在勤箱田秀励大谷派本願寺教学課主任高濱哲雄宛書簡
神量	満洲開教監督新田	教学課長長浜哲雄	—	真宗大谷派本山本願寺寺務総長	真宗大谷派本山本願寺寺務総長	真宗大谷派本山本願寺務総長大谷瑩誠	真宗大谷派本山本願寺務所	遼陽布教場在勤箱田秀励
教学部	寺務総長大谷瑩誠	宗務総長	—	山内修謙	山内修謙	山内修謙	山内修謙	大谷派本願寺教学課主任高濱哲雄
昭和5年1月29日	昭和4年3月10日	昭和5年2月4日	昭和4年12月16日	昭和4年4月23日	昭和4年4月13日	昭和4年4月30日	昭和4年4月13日	昭和5年1月15日
尺。 ※「佛心者大慈悲是」縦二尺、横五尺。	—	※御染筆額面「佛心者大慈悲是」、文字縦二尺、横五尺。	—	※英文で記載。	※英文で記載。	—	※枠外に英文三通とある。 ※昭和4年4月13日の左横に30日とペン書あり。 ※寺務所の所に丸印し総長と書き直し、大谷瑩誠(印)と書き加えられている。	※封筒あり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

44	43	42	41	40	39	38	37	36	35
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
福岡県三池郡銀水村圓光寺住職深奥九十九履歴書	深奥九十九布教使列親授三級任命に付上申書	福原孝照略歴	上保(福原)孝照開教員列例授四級及び滿洲別院在勤任命認可上申書	福原孝照開教員列例授四級滿洲別院在勤申付に付上申書	長春布教所在勤月輪孝雄哈爾濱布教所在勤として転勤申付に付上申書	滿洲別院在勤野原泰雄本溪湖布教所任命に付上申書	滿洲別院在勤野原泰雄本溪湖布教所転任に付上申書	本溪湖布教所在勤廣部訣撫順布教所転任に付上申書	本溪湖布教所在勤廣部訣撫順布教所在勤転任に付上申書
福岡県圓光寺住職深奥九十九	教学部長高濱哲雄	富山県芳樹寺衆徒福原孝照	滿蒙開教監督新田神量	教学課録事圓山千之	教学課録事圓山千之	滿蒙開教監督新田神量	教学課録事圓山千之	滿蒙開教監督新田神量	教学課録事圓山千之
—	宗務総長	—	教学部	教学部長	教学部長	教学課	教学部長	教学課	教学部長
—	昭和5年1月14日 上申/1 月23日任命	—	昭和5年1月29日	昭和5年2月3日	昭和5年2月4日	昭和5年1月29日	昭和5年2月4日	昭和5年1月29日	昭和5年2月3日
—	※昭和4年4月30日に開教使を免除されたが自坊失火のため譴責処分を受け布教使に命じられた、という内容。	—	—	—	—	—	—	—	—



54	53	52	51	50	49	48	47	46	45
307	307	307	307	307	307	321 300 ・ 310	310 307 ・ 309	310 307 ・ 309	307
奉天布教所詰尾崎宗進解雇に 付上申書	開教員佐々木泰澄、風間唯心、 野原泰雄昇級上申書	開教員佐々木泰澄、風間唯心、 野原泰雄昇級に付上申書	開教員佐々木泰澄、風間唯心、 野原泰雄昇級に付上申書	ハ爾濱布教所後任人事に関する 手紙	職願 ハ爾濱布教所新開天民辞 職願	開教使新開天民ハ爾濱布教所 在勤解任及び布教使列稟授四 級昇級に付上申書	特派布教使藤波大圓滿洲地方 特派布教報告書	藤波大圓滿洲巡回布教日程	布教使藤波大圓滿洲巡回布教 のため派遣認可に付上申書
之	教学課録事圓山千 神量	之	福岡県新開天民	ハ爾濱布教所新開天民	之	教学課録事圓山千	圓	本山教学課	教学課長高濱哲雄
教学部長	教学部長下 間空教	教学部長	高濱哲雄	——	宗務総長	教学部長	——	宗務総長	宗務総長
——	昭和5年 1月29日	昭和5年 2月4日	昭和5年 2月1日	昭和5年 2月1日	昭和5年 2月4日	昭和5年 6月5日	昭和5年 4月30日	昭和5年 5月16日	昭和5年 5月2日
——	——	——	※封筒あり。	——	——	※報告内容の細目(一)布教日程、 (二)教場地の現況、(三)教場の現 状。※布教日程は4月19日から6月 4日までとする。	——	——	※多年滿洲の開教に従事して貢献、 朝鮮新義州に転勤、前階級後年限も たつたので昇級を行ないたい、とい う内容。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

64	63	62	61	60	59	58	57	56	55
307	307	307	307	307	307・330	307・330	307	307	307
満洲拓事講習生宮永梓誓約書	宮永梓健康診断書	宮永梓履歴書	満洲移民指導者採用願	宮永梓満洲移民指導者として好適者に付添申書	身体検査票	満洲移民指導者考査表	採用者に対する通知文案書類	満洲移民指導者採用・採用者通知文案の件に付上申書	奉天布教所詰員尾崎宗進解雇に付届出
石川県江沼郡三木村宮永梓／宮永六雄／宮永亀年	石川県医師計見「」	宮永梓	宮永梓／宮永六雄	大聖寺教務所福田定信	—	—	(教学課)	教学課長朝倉慶友	奉天布教所在勤藤永彰隆
柳知成	石川県江沼郡三木村宮永梓	—	柳知成	柳知成	—	—	—	宗務総長	教学課
—	昭和7年7月2日	昭和7年7月21日	昭和7年7月21日	昭和7年7月22日	—	—	—	昭和7年11月25日	昭和5年1月20日
—	—	—	—	※宮永梓は石川県江沼郡三木村、願荘寺の出身。	※白藤祐邦以外の適任者の身体検査票あり。	※適任者16人の考査表。	—	※指導者採用一覧①宮永梓②矢田勇雄③浅井愧④柳本新⑤白藤祐邦⑥松原實⑦北川文雄⑧橋文祐⑨大内正(辞任)⑩湯朝浩⑪滋野宏賢⑫岡田秀敵⑬青木準道⑭藤岡涼(辞任)⑮末森正保⑯山根現雄 ※募集50名に対し、応募者は21名。その内適任者は16名。	—

76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
浅井滉身体検査書	浅井滉履歴書	満洲移民指導者採用願	矢田勇雄卒業証明書	矢田勇雄満洲移民指導者推薦状	矢田勇雄健康診断書	矢田勇雄戸籍謄本	満洲拓事講習生矢田勇雄誓約書	矢田勇雄履歴書	満洲移民指導者採用願	矢田勇雄満洲移民指導者採用の上は得度・本宗僧侶として従事する旨に付副申書	宮永梓戸籍謄本
栄 碧海郡検査医長谷	愛知県浅井滉	浅井滉／浅井篤敬	兵庫県立上郡農学校長岡田芳穂	兵庫県立上郡農学校長岡田芳穂	京都市医師井貫耕史	兵庫県赤穂郡高田村長濱田一雄	兵庫県神明寺矢田勇雄／大西恵城／矢田悦哉	矢田勇雄	矢田勇雄／大西恵城／矢田悦哉	神戸教務所長藤井善亮	石川県江沼郡長袖ヶ市宗在門
—	—	柳知成 教学部長一	—	柳知成 教学部長一	—	—	柳知成 教学部長一	—	柳知成 教学部長一	教学部長	—
昭和7年 8月4日	昭和7年 8月4日	昭和7年 8月5日	昭和7年 7月27日	昭和7年 7月27日	昭和7年 7月25日	昭和7年 7月27日	昭和8年 2月13日	昭和7年 7月28日	昭和7年 7月26日	昭和7年 8月1日	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※矢田勇雄は兵庫 県赤穂郡高田村願 栄寺の出身。	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	07
白藤祐邦履歴書	満洲移民指導者採用願	書 満洲拓事講習生白藤祐邦誓約	白藤祐邦満洲移民指導者出願に付上申書	柳本新戸籍謄本	満洲拓事講習生柳本新誓約書	柳本新健康診断書	柳本新満洲移民指導者志望書	柳本新履歴書	浅井滉戸籍謄本	満洲拓事講習生浅井滉誓約書
白藤祐邦	祐 白藤祐邦／白藤定	祐 石川県白藤祐邦／ 白藤定祐／白藤政	高淑 七尾教務所長中野	田津町長柳本三郎	大分県東国東郡竹 ／柳本正男 栄寺住職山香照緑	京都府医師増井栄 太郎	照緑 柳本新／柳本正男 ／衆徒寺山城第三 組教栄寺住職山香	新 京都府教栄寺柳本	村長齊藤正義 愛知県幡豆郡三和	愛知県浅井滉／正 光寺住職浅井篤敬
—	柳知成 教学部長一	柳知成 教学部長一	教学部長	—	柳知成 教学部長一	—	柳知成 教学部長一	柳知成 教学部長一	—	柳知成 教学部長一
8月4日 昭和7年	8月4日 昭和7年	2月 昭和8年	8月8日 昭和7年	7月22日 昭和7年	—	7月29日 昭和7年	7月29日 昭和7年	7月29日 昭和7年	8月4日 昭和7年	1月23日 昭和8年
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
北川文雄戸籍謄本	北川文雄診断書	北川文雄履歴書	北川文雄満洲開拓使応募の件に付上申書	松原實健康診断書	松原實戸籍謄本	松原實履歴書	松原實満洲移民指導者応募願	満洲移民指導者応募用紙誤送付に付別紙願書による提出・縮切期間後提出許可の儀願書	白藤祐邦戸籍謄本	白藤祐邦健康診断書
尾本 多巢 賀郡 次鷺 田村 長松	一岐 阜県 医師 説田 順	雄徳 源寺 衆徒 北川 文 惠海	大垣 教務 所長 禿應 顯	石川 県医 師大 間忠 能	石川 県鳳 至郡 町野 村長 柴野 與八	松原 實	松原 實／ 所屬 寺長 榮寺 住職 泉口 竟了 ／実 兄松 原悟	七尾 教務 所	石川 県鹿 島郡 餘喜 村長 三宅 勇吉	石川 県医 師和 田政 範
文雄	岐阜 県北 川	—	教学 部長	石川 県金 藏 松原 實	—	—	真宗 大谷 派本 山宗 務所 ／教 学部 長一 柳知 成	教学 課長	—	石川 県白 藤 祐邦
昭和 7年 7月 25日	昭和 7年 7月 26日	昭和 7年 7月 26日	昭和 7年 7月 29日	昭和 7年 7月 21日	昭和 7年 7月 19日	昭和 7年 7月 28日	昭和 7年 7月 28日	—	昭和 7年 8月 7日	昭和 7年 8月 5日
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
大内正履歴書	満洲移民指導者採用願	遠隔地にて願書締切日に到着不明に付仮願書認可並びに採用の儀伺書	大内正戸籍謄本	大内正身体検査書	大内正仮履歴書	満洲移民指導者採用仮願書	橋文祐戸籍謄本	橋文祐健康診断書	橋文祐履歴書	橋文祐満洲移民指導者採用願書	北川文雄満洲開拓使志望理由書
大内正	大内正／聖徳寺住職 大内眞英	大内正	茨城県筑波郡長崎村長 古谷浩夫	石川県医師三輪弥三郎	大内正	大内正／聖徳寺住職 大内眞英	石川県金沢市長吉川一太郎	石川県医師千田常外	橋文祐	石川県敬栄寺橋文祐／住職 橋大祐	徳源寺衆徒北川文雄
—	柳知成 教学部長一	本山教学課	正 茨城県大内	正 石川県大内	—	柳知成 教学部長一	町 金沢市千日	橋文祐	柳知成 教学部長一	柳知成 教学部長一	—
8月2日 昭和7年	8月2日 昭和7年	8月2日 昭和7年	8月1日 昭和7年	7月25日 昭和7年	8月 昭和7年	8月 昭和7年	7月27日 昭和7年	7月30日 昭和7年	7月30日 昭和7年	7月30日 昭和7年	—
—	—	—	—	—	—	※「辞任」とあり。	—	—	—	—	—

121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
岡田秀猷高田真宗夏期学校第 四学級修了証明書	満洲拓事講習生岡田秀猷誓約 書	岡田秀猷中学校修了証明書	岡田秀猷履歴書	満洲移民指導者採用願 上申書	満洲移民指導者推進の件に付 上申書	湯朝浩戸籍謄本	満洲拓事講習生湯朝浩誓約書	湯朝浩診断書	湯朝浩履歴書	満洲移民指導者採用願
新潟県岡田猷山長 男岡田秀猷	新潟県岡田秀猷/ 本覚寺住職老野生 常然/岡田清治	新潟県立高田中學 校長小川景重	岡田秀猷	岡田秀猷/岡田清 治	高田教務所長菅原 教應	兵庫県飾磨郡家島 町長琴塚菊松	兵庫県湯朝浩/徳 號寺住職興地葆晃 /湯朝觀良	兵庫県医師福岡通 義	湯朝浩	湯朝浩/長圓寺住 職湯朝觀良
高田真宗夏 期學校長横 田常力	柳知成	岡田秀猷	—	柳知成	教学部長 —	—	柳知成	兵庫県湯朝 浩	—	柳知成
昭和7年 8月5日	昭和8年 1月25日	昭和7年 8月5日	昭和7年 8月4日	—	昭和7年 8月5日	昭和7年 8月14日	昭和8年 1月24日	昭和7年 8月2日	—	昭和7年 8月3日

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123	122
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
青木隼道履歴書	満洲移民指導者採用願	青木隼道満洲国開拓使推薦に 付上申書	滋野宏賢戸籍謄本	滋野宏賢健康診断書	滋野宏賢卒業証明書・学業成 績表	満洲拓事講習生滋野宏賢誓約 書	滋野宏賢品行証明書	滋野宏賢履歴書	満洲移民指導者採用願	岡田秀猷戸籍謄本	岡田秀猷健康診断書
青木隼道	岐阜県善了寺衆徒 住職青木浩道	青木隼道／善了寺 隆	岐阜教務所長橋恵 合直次	新潟県高田市長川 合直次	医師成澤輝一	新潟県立新發田中 学校長柿沼彦吉	新潟県滋野宏賢／ 照行寺住職北條義 宗／滋野昌賢	新潟県立新發田中 学校長柿沼彦吉	滋野宏賢	滋野昌賢	高田市医師市川勝 秀猷
—	柳知成	柳知成	—	高田市滋野 宏賢	滋野宏賢	柳知成	—	—	柳知成	新潟県岡田 秀猷	新潟県岡田 秀猷
—	昭和7年 8月5日	昭和7年 8月5日	昭和7年 8月2日	昭和7年 8月2日	昭和7年 4月26日	昭和8年 1月28日	昭和7年 4月26日	昭和7年 8月4日	昭和7年 8月4日	昭和7年 8月5日	昭和7年 8月4日
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



144	143	142	141	140	139	138	137	136	135	134
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
満洲拓事講習生考察表	満洲拓事講習生志願者一覧表	満洲拓事講習生追加採用の件に付上申書	採用願雛形	満洲移民指導者募集要項雛形	藤岡涼三戸籍謄本	藤岡涼三健康診断書	藤岡涼三履歴書	満洲移民指導者採用願	青木隼道戸籍謄本	青木隼道身体検査書
—	—	之	—	—	長石塚大蔵	大阪府大阪市東区	藤岡涼三	藤岡涼三／本覚寺住職藤岡了淳	岐阜県稲葉郡日置江村長青木翁	医師大橋新治郎
—	—	宗務総長	—	—	—	涼三	—	柳知成	—	青木隼道
—	—	昭和8年2月13日	—	昭和7年7月	昭和7年8月3日	昭和7年8月2日	昭和7年8月3日	昭和7年8月4日	昭和7年8月2日	昭和7年8月4日
※足立雪城・古賀憲令・野々原見寿・梅澤台岳・嵩尾秀憲・巻瑞義淳・斉藤正信・小坂敏男・熊野享了・徳永孝英・鈴木芳昭・加田岡謙敬・竹中静眞・井上六雄・竹中徹恵・橋頭諒。 ※足立雪成以下16名の考查表。										

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

153	152	151	150	149	148	147	146	145
307	307	307	307	307	307	307	307	307
願 古賀憲令満洲拓事講習生採用	に付添書 古賀憲令満洲拓事講習生志願	足立雪城戸籍謄本	足立雪城身体検査書	書 満洲拓事講習生足立雪城誓約	足立雪城履歴書	満洲拓事講習生採用願	足立雪城満洲拓事講習生として適任に付添申書	満洲拓事講習生身体検査票
以智 憲令／兄古賀憲正 ／兼務住職古賀制	福岡県萬通寺古賀 谷恵准 久留米教務所長深	福岡県浮羽郡福富 村長杉井健三郎	福岡県醫師西見栗 次 雪城 福岡県足立	福岡県足立雪城／ 満願寺住職足立徳 龍	足立雪城	福岡県満願寺足立 雪城／住職足立徳 龍	久留米教務所長深 谷恵滋	—
柳智成 教学部長一	長 朝倉教学課	—	雪城 福岡県足立	柳智成 教学部長一	—	柳智成 教学部長一	長 一柳教学部	—
1月20日 昭和8年	1月8日 昭和8年	1月6日 昭和8年	12月29日 昭和7年	2月14日 昭和8年	12月29日 昭和7年	1月17日 昭和8年	1月19日 昭和8年	—
—	—	—	—	—	—	—	—	※足立雪城・野々原見寿・梅澤台岳・ 嵩尾秀憲・巻瑞義淳・斉藤正信・小 坂敏男・熊野享了・徳永孝英・鈴木 芳昭・加田岡謙敬・竹中静眞・井上 六雄・竹中徹恵・橋頭諒 ※足立雪 成以下15名の検査表。

163	162	161	160	159	158	157	156	155	154
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
履歴書・戸籍謄本送附に付屯田僧志願手続き願書	野々原見寿戸籍謄本	満洲拓事講習生野々原見寿誓約書	野々原見寿履歴書	満洲屯田僧推挙状	野々原見寿満洲移民指導者志望に付上申書	卒業見込証明書	古賀憲令戸籍謄本	古賀憲令履歴書	満洲拓事講習生古賀憲令誓約書
長行寺野々原唯念	新潟県北蒲原郡木崎村長島山純一郎	新潟県野々原見寿／保証人長行寺野々原唯念	野々原見寿	旧本寺託明寺兼務住職上原彰真	三條教務所澁谷智淵	福岡県八女中学校長高巢庄太郎	福岡県三池郡開村長代理助役森徳次郎	古賀憲令	福岡県古賀憲令／古賀制以智／古賀憲正
三條教務所 長渋谷智淵	—	教学部長一 柳知成	宗務総長阿 部恵水	三條教務所 長渋谷智淵	宗務総長阿 部恵水	—	—	—	教学部長一 柳知成
昭和7年 10月19日	—	昭和8年 2月27日	昭和7年 10月19日	昭和7年 11月	昭和7年 11月12日	昭和8年 1月23日	昭和8年 1月23日	昭和8年 1月20日	昭和8年 2月
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

173	172	171	170	169	168	167	166	165	164
307	307	307	307	307	330	307	307	307	307
大衆寺衆徒得度許可の上は本 山法規遵守に付誓約書	満洲拓事講習生嵩尾秀憲誓約 書	嵩尾秀憲身体検査書	嵩尾秀憲履歴書	満洲拓事講習生採用願	東本願寺寺務所宛封筒	梅澤台岳戸籍謄本	梅澤台岳身体検査書	梅澤台岳履歴書	満洲拓事講習生採用願
富山県嵩尾秀憲	富山県大泉寺住職 金村憲三／富山県 保証人嵩尾教秀	富山県大泉寺住職 富山県嵩尾秀憲／ 富山県大泉寺住職	富山県大泉寺住職 嵩尾秀憲	富山県大泉寺嵩尾 秀憲／住職金村憲 三／嵩尾教秀	富山県梅澤台岳	富山県上新川郡大 山村長山本藤太郎	富山県梅澤台岳 助	富山県梅澤台岳	富山県持専寺梅澤 台岳／住職梅澤義 観
柳知成	柳知成	嵩尾秀憲	—	柳知成	京都市東六 條東本願寺 寺務所	—	梅澤台岳	—	柳知成
昭和8年 2月26日	昭和8年 2月	昭和8年 1月23日	昭和8年 1月18日	昭和8年 1月	昭和8年 1月10日	昭和8年 1月6日	昭和8年 1月9日	昭和8年 1月9日	昭和8年 1月9日

183	182	181	180	179	178	177	176	175	174
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
満洲拓事講習生採用願	齊藤正信満洲拓事講習生推薦書	巻瑞義淳戸籍謄本	巻瑞義淳満洲拓事講習生誓約書	巻瑞義淳卒業証明書	巻瑞義淳健康診断書	巻瑞義淳履歴書	満洲拓事講習生採用願	嵩尾秀憲満洲拓事講習生推薦書	嵩尾秀憲戸籍謄本
富山県善念寺衆徒 齊藤正信／善念寺 住職寶性實成	滋野井信圓	富山県氷見郡宮田 村長和泉穴九郎	富山県巻瑞義淳／ 大泉寺住職保証人 金村憲三／保証人 巻瑞義印	富山県立高岡中学 校長井上専敬	富山県医師松井潔	富山県巻瑞義淳	富山県巻瑞義淳／ 巻瑞義印	滋野井信圓	富山県氷見郡熊無 村長小谷口省三
柳知成 教学部長一	丸山録事	—	柳知成 教学部長一	巻瑞義淳	富山県巻瑞 義淳	—	柳知成 教学部長一	丸山録事	—
—	昭 和 8 年 1 月 19 日 ／ 2 月 3 日	昭 和 8 年 1 月 13 日	昭 和 8 年 2 月 28 日	昭 和 8 年 1 月 18 日	昭 和 8 年 1 月 13 日	昭 和 8 年 1 月 16 日	昭 和 8 年 1 月 16 日	昭 和 8 年 1 月 24 日	昭 和 8 年 1 月 24 日
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

192	191	190	189	188	187	186	185	184
307	307	307	307	307	307	307	307	307
小坂敏男戸籍謄本	書 満洲拓事講習生小坂敏男誓約	小坂敏男履歴書	小坂敏男健康診断書	満洲拓事講習生採用願	齊藤正信戸籍謄本	修了証明書	齊藤正信健康診断書	齊藤正信履歴書
石川県石川郡宮保村長圓角信治	郎 敏男／住職 曉烏敏／保証人 奥鶴浄信／保証人 小坂市太郎	石川県明達寺小坂敏男	石川県明達寺／小坂敏男／住職 曉烏敏／父 小坂市太郎／兄 小坂一郎	石川県明達寺／小坂敏男／住職 曉烏敏／父 小坂市太郎／兄 小坂一郎	富山県西砺波郡吉江村長欠員に付キ助役西頭徳太郎	長泉城澄	金沢市私立金城病院議員前田義雄	越中国第三組飛擔地善念寺衆徒齊藤正信
—	柳知成 教学部長一	柳知成 教学部長一	小坂敏男	柳知成 教学部長一	—	正信 富山県善念寺衆徒齊藤	齊藤正信	柳知成 教学部長一
1 昭和8年 1月17日	2 昭和8年 2月12日	—	1 昭和8年 1月17日	1 昭和8年 1月	2 昭和8年 2月1日	2 昭和8年 2月2日	2 昭和8年 2月2日	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—

202	201	200	199	198	197	196	195	194	193
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
満洲拓事講習生採用願	徳永孝英戸籍謄本	書 満洲拓事講習生徳永孝英誓約	徳永孝英健康診断書	徳永孝英履歴書	満洲移民指導者採用願	熊野亨了戸籍謄本	熊野亨了履歴書	満洲拓事講習生採用願	熊野亨了満洲拓事講習生として適任に付上申書
誠 芳昭／住職鈴木慧	滋賀県西勝寺鈴木草野村長堤定治	滋賀県徳永孝英／法通寺住職保証人 徳永舜城／保証人 徳永学	京都市澤田醫院醫師 澤田亀太郎	滋賀県法通寺徳永孝英	滋賀県法通寺徳永孝英／住職 徳永舜城	伊香郡古保利村長 細江忠一	滋賀県了覚寺衆徒 熊野亨了	滋賀県了覚寺熊野亨了／住職 熊野俊元	長濱教務所七岡豊丸
柳知成 教学部長一	—	柳知成 教学部長一	徳永孝英	柳知成 教学部長一	柳知成 教学部長一	—	—	柳知成 教学部長一	宗務総長阿部恵水
1 昭和8年 月10日	12 昭和7年 月20日	2 昭和8年 月20日	12 昭和7年 月5日	12 昭和7年 月20日	12 昭和7年 月20日	1 昭和8年 月19日	1 昭和8年 月20日	1 昭和8年 月20日	1 昭和8年 月23日
※写真あり。	—	—	—	—	—	—	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

213	212	211	210	209	208	207	206	205	204	203
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
書 満洲拓事講習生竹中静眞誓約	竹中静眞履歴書	満洲移民指導者採用願	加田岡謙敬戸籍謄本	加田岡謙敬健康診断書	満洲拓事講習生加田岡謙敬誓約書	加田岡謙敬履歴書	満洲国移民指導者採用願	鈴木芳昭戸籍謄本	鈴木芳昭診断書	鈴木芳昭履歴書
証人竹中徳静	滋賀県竹中静眞	滋賀県真廣寺竹中静眞／住職竹中徳静	滋賀県坂田郡神田村長田中文四郎	滋賀県医師村上六也	滋賀県加田岡謙敬／保証人加田岡俊諦	滋賀県加田岡謙敬	岡謙敬／住職加田岡俊諦	滋賀県坂田郡大原村長松田仲之進	同県同郡同村医竹腰登	滋賀県鈴木芳昭
長一柳智成	東本願寺教學課教學部長一柳智成	柳知成	柳知成	滋賀県加田岡謙敬	柳知成	柳知成	柳知成	柳知成	芳昭	滋賀県鈴木芳昭
2月 昭和8年	12月 昭和7年	12月 昭和7年	12月2日 昭和7年	12月2日 昭和7年	2月21日 昭和8年	12月3日 昭和7年	12月3日 昭和7年	1月9日 昭和8年	1月10日 昭和8年	1月10日 昭和8年



225	224	223	222	221	220	219	218	217	216	215	214
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
書 満洲拓事講習生竹内徹恵誓約	竹内徹恵履歴書	竹内徹恵健康診断書	満洲移民指導者採用願	井上六雄戸籍謄本	井上六雄健康診断書	書 満洲拓事講習生井上六雄誓約	井上六雄履歴書	満洲拓事講習生採用願	井上六雄満洲移民指導者として適材に付上申書	竹中静眞健康診断書	竹中静眞戸籍謄本
丸 新瀉県竹内徹恵／ 信光寺住職竹内統	竹内徹恵	京都市澤田醫院醫 師澤田亀太郎	丸 新瀉県信光寺竹内 徹恵／住職竹内統	新瀉県三島郡脇野 村長小林利三郎	新瀉県医師樺澤太 栄門	新瀉県井上六雄／ 保証人長照寺住職 兄井上伍	新瀉県井上六雄	梅澤台岳	三条教務所渋谷智 洵	滋賀県醫師村上六 也	滋賀県坂田郡米原 町長角田亀次郎
柳知成	—	竹内徹恵	柳知成	—	新瀉県井上 六雄	柳知成	—	柳知成	宗務総長	静眞	—
2月 8年	—	昭和8年 1月8日	昭和8年 1月13日	昭和8年 1月6日	昭和8年 1月6日	昭和8年 3月1日	昭和8年 1月11日	昭和8年 1月11日	昭和8年 1月19日	昭和7年 12月3日	昭和7年 12月3日
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

237	236	235	234	233	232	231	230	229	228	227	226	
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	330	307	
北方孜戸籍謄本	満洲拓事講習生北方孜誓約書	北方孜健康診断書	北方孜履歴書	満洲拓事講習生採用願	橘頭誓戸籍謄本	満洲拓事講習生橘頭諒誓約書	橘頭諒健康診断書	橘頭諒履歴書	満洲拓事講習生採用願	東本願寺教学課長宛書簡	竹内徹恵戸籍謄本	
川一太郎	石川県常福寺北方孜／保証人北方穆	金沢市医師木村克巳	北方孜	石川県常福寺北方孜／住職北方穆	熊本県八代郡千丁村長萩本直人	熊本県橘頭諒／住職・保証人橘頭瑞	熊本県医師犬塚生太郎	熊本県橘頭諒	住職橘頭瑞	熊本県大谷派光誓寺橘頭諒／光誓寺	新潟県高田市寺町二丁目大谷派本願寺高田教務所	新潟県中頸城八千浦村長渡邊一郎
—	柳知成	柳知成	柳知成	柳知成	—	柳知成	柳知成	—	柳知成	柳知成	—	—
1月31日	昭和8年	昭和8年	昭和8年	昭和8年	昭和8年	昭和8年	昭和8年	—	昭和8年	昭和8年	—	昭和8年
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※写真あり。

248	247	246	245	244	243	242	241	240	239	238
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
満洲移民指導者採用願	末森正保戸籍謄本	書 満洲拓事講習生末森正保誓約	末森正保身体検査書	満洲移民指導者採用願	願添申書 末森正保満洲移民指導者採用	箕林速雄戸籍謄本	箕林速雄進退検査書	書 満洲拓事講習生箕林速雄誓約	箕林速雄履歴書	満洲拓事講習生採用願
真 現雄／住職山根教	石川県明楽寺山根	富山県西砺波郡立野村長日尾英吉代／助役武内字太郎	富山県末森正保／超恩寺住職末森法	富山県超恩寺末森正保／住職末森法	井行圓 高岡教務所長滋野	三島郡山田村長津中作治	京都市医師澤田亀太郎	大阪府箕林速雄／南林寺住職箕林信雄	大阪府箕林速雄	大阪府南林寺箕林速雄
柳知成	教学部長一	柳知成	柳知成	柳知成	柳知成	柳知成	箕林速雄	柳知成	柳知成	柳知成
7月	昭和7年	昭和7年	昭和7年	昭和7年	昭和7年	昭和8年	昭和8年	昭和8年	昭和8年	昭和8年

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

258	257	256	255	254	253	252	251	250	249
308・320	308・320	308・320	308・320	308・320	308・320	307	307	307	307
躍進過程の満洲帝国	日満両国における特殊関係	満洲事情(下) 工・鉱業篇	満洲事情(上) 農・畜産編	蒙政部制定記念及び興安各省概略	王道の浅説	山根現雄身体検査書	山根現雄戸籍謄本	満洲拓事講習生山根現雄誓約書	山根現雄履歴書
処 國務院総務庁情報	処 國務院総務庁情報	満洲事情案内所	満洲事情案内所	処 國務院総務庁情報	処 國務院総務庁情報	検査医高本六三郎	石川県石川郡柏野村長中村忠好	石川県山根現雄／明楽寺住職山根教真／保証人山根秀治	石川県山根現雄
3月発行	3月1日(康徳2年)	昭和10年3月15日発行	昭和10年4月30日発行	12月1日		8月2日	昭和7年8月2日	昭和8年2月	昭和6年6月
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
					※本文より一九三三(昭和8)年出版と考えられる。				

271	270	269	268	267	266	265	264	263	262	261	260	259
330	330	330	330	330	330	308・320	308・320	308・320	308・320	308・320	308・320	308・320
満洲国スローガン	満洲国スローガン	満洲国スローガン	満洲国スローガン	満洲国スローガン	満洲国スローガン	満洲帝国国鉄沿線地方概況	満洲国帝制施行の由来に関する説明書	満洲国大系第十八集交通編	編 満洲国大系第十六集財政金融	満洲国大系第十五集産業編	満洲国大系第十四集康徳元年度予算に就て	満洲国大系第十三集満洲帝国組織法
						満洲事情案内所		処 國務院総務庁情報	処 國務院総務庁情報	処 國務院総務庁情報	処 國務院総務庁情報	処 國務院総務庁情報
						昭和9年12月発行		康徳元年11月発行	康徳元年9月発行	康徳元年8月発行	康徳元年7月5日	康徳元年5月発行
※「齊心協力同舟共濟以期建設鞏固之満洲帝國」 ※「独立國家」 ※絵入り。	※「皇恩浩蕩四民歸心」 ※絵入り。	※「満日合作共建樂土」 ※「大満洲帝國萬歳」 ※絵入り。	※「皇上登基有如旭日初昇掃蕩黑暗大放光明」	※「國體確定了王道樂土要逐漸實現」	※「奠定國基以順天命」							

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

284	283	282	281	280	279	278	277	276	275	274	273	272
330	307	307	307	300・330	300・330	309	301・307	330	330	306	306	330
満洲拓事講習所訓練生に関する近状報告	書 敦化布教所総代依嘱に付上申	書 吉林布教所総代依嘱に付上申	書 吉林布教所世話方依嘱に付上申	冬期講習日程時間表	開拓布教講習生新京移転完了に付報告書	寧安布教所所在勤特別手当照会に付上申書	承徳布教所信徒総代依嘱に付上申書	一覽 年賀状発送に付上申及び宛名	尊名、宗務総長、教学部長名で年賀状発送に付上申書	海拉爾忠魂燈建立に付感謝状	海拉爾忠魂燈写真	満洲国スローガン
伊藤勇	法含 満洲開教監督宮谷	法含 満洲開教監督宮谷	法含 満洲開教監督宮谷	—	法含 満洲開教監督宮谷	満洲開教監督部主 事武田香龍	法含 満洲開教監督宮谷	法含 満洲開教監督宮谷	教学課長朝倉慶友	齊藤正鋭 海拉爾特務機関長	—	—
教学課	教学部長	教学部長	教学部長	—	学部長 宗務総長教	教学課	教学部長	宗務総長	宗務総長	東本願寺	—	—
11月23日 昭和8年	12月9日 昭和8年	12月9日 昭和8年	12月9日 昭和8年	—	12月7日 昭和8年	12月13日 昭和8年	11月17日 昭和8年	12月10日 昭和8年	12月26日 昭和8年	9月5日 昭和8年	—	—
※封筒あり。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	※「帝制在東亜有數千年的歴史最適於東亞洲民族」

293	292	291	290	289	288	287	286	285
309	307	323 321 308 305 303 301 322 309 306 304 302	307	309	309	309	309	309
文部省宗教局に対する海外派遣布教使及び留學生員数並びに仕送金額回答に付上申書	開教使藤田正雄満洲拓事講習所指導依頼に付上申書	承德布教所に関する近況報告	登坂庄二郎承德布教所開設係申付に付上申書	局子街布教所開設費下附に関する申請書	局子街布教所開設補助金下附申請に付上申書	拓事講習所経費支出収入報告延期に付上申書	講習所使用米穀物価額誤伝に付始末書	講習所使用米穀物価額誤伝訂正に付報告書
慧正 教学課録事川那辺	法含 満洲開教監督宮谷	登坂溪雪	法含 満洲開教監督宮谷	昊 局子街布教所天児	惠成 朝鮮開教監督栗田	法含 満洲開教監督宮谷	永粹 満洲拓事講習所宮	法含 拓事講習所長宮谷
宗務総長	宗務総長	武田法兄	教学部長	成 朝鮮開教監督栗田惠	柳知成 教学部長一	教学部長	長 一柳教学部	教学部長
9月8日 昭和8年	10月27日 昭和8年	カ) 年(昭和8 10月27日	10月31日 昭和8年	10月31日 昭和8年	10月10日 昭和8年	12月7日 昭和8年	12月5日 昭和8年	12月7日 昭和8年

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

301	300	299	298	297	296	295	294
321 316 312 320 314	321 316 312 320 314	312	309	309	309	309	309
『日本』一九三三年八月三一 日付世界宗教大会関連記事	世界宗教大会報告書	世界宗教大会参加者開教使泉 田準成報告書提出に付上申書	海外回送布教費等未回答に付 催促状	昭和七年中海外(関東洲及滿 洲国含む)回送布教費等見込 額記入用紙	昭和七年中海外回送布教費等 調査依頼	昭和七年中海外回送布教費等 調査依頼書類	昭和七年中海外派遣布教使及 び留学生員数並びに仕送金額 明細
	泉田準成	懋正 教学課録事川那辺	文部省宗務局長		文部省宗務局長		
	東本願寺宗 務所教学課	宗務総長	浅草区松清 町本願寺別 院真宗大谷 派管長		真宗大谷派 管長		
昭和8年 8月31日	昭和8年 10月9日	昭和8年 11月1日	昭和8年 8月29日		昭和8年 6月12日		
※新聞『日本』は、アメリカ・サン フランシスコの日本人向け地方紙カ。	※封筒あり。			※未記入。		※封筒あり。宛名…真宗大谷派東京 宗務出張所、宛先…京都市烏丸七条 大谷派宗務所文書課	



309	308	307	306	305	304	303	302
322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	316 312 ・ 320 314	316 312 ・ 320 314	312 ・ 314	321 316 312 ・ 320 314	321 316 312 ・ 320 314
赤峰布教所下附用本尊価格照 会依頼書	仏具等見積書	仏具等見積書	世界宗教大会参加宗教紹介	世界宗教大会プログラム	世界宗教大会における泉田準 成の宣言書	『日本』一九三三年九月二四 日付世界宗教大会関連記事	『日本』一九三三年九月一四 日付世界宗教大会関連記事
教学課	中村猪之助	衛門 京都市七条通烏丸 角仏具商福井彌右			泉田準成		
庶務課	教学課	教学課					
11 昭和 月 8 年 4 日	11 昭和 月 8 年 4 日	11 昭和 月 8 年 4 日		昭和 8 年	9 昭和 月 8 年 7 日	9 昭和 月 8 年 24 日	9 昭和 月 8 年 14 日
					※同じ書面が2枚。		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

321	320	319	318	317	316	315	314	313	312	311	310
307・309	307	307	307	307	307・321	330	311	311	307	301・322	322 301・309
灰幕洞布教所在勤渡邊満磨赴任旅費下附に付上申書	野原泰雄履歴書	本溪湖布教所在勤野原泰雄甘井子布教所在勤任命に付上申書	天津別院輪番安田澁然授四等旌賞請書	開教使毛利典欖任命御受書	開教使毛利典欖近況報告	滿洲拓事講習所指導計画報告書	滿洲国留学生日暮臺雄中国語修学課程報告書	滿洲国留学生日暮臺雄中国語修学課程報告に付上申書	開教員秋田法隆開教使任命に付上申書	赤峰布教所用準備仏具類一覽	赤峰布教所下附用本尊見積書
朝鮮開教監督栗田恵成	法含 滿洲開教監督宮谷	法含 滿洲開教監督宮谷	安田澁然	毛利典欖	毛利典欖	教学課	日暮臺雄	法含 滿洲開教監督宮谷	教学課長朝倉慶友	—	庶務課絵表掛
柳知成	—	教学部長	教学課	部恵水 宗務総長阿	一柳部長、朝倉課長	—	督宮谷法含 滿洲開教監督	教学部長	宗務総長	—	教学課
9月5日	昭和8年7月1日	昭和8年8月10日	昭和8年9月11日	昭和8年10月6日	昭和8年10月10日	—	昭和8年10月24日	昭和8年10月24日	昭和8年11月2日	—	昭和8年11月6日
※一度申請したが、下附されなかつたため再度申請。	—	※付箋あり。「本溪湖布教所在勤／野原泰雄／甘井子布教所在勤申付／甘井子布教所開設御認可相成候ニ付テハ冠記ノ通り御任命相成度方」。	—	※同様の文面2通。	—	—	—	—	—	—	—



中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

341	340	339	338	337	336	335	334	333	332	331
307	307	307	311	311	311	311	320	301	301・309	301
大連別院在勤開教員内海信證 例授二級陸級に付上申書	鐵嶺布教所在勤開教員川瀨重 賢履歷書	鐵嶺布教所在勤開教員川瀨重 賢例授二級陸級に付上申書	宮内省編修官文学博士本多辰 次郎滿洲視察に付便宜取計の 儀通達狀	本多辰次郎滿洲視察地点及び 責任者一覽	阿部惠水宛電報	阿部惠水宛電報	大連港案内及び大連港地図	甘井子布教所図面	甘井子布教所明細書	甘井子布教所開設許可願
法含 滿洲開教監督宮谷	重賢 組相願寺衆徒川瀨	法含 滿洲開教監督宮谷	本山教學課	—	本多辰次郎	本多辰次郎	南滿洲鐵道株式會 社埠頭事務所	—	野原泰雄	滿洲本溪湖大谷派 布教所在勤野原泰 雄
教學部長	—	教學部長	—	—	阿部惠水	阿部惠水	—	—	—	柳知成 教學部長一
昭和8年 8月22日	—	昭和8年 8月22日	昭和8年 9月22日	—	昭和8年 9月23日	昭和8年 9月22日	—	—	—	昭和8年 5月30日
—	—	—	—	—	※25日朝7時過ぎ「ゴシンネ（御真 影カ）」に参る本多。	※24日晚8時25分東京発つ本多。	—	—	—	—

350	349	348	347	346	345	344	343	342
307	306	301 ・ 306	306 ・ 326	309	307 ・ 309	309 ・ 311	303 ・ 304	307
満洲拓事講習生箕林速雄帰国に付上申書	局子街布教所大追悼会弔電文案	局子街布教所主権大追悼会詳細及び朝陽川布教所建設に付書簡	局子街布教所主権大追悼会に付沈香及び弔辞下附の儀上申書	昭和七年度海外仕送金額一覧	昭和六年海外派遣布教使及び留學生教並びに仕送金額一覽	昭和六年海外派遣布教使及び留學生教並びに仕送り金額報告に付上申書	移民団慰安用ポスター至急送附に付依頼書	大連別院在勤開教員内海信證履歴書
法含	満洲開教監督宮谷	天兒昊	朝鮮開教監督栗田惠成			教学課録事圓山千之	哈爾濱道裡田地街一九号地大谷派本願寺高橋震眞	滋賀県東浅井郡小谷村、近江国第二組開福寺衆徒内海信證
学部長	宗務総長教	開教監督栗田惠成	教学部長一柳知成			宗務総長	京都市下京区烏丸七条上ル東本願寺宗務所朝倉教学課長	
昭和8年8月8日		昭和8年8月19日	昭和8年8月23日			昭和7年10月6日	昭和8年7月17日	
	※用紙の裏面に記入。						※封筒あり。	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

358	357	356	355	354	353	352	351
309	309	306	305	305	307・309	308	308
<p>阜山氏徳度旅費並びに病人移送費請求</p>	<p>旅費為替送金願</p>	<p>開教に付資本金支給願</p>	<p>東本願寺満洲拓事講習所日本国民高等学校における毎日行事</p>	<p>満洲拓事講習所行事報告書</p>	<p>満洲開教監督部管内巡回伝導派遣願</p>	<p>極東平和確立記念報恩塔並びに拝堂建設認可届</p>	<p>旅順市内極東平和確立記念報恩塔並びに拝堂建設認可に付上申書</p>
—	<p>川那辺録事</p>	<p>武田兵龍</p>	<p>満洲拓事講習所伊藤勇記</p>	<p>満洲開教監督宮谷法含</p>	<p>満洲開教監督宮谷法含</p>	<p>旅順大谷派本願寺布教所山崎哲</p>	<p>満洲開教監督宮谷法含</p>
<p>※備考へ</p>	<p>阜山頼極</p>	<p>川那辺録事</p>	—	<p>宗務総長</p>	<p>宗務総長、 教学部長</p>	<p>大谷派本願寺 教学部長 一柳知成</p>	<p>宗務総長、 教学部長</p>
—	—	<p>昭和9年 4月27日</p>	<p>昭和9年 4月5日</p>	<p>昭和9年 4月10日</p>	<p>昭和9年 5月1日</p>	<p>昭和8年 8月1日</p>	<p>昭和8年 8月8日</p>
<p>教学課</p>	<p>※長澤姓だが名不明。※発給者は長澤氏カ。※(封筒上書) 阜山私信、(封筒形状) ペン書・印刷物・(朱印)</p>	<p>※奉天と大連間の出張費や開教に際し、本山の事情もあるだろうが、成果を出す為に資金が必要である旨。</p> <p>※為替受取人 石川羽咋郡越路野村千路 阜山頼極。※弘渡局 石川羽咋局。※(封筒上書) 阜山私信、(封筒形状) ペン書・印刷物・(朱印) 教学課。</p>	—	<p>※奉天北大営日本国民高等学校にて開催。</p>	<p>※大谷大学教授柏原祐義を特派布教として派遣、旅費支出願。※貼紙あり。</p>	—	—

369	368	367	366	365	364	363	362	361	360	359
301 ・ 309	309	307	307	322	321	322	307 ・ 306	321 ・ 322	305	307
申書 満洲布教所補助金整理に付上	報告書 東本願寺拓事講習所収支決算	上申書 新站布教所信徒総代依嘱に付	申書 新站布教所世話係依嘱に付上	転報告 満洲拓事講習所奉天北大営移	伊藤主事他二名奉天到着報告	満洲拓事講習所奉天移転報告	上申書 満洲駐屯軍慰問布教命令に付	日誌 東本願寺満洲拓事講習所冬期	書 満洲拓事講習所冬期講習報告	開教使四級任命に付上申書
法含 満洲開教監督宮谷	—	法含 満洲開教監督宮谷	法含 満洲開教監督宮谷	法含 満洲開教監督宮谷	伊藤勇	法含 満洲開教監督宮谷	法含 満洲開教監督宮谷	—	宮谷法含 満洲拓事講習所長	慧正 教務課録事川那辺
教学部長	—	教学部長	教学部長	宗務総長	宮谷法含	宗務総長	教学部長	—	宗務総長	宗務総長
昭和8年 8月19日	昭和9年 1月調	昭和9年 4月19日	昭和9年 4月19日	昭和9年 3月23日	昭和9年 3月26日	昭和9年 3月29日	昭和9年 3月31日	—	昭和9年 3月23日	昭和9年 3月21日
※開教費整理のため、鞍山本溪湖補助金保留、新設布教所鶏冠山に家賃として10円支出を願出。※封筒あり。※封筒差出に昭和9年3月15日、新田神量とあり。	—	※小林瀧治。※古西福一。	—	—	※飯島氏と黒川氏。	—	※新站布教所所在勤開教員武村義昌。※付箋あり。	※総数25枚、表紙・裏表紙あり。	—	※開教使列稟授四級に開教員東谷雅隆を任命。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

381	380	379	378	377	376	375	374	373	372	371	370
307	307	301	321 301 ・ 309	301	307	301 ・ 307	301 ・ 307	301	301	301	301
願 布教所世話方推選・辞令下附	撫順布教所世話方依頼に付上 申書	大新站市街略図	新站布教所開設事項書	拉賓線開通に付新站布教所開設 願に付上申書	願正寺衆徒履歴書	凌源布教所開設に付開設係任 命願添書	凌源布教所開設準備に付布教 所詰任命願に付上申書	凌源布教所見取図	凌源布教所新設に付凌源市街 略図	凌源布教所開設情況報告	熱河省凌源布教所開設認可願 に付上申書
廣部 諫	法含 滿洲開教監督宮谷	—	—	法含 滿洲開教監督宮谷	松原 圓了	事武 田香龍	教学課長 朝倉慶友	—	会 凌源日本人居留民	—	法含 滿洲開教監督宮谷
宮谷 法含	教学部長	—	—	宗務 総長	—	教学課	教学部長	—	—	—	宗務 総長
2月22日	上申 昭和9年 2月24日	—	—	昭和9年 10月11日	昭和9年 1月9日	昭和9年 1月15日	昭和9年 3月7日	—	—	—	昭和8年 12月28日
—	※貼紙あり。	—	昌。 ※関係係は、列授二級開教員武村義	※貼紙あり。	—	—	—	—	—	—	※貼紙あり。



392	391	390	389	388	387	386	385	384	383	382
318	318	321	309	326 307 ・ 306	307	307	307	311	311	311
大谷派満州開教団規約	満洲真宗大谷婦人会規則	満洲国皇帝即位に付大谷光暢 祝辞電報案	奉天布教所在勤開教使履歴書	従軍慰問・慰霊に尽力の為陞 列親授一級申付願に付上申書	憶念寺衆徒履歴書	承徳布教所在勤に付申付上申 書	開教員列授四級並びに承徳布 教所在勤申付に付上申書	満洲留學生養成に関する事項 上申書	満洲語学習の為留学辞令下附 願に付上申書	開教使二名満洲留学に付採用 願の儀上申書
—	—	—	満洲開教監督宮谷 法舎	満洲開教監督宮谷 法舎	新京曙町東本願寺 満洲開教監督部	満洲開教監督宮谷 法舎	教学課録事川那辺 慧正	満洲開教監督宮谷 法舎	教学部長朝倉慶友	満洲開教監督宮谷 法舎
—	—	鄭国務総理	—	宗務総長	—	教学部長	教学部長	教学部長	宗務総長	宗務総長
—	—	昭和9年 3月1日	昭和8年 8月22日	昭和8年 8月22日	昭和8年 11月17日	昭和8年 11月17日	昭和9年 2月23日	昭和8年 8月4日	昭和8年 9月8日	昭和8年 10月27日
※昭和9年3月1日より施行。 ※総数2枚。	※昭和9年3月1日より施行。 ※総数3枚。	※真宗大谷派管長伯爵大谷光暢から、 昭和9年3月1日に満洲国即位大典 の祝いを鄭国務総理に宛てのメモか。 ※鄭国務総理とは鄭孝胥のことで、 満洲国国務総理。	※越前国第四組引接寺住職藤永彰隆。	※満洲開教監督部箋を使用。 ※奉天 布教所在勤開教使藤永彰隆。	※憶念寺衆徒登坂庄二郎。	—	—	—	※日暮臺雄を稟授一級。 ※月額金50円。	※日暮臺雄を稟授四級。 ※准学師の 大道智水を例授一級。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

402	401	400	399	398	397	396	395	394	393
326	322	322	322・330	307	307	309	307	307	318
開教名号下附願に付上申書	沙泡屯土地賃貸借契約解除承諾書	沙泡屯土地賃貸借契約解除願	沙泡屯農地賃貸借契約解除手続完了報告書	大連別院在勤開教員履歴書	大連別院在勤開教員陞列例授二級下附願に付上申書	遼陽布教所在勤開教員履歴書	遼陽布教所在勤開教員陞列例授二級下附願に付上申書	開教使陞列稟授二級下附願	大谷派滿洲開教団規約施行細則
法含 滿洲開教監督宮谷	大連農事株式会社専務取締役小倉鐸二	賃借契約人宮谷法含	拓事講習所長宮谷法含	法含 滿洲開教監督宮谷	法含 滿洲開教監督宮谷	法含 滿洲開教監督宮谷	法含 滿洲開教監督宮谷	朝鮮開教監督栗田恵成	—
教学部長	宮谷法含	東本願寺滿洲開教監督賃借契約人小倉鐸二	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	宗務総長阿部恵水	—
昭和9年2月8日	昭和8年12月16日	昭和8年11月30日	昭和9年1月18日	昭和8年8月22日	昭和9年2月10日	昭和8年8月22日	昭和9年2月10日	昭和8年11月10日	—
—	—	※昭和7年11月30日付で大連農事株式会社と旅順管内山頭会沙泡屯における土地の賃貸借契約が結ばれるが、継続困難となり契約を解除したい旨。	—	※近江国第二六組徳乗寺衆徒比叡谷正隆。	—	※越前国第七組即現寺衆徒町野哲秀。	—	—	※昭和9年3月1日より施行。※総数2枚。

413	412	411	410	409	408	407	406	405	404	403
301	301	301	309	309	307	300	300	321	307	307
朝陽川布教所開設願	朝陽川布教所設立許可願	朝陽川布教所開設願	中村仏具店仏器見積書	福井仏具店仏器見積書	朝陽川布教所開設願 申書	監督部提案満洲開教使会議協 議題	別院布教所主任会議経過報告 書	満洲国建国に付賀表伝達願に 付上申書	錦洲布教所世話係依嘱に付上 申書	錦洲布教所総代依嘱に付上申 書
—	朝陽川布教所開設 係北村新作	朝鮮開教監督栗田 恵成	中村猪之助	佛具商福井彌右衛 門	朝鮮開教監督栗田 恵成	—	満洲開教監督宮谷 法含	教学課長朝倉慶友	満洲開教監督宮谷 法含	満洲開教監督宮谷 法含
水 真宗大谷派 本願寺宗務 総長阿部恵	柳知成	宗務総長阿 部恵水	教学課	教学課	柳知成	—	宗務総長	宗務総長	教学部長	教学部長
昭和8年	昭和8年	昭和8年 12月5日	昭和9年 1月25日	昭和9年 1月25日	昭和8年 12月5日	—	昭和9年 1月25日	昭和9年 1月25日	昭和9年 2月2日	昭和9年 2月2日
—	—	※願人開設係北村新作。※朝陽川布 教所名決定の旨の貼紙あり。	—	—	※貼紙あり。 ※朝陽川布教開設係北 村新作。	—	※総数3枚。	—	※古賀鐵太郎、自見新、高築寿吉、 吉富知孝、徳安幸作、竹生光太郎、 東晃、竹内藤平、諸岡佐市、濱田榮。	※中島治作、自見梅治、徳野耕二、 中山孫一。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

425	424	423	422	421	420	419	418	417	416	415	414
306	306	307	326	326	309	301	301	309	301	301	301
湯岡子温泉陸軍療養所慰問用パンフレット下附願葉書	関東軍陸軍療養所傷病兵慰問パンフレット下附願に付上申書	開教員辞令受諾書	朝陽川布教所開設係役袈裟下附願	役袈裟下附願	吉林布教所臨時補助下附願に付上申書	朝陽川布教所開設に付添状	朝陽川布教所設計書	朝陽川布教所一ヶ年収支予算書	朝陽川地理及産業の大事書	八道講金碓地図	開設起願人名簿
田明教	鞍山東本願寺猿見	渡邊要榮	北村新作	朝鮮開教監督栗田惠成	滿洲開教監督宮谷法含	北村了圓	—	—	—	—	—
事 督部武田主	滿洲開教監	本山教学部	柳知成	柳知成	教学部長	塚本「」	—	—	—	—	—
昭和8年 12月12日	昭和8年 12月28日	昭和9年 1月13日	昭和8年 11月7日	昭和8年 11月20日	昭和8年 12月12日	—	—	—	—	—	—
—	※鞍山布教所猿見田明教に対し、本山発行パンフレット20部下附願。	—	—	※願人は、朝陽川布教所開設係開教員北村新作。	—	※名不明。	—	—	—	—	—

434	433	432	431	430	429	428	427	426
309	322 301 309	310 301 313 306	321 301 322 309	308	301 309	309	307	330
給与支出願・布教所補助金は か財政関連報告書簡	局子街布教所仏具本尊下附に 関する伝達・朝鮮半島近況報 告書簡	特派布教・別院落成式・戦死 者追弔会ほか近況報告書簡	満洲主要地における各教団の 進出状況及び都市発展状況報 告書簡	満洲国國務院総務庁情報処発 行満洲国概覧	満洲・朝鮮布教所開設費等下 附願集約書	上申未決裁分冊子	開教員陞列例授四級並びに撫 順布教所在勤辞令願	認可下附願
新京曙町東本願寺 布教所満洲開教監 督部宮谷法含	京城栗田春成	関東州旅順管内三 洞堡東本願寺満洲 拓事講習所宮谷法 含	宮谷法含	國務院総務庁情報 処			撫順大谷派本願寺 布教所在勤佐藤基 則	新京曙町東本願寺 満洲開教監督部
川那辺録事	川那辺録事	京都市烏丸 七條大谷派 宗務所教学 課朝倉篤友	一柳参務				本願寺宗務 所教学部教 学部長一柳 知成	教学課
昭和8年 8月14日	昭和9年 3月26日	昭和9年 4月12日	昭和9年 3月12日	康徳元年 10月1日 発行			昭和8年 12月26日	昭和8年 12月29日
			※満洲開教監督部箋。			※総数3枚。		※撫順布教所在勤佐藤基則。

441	440	439	438	437	436	435
320	305・320	—	328 309・317	328 309・317	301・309	306 301・309 305
熱河省礼教育資料	熱河省獅子園等写真	熱河省礼教育資料並びに熱河写真	仏教慈濟医院へ両陛下金五〇〇円下賜報告・大谷光演僧籍復活と内局辞職に対する私見・昭和八年予算報告の件ほか書簡	東本願寺慈濟医院社会事業奨励に対し両陛下より金五〇〇円下賜沙汰の公電に付書簡	滿洲布教状況報告・布教所建築予算に関する建言書簡	寺院建築補助金申請、朝陽・赤峰方面布教、七虎力ほか開拓団近況、内地物価・景気状況ほか現地報告書簡
—	藤田正雄(納入者)	「一」帝塚山中一丁目八九番地／「一」田祥三郎	京城栗田恵成	佐伯印順	新京曙町東本願寺布教所滿洲開教監督部宮谷法含	宮谷法含
—	大谷大学圖書館	「一」学圖書館	川那邊録事	朝鮮開教監督栗田恵成徳史	京都市烏丸七条大谷派宗務所教学課川那邊録事	一柳参議
—	—	—	昭和9年5月2日	昭和9年4月29日	昭和9年2月26日	2月26日
※表紙に「禮教資料第一號」「熱河省公署教育廳禮教科」とあり。	※納入伝票(昭和15年2月15日付)あり。※写真58枚伝票1枚。	※封筒上書に図書館の住所あり。大谷大学図書館に宛られたものと思われる。	—	—	9年3月6日受取カ。	※別院敷地の件。※熱河省方面布教。※吉林省布教。※布教所間連絡。※寺院建築補助金申請。※開拓団。※教員資格者ほか。

449	448	447	446	445	444	443	442
322	322	322	309 305・306	306	300	300	308
五常布教所木仏御本尊安置願	五常布教所木仏御本尊安置願	五常布教所に木仏御本尊安置に付上申書	第一小学校教育・軍人布教開始通知書	東本願寺グラフ第二輯	自昭和八年七月至一二月満洲開教監督部管内教務報告書	自昭和八年七月至一二月満洲開教監督部開教事務報告	蒙旗行政組織制度改革記念特刊
勤竹内真道 満洲開国濱江省五常県五常布教所在	勤竹内真道 満洲開国濱江省五常県五常布教所在	萬溪 満洲開教監督木下	宮谷法含	会課 京都市烏丸七条上ル大谷派宗務所社	教監督部 在満洲新京満洲開	法含 満洲開教監督宮谷	國務院総務廳情報處
宗務総長	宗務総長	宗務総長	川那辺録事	—	—	宗務総長	—
昭和13年 8月8日	昭和13年 8月8日	昭和13年 8月18日	4月2日	昭和12年 12月5日 発行	昭和9年 1月	昭和9年 1月31日	康徳1年 12月1日
※右記資料の下書き。	※願主・満洲国濱江省五常布教所 ※寄進人・満洲国濱江省五常県山根善吉。	※付箋・「本申特ニ寄附者有シモノニ付、特別ヲ以テ御許可相成度方」。	※満洲開教監督部箋。	—	※一、監督部直接事項 二、布教所開設並各地重要事項 三、特別開教事項（別紙）大谷派在満洲布教所々在地一覽。	—	※蒙旗行政区画図。 ※蒙政部大臣声明。 ※理由書。 ※蒙政部官制に関する条文。 ※興安各省省域及び省公署所在地。 ※興安各省面積人口一覽。 ※宣伝紙あり（3枚）。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

459	458	457	456	455	454	453	452	451	450
307 ・ 309	309	301 ・ 322	309	302	306 ・ 310	306 ・ 310	326	326	326
長江開教監督兼上海別院輪番 三森実言新井別院より呼招旅 費支払に付送票及び領収証	赴任旅費送票並びに領収書	満洲国四布教所下附用新京曙 町東本願寺送附仏具明細証明 書	五常布教所建築補助・満洲西 北区巡回布教費補助金領収証	長教寺衆徒越川康啓上海在住 信徒布教の為渡海証明書	教学課より各開教監督部へ安 藤正純地方皇軍慰問、視察巡 回日程表配付資料	安藤正純中北支皇軍慰問蒙滿 視察日程冊子	四平街布教所本堂建築委員へ の感謝状案	建築委員に賞典下附方請願に 付上申書	四平街布教所竣工による功勞 者表彰願出に付上申書
三森実言	大谷派本願寺出納 主任	眞宗大谷派教学部	新京曙町東本願寺 満洲開教監督部	眞宗大谷派教学部	教学課	—	宗務総長安田力	大谷派本願寺四平 街布教所所在勤鈴木 隆誠	満洲開教監督藤岡 了淳
大谷派本願 寺出納主任	越川康啓	—	會計部出納 課	長教寺衆徒 越川康啓	各開教監督 部	—	竹村石次郎	—	宗務総長、 教学部長
昭和13年 8月3日	昭和13年 8月3日	昭和13年 9月6日	昭和13年 8月8日	昭和13年 9月8日	昭和13年 9月12日	—	昭和13年 7月10日	昭和13年 5月16日	昭和13年 6月18日
※一枚の紙に送票と領収証を印刷。	※領収証の領収者名に、「代理／三森 実言」とあり。	—	※金一千二百二十拾円也内訳金一千円 也五常布教所建築補助／金二百二十拾 円也満洲西北区巡回布教費補助。	—	—	—	—	—	※付箋あり。「一。念珠式拾連(用度 保受品)／一。宗務総長名義謝状／右 今後教線確保上ノ申モ有之貫ニ付冠 同ノ通御下附相来度方」。



466	465	464	463	462	461	460
304 ・ 309	307	307	322 308 ・ 320	321 308 ・ 328 320	309	307 ・ 309
昭和一三年七月分大慈園事業 状況並会計報告所	開教員登坂庄二郎履歴書	開教員登坂庄二郎例授二級昇 級に付上申書	瑞穂布教所機関誌『瑞穂』第 七号	瑞穂布教所機関誌『瑞穂』第 六号	三森実云赴任旅費・準備費送 票及び領収証	長江開教監督兼上海別院輪番 三森実言事務費支払に付送票 及び領収証
財団法人大慈園理 事長木下萬溪	憶念寺衆徒登坂庄 二郎	満洲開教監督藤岡 了淳	五反田正信	五反田正信	大谷派本願寺出納 主任	三森実言
大谷派本願 寺教学部長	—	教学部長	—	—	三森実云	大谷派本願 寺出納主任
昭和13年 8月12日	—	昭和13年 6月29日 上申／7 月4日受 付	昭和13年 8月15日 発行	昭和13年 8月5日 発行	昭和13年 8月3日	昭和13年 8月3日
昭和一三年七月分歳入歳出月末現 況調査財団法人大慈園。※昭和一二 （一三）カ）年七月分事業状況 1、救護統計（年齢は数へ年を示す） 2、新収容児童の境遇別 3、退園 児童の成行別 4、通学児童と学校 及学年別 5、在園児童と両親との 関係。	—	※付箋あり。「本申開教上功績甚大ニ 有之候条也／請しめく御陸列相来度 方」。	—	※移民団の親和向上の機関誌。 ※毎 月五、一五、二五日に発行。	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

473	472	471	470	469	468	467
309 ・ 310	318 301 ・ 305	301 ・ 322	322	307 ・ 309	301 ・ 322	304 ・ 309
満洲国内移民団並に開拓訓練所慰問行程表並に経費決算報告書	勃利幼稚園設立願書並に申請書	満洲別院用仏具満洲国関税法第三十七条第十一号適用に關し陳述上申書	東本願寺満洲別院宛積送佛具明細書写	藤岡了淳満洲開教監督兼満洲別院輪番辭任に付帰国旅費請求書	満洲別院向仏具發送時期遅延に付証明書	昭和十三年八月分大慈園事業状況並会計報告所
網田義雄	東本願寺勃利布教所在勤開教使加田岡俊雄	満洲開教監督部	京佛壇佛具金物製作所野村屋若林卯兵衛商店	藤岡了淳	大谷派本願寺教学部	財団法人大慈園理事長木下萬葵
—	東本願寺満洲開教監督藤岡了淳	教学課	本山教学課	宗務総長	—	大谷派本願寺教学部
—	康徳5年6月1日	昭和13年8月19日 上申／8月22日 教学課受付	昭和13年8月18日	昭和13年8月18日	昭和13年9月14日	昭和13年9月10日
※二月二三日より四月一〇日。	—	—	—	—	—	※昭和十三年八月分歳入歳出月末現況調査歳入歳出。※昭和二十二年(一九三〇)年八月分事業状況 1、救護統計 2、新収容児童の境遇別 3、退園児童の成行別 4、通学児童と学校及学年別 5、在園児童と両親との関係。

481	480	479	478	477	476	475	474
307	307	307	305	307	307	326	326
開教員五名昇級に付上申書	開教使廣部訣略歴	開教使廣部訣稟授二級昇級に付上申書	依頼書 科用編纂使用教科書一覽提出 びに中学・専門学校・大学予 中学・専門学校・大学一覽並 仏教学院開設参考用宗派付属	岡淳晃経歴書	開教員田淳晃例授一級昇級に付上申書	奉天別院世話方陸軍中将谷田繁太郎死去に付法主染筆院号法名下附の儀上申書	奉天別院世話方陸軍中将谷田繁太郎死去に付法主染筆院号法名下附の儀上申書
了淳 満洲開教監督藤岡	諛 福井県丹生郡志次 村引接寺衆徒廣部	了淳 満洲開教監督藤岡	照 興亜院調査官武田	岡淳晃	了淳 満洲開教監督藤岡	了淳 満洲開教監督藤岡	教学部長圓山千之
教学部長	—	宗務総長	真宗大谷派 宗務所	—	教学部長	宗務総長	宗務総長
昭和13年 6月29日	—	昭和13年 7月4日	昭和15年 1月25日	—	昭和13年 6月29日	昭和13年 7月18日	昭和13年 7月25日 上申／8 月11日允 可
※例授一級は、政坂賢壽・邊床智照。 ※例授二級は、矢田勇雄・高山龍音。 ※例授三級は、浅井晃。※付箋あり。 「本申之通御陞列相来度方」。	—	※付箋あり。「本申開教上ノ功勞不勤 且年限モ相当経過致居候ニ付御陞列 相来度方」。	—	—	※付箋あり。「本申之通御陞列相成度 方」。	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

490	489	488	487	486	485	484	483	482
309	307	307	307	307	307	307	307	307
満洲仏教總會に対する補助金 下附願	開教使小笠原潔略歴	開教使畠山頼哲略歴	開教使畠山頼哲・小笠原潔昇 級に付上申書	開教員浅井晃略歴	開教員高山龍音略歴	開教員矢田勇雄略歴	開教員邊床智照略歴	開教員政坂賢壽略歴
満洲国仏教總會会 長積如光	滋賀県坂田郡長浜 町真願寺衆徒小笠 原潔	石川県羽咋郡越路 野村玉照寺住職畠 山頼哲	満洲開教監督藤岡 了淳	愛知県幡豆郡元和 村正光寺衆徒浅井 晃	福岡県朝倉郡上秋 月村光鶴寺衆徒高 山龍音	兵庫県赤穂郡高田 村大開寺住職矢田 勇雄	石川県珠洲郡飯田 町仙洋寺住職邊床 智照	福井県足羽郡社村 称名寺衆徒政坂賢 壽
督 眞宗大谷派 満洲開教監			宗務総長務					
9月10日 康徳6年			昭和13年 6月29日					
			※稟授一級は、畠山頼哲。稟授二級 は、小笠原潔。※付箋あり。「本申之 通御陸列相来度方」。					

499	498	497	496	495	494	493	492	491
307	307 ・ 309	309 301 ・ 307	307	307	307	307	309 305 ・ 307	307 ・ 309
山崎順了履歴書	滿洲別院在勤山崎順了滿洲開教監督部書記申付に付上申書	靖國寺在勤大浦圓黒台駐留申付及び毎月補助金五〇円支給に付上申書	吉住昭文履歴書	松枝英俊履歴書	結城公雅履歴書	一色順覺履歴書	哈爾濱訓練所委託生滿蒙移民教化研究による哈爾濱駐留申付及び補助金支給に付上申書	大浦圓馬台布教所赴任に付開費及び六月分手当領収書
新瀉県三島郡脇野町浄福寺副住職山崎順了	滿洲開教監督大照徳順	滿洲開教監督木下萬溪	三重県伊勢国第五組本宗寺衆徒吉住昭文	近江国第一〇組浄宗寺衆徒松枝英俊	新瀉県妙音寺内結城公雅	美濃国第二組上宮寺衆徒一色順覺	滿洲開教監督木下萬溪	大浦圓
—	安田総長	宗務総長	—	—	—	—	教学部長	滿洲開教監督部
—	昭和14年11月11日上申 昭和14年11月10日申付	昭和14年6月1日	昭和14年2月25日	昭和14年4月15日	昭和14年4月8日	昭和14年2月	昭和14年4月25日申付カ	昭和14年6月5日
—	※付箋あり。「任滿洲開教監督部書記例授待遇手当三〇円也昭和一四年十一月十日付滿洲別院在勤山崎順了右本申ノ通御申付相成度方」。	※付箋あり。「北滿教線伸張ノ為本申ノ通御任命相成度方」。	—	—	—	—	※哈爾濱訓練所委託生一色順覺・結城公雅・松枝英俊・吉住昭文。※付箋あり。「本申之通御任命相成度方」。	※内訳開設費内金100円 6月分手当50円計150円。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

508	507	506	505	504	503	502	501	500
322 301 309	322 301 309	322 301 309	301 322	322 301 309	322 301 309	322 301 309	322 301 309	322 301 307
仏具類価格見積書	朝陽山布教所用本尊並に仏具 下附認可に付上申書	本尊価格照会依頼書	朝陽山布教所用本尊並に仏具 下附認可に付上申書	仏具類価格見積書	本尊価格見積書	本尊並に仏具下附認可に付上 申書	本尊価格照会依頼書	稲月政雪東安布教所開設係任 命及び本尊並に仏具下附認可 に付上申書
福井仏具店	興亜事務局次長恵 美安霊	興亜事務局	徳順 満洲開教監督大照	福井仏具店	庶務課絵表掛	興亜事務局次長恵 美安霊	興亜事務局	徳順 満洲開教監督大照
興亜事務局	宗務総長安 田力	庶務課	安田総長	興亜事務局	興亜事務局	宗務総長安 田力	庶務課	安田総長
	11月30日 昭和14年	11月27日 昭和14年	11月29日 昭和14年			1月18日 昭和15年	12月5日 昭和14年	12月1日 昭和14年

518	517	516	515	514	513	512	511	510	509
309	309	322 309 ・ 321	309	330	309 ・ 322	309 ・ 322	301 ・ 322	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309
満洲開教監督部書記山崎順了 年末手当支給に付伺書	満洲開教監督部書記山崎順了 に対する年末手当支給認可に 付上申書	鐵嶺布教所に対する補助下附 に付歎願書	鐵嶺布教所に対する補助認可 に付上申書	齊々哈爾市近郊開拓地一覽	齊々哈爾布教所に対する開拓 基地布教所設備費下附願書	齊々哈爾布教所に対し設備費 支出認可に付上申書	購入物品検収表	仏具代請求書	本尊価格見積書
徳順 満洲開教監督大照	興亜事務局次長恵 美安靈	鐵嶺布教所信徒	徳順 満洲開教監督大照	――	勤野原泰雄 齊々哈爾布教所 在	徳順 満洲開教監督大照	會計監査局	福井仏具店	庶務課絵表掛
長 興亜事務局	田力 宗務総長安	東本願寺満 洲開教監督 大照徳順	安田総長	――	開教監督部	長 安田宗務総	――	興亜事務局	興亜事務局
同 11 昭和 29 14年 日	12 昭和 月 14年 13 日	11 昭和 月 14年 20 日	12 昭和 月 14年 5 日	――	12 昭和 月 14年 4 日	12 昭和 月 14年 8 日	12 昭和 月 14年 12 日	――	11 昭和 月 14年 30 日
――	――	上田政太郎・大下徳男・奥村一男 ※鐵嶺布教所信徒・松岡佐右衛門・ 田村齊治・山田松次郎・安達友治・ 森六男・大野木勇蔵・中川平太郎・	――	――	――	――	錢。 ※品目…仏具一式。 ※金額…108円10	――	――

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

526	525	524	523	522	521	520	519
322 301 ・ 309	309 ・ 322	306 ・ 309	309	309	309	309	309
龍井布教所新築補助支出認可 上申書類	壺蘆島布教所建築補助支出認可 可上申書類	海拉爾慰靈祭供物費支出認可 に付上申書	満洲仏教總會負担金支出認可 に付上申書	訓練生月手当に關し昭和一四 年度予算より支出に付上申書	訓練生並に留學生に対する月 手当増額認可に付上申書	訓練生並に留學生に対する月 手当増額認可に付上申書	未清算分出張・赴任旅費支出 願に付上申書
滿洲開教監督大照 徳順	滿洲開教監督大照 徳順	滿洲開教監督大照 徳順	滿洲開教監督大照 徳順	教學課録事館義順	興亜事務局次長恵 美安靈	滿洲開教監督大照 徳順	興亜事務局次長恵 美安靈
安田総長	安田総長	安田宗務総 長	安田宗務総 長	教學部長	宗務総長	安田総長	宗務総長安 田力
昭和14年 11月24日	昭和14年 10月30日	昭和14年 10月30日	昭和14年 11月16日	昭和14年 8月29日	昭和14年 10月24日	昭和14年 10月17日	昭和15年 1月19日
※付箋あり。「金四百円也龍井布教所 新築補助(建築補助ヒ中、龍井ノ分) 右本申之通支出御認可相成度方」。	※付箋あり。「金五百円也滿洲壺蘆島 布教所建築補助(建築補助同布教所 分)右本申ノ通り支出御認可相成度 方」。	※付箋あり。「一、金三十円也滿洲海 拉尔慰靈祭供物費右止ムヲ得ザルモ ノト認メラレ候条予備費ヨリ特ニ支 出御認可相成度方」。	※付箋あり。「金五百円也滿洲仏教会 總會負担金右本申通り支出御認可相 成度方」。	—	—	—	※金90円。内訳 酒井智学旅費及び 日当15円 長澤隆雄赴任旅費補助25 円 吉田政雄赴任旅費補助25円 毛 利諦静赴任旅費補助25円。※送金票 と領収書が一紙に印刷されたものが 4点あり。



535	534	533	532	531	530	529	528	527
307 ・ 309	322 301 ・ 309	309 ・ 322	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	301	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309
類 する 前満洲開教監督木下萬溪に対 する残務手当支給認可上申書	牧村初雄黒台駐留に付防寒具 費支出認可上申書類	綏綏布教所在勤佐々木令章瑞 穂布教所転勤に付防寒具費支 出認可上申書類	本尊見積書	絵像本尊実費下附に付上申書	絵像本尊原価見積照会依頼書	本尊供奉の必要に付書状	特別絵像本尊実費下附に付上 申書	絵像本尊実費下附認可に付上 申書
徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	庶務課絵表掛	外進 高岡教務所長蓮池	興亜事務局	—	願寺住職真栗良超 塚村院林第二組常 富山県東砺波郡廣	徳順 満洲開教監督大照
安田総長	安田総長	安田総長	興亜事務局	田力 宗務総長安	庶務課	真栗良超	長蓮池外進 高岡教務所	安田総長
10 昭和 月 14年 17 日	10 昭和 月 14年 17 日	10 昭和 月 14年 17 日	10 昭和 月 14年 26 日	10 昭和 月 14年 7 日	10 昭和 月 14年 24 日	9 月 26 日 (昭和14年)	—	10 昭和 月 14年 16 日
※付箋あり。「本申御詮議之上支出御 認可相成度方」。	※付箋あり。「本申特別ヲ以テ支出御 認可相成度方」。	※付箋あり。「本申特別ヲ以テ支出御 認可相成度方」。	※五百代本尊一幅、35円64銭。	—	—	—	※絵像本尊一幅五百代。	※付箋あり。「繪像御本尊五百代二礼 参拾五円六拾四銭也本申特別ヲ以テ 下附御認可相成度方」。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

545	544	543	542	541	540	539	538	537	536
309	308	307	307・309	307	307・309	306・320	306・320	307・309	307・309
赴任旅費支給願に付上申書	長澤隆雄他一七名赴任旅費金六四〇円支給願に付上申書	佐々木照雄略歴	布教使佐々木照雄開教使任命及び開教監督部出任申付認可に付上申書	梅田正秀履歴書	梅田正秀哈爾濱駐留申付認可に付上申書	『聖戦美術』刊行趣意書	『聖戦美術』発刊の辞	残務手当請求書	前満洲開教監督部主事網田義雄に対する残務手当支給認可に付上申書
徳順	満洲開教監督大照	石川県諳了寺衆徒佐々木照雄	満洲開教監督兼滿洲別院輪番大照徳順	越前国正等寺衆徒梅田正秀	萬溪 満洲開教監督木下	陸軍美術協会	陸軍美術協会	前満洲開教監督部主事網田義雄	興亜事務局出仕増田圓磨
安田局長	會計部長	—	宗務総長	—	教学部長	—	東本願寺	興亜事務局	宗務総長
昭和15年1月22日	昭和15年2月15日	—	昭和14年8月14日申上申／8月1日申付	昭和14年7月28日	昭和14年7月28日	—	昭和15年2月	昭和14年10月11日	昭和14年10月16日
※付箋あり。	※受取人は大照監督。	—	※月手当70円支給。※欄外に「アミタノ代リ」というメモあり。	—	※月手当30円支給。※旅費準備費70円支給。※付箋あり。「本申之通御任命相成度方」。	—	※封筒あり。※差出人は陸軍美術協会会長松井石根。※宛先は京都東本願寺。	—	—

554	553	552	551	550	549	548	547	546
307	307	309	309	309	309	309	309	301・307
願生寺衆徒岡田武雄履歴書	願生寺候補衆徒岡田武雄履歴書	大連別院在勤開教員相良辰吉 耶馬溪鉄道深耶馬駅より大連へ赴任に付旅費請求書	大連別院在勤開教員江偶誓誠 日豊本線宇佐駅より大連へ赴任に付旅費請求書	大連別院在勤開教員林實明 児島支線三角駅より大連へ赴任に付旅費請求書	大連別院在勤開教員北本淨芳 北陸本線支線水見駅より大連へ赴任に付旅費請求書	赴任旅費支給願に付上申書	赴任旅費補助金六四〇円支出に付上申書	昭和一三年七月より昭和一四年六月までの部下着任者氏名一覽
大阪府願生寺衆徒岡田武雄	大阪府大谷派願生寺候補衆徒岡田武雄	大連別院在勤開教員相良辰吉	大連別院在勤開教員江偶誓誠	大連別院在勤開教員林實明	大連別院在勤開教員北本淨芳	萬溪 滿洲開教監督木下	興亜事務局主任増田圓磨	—
—	—	爲郷世淳 教学部長	爲郷世淳 教学部長	爲郷世淳 教学部長	爲郷世淳 教学部長	—	會計部長	—
—	昭和14年	昭和14年 6月3日	昭和14年 6月3日	昭和14年 6月3日	昭和14年 6月3日	昭和14年 6月20日	昭和14年 9月25日	—
—	田武雄と改名。 正圓。※幼少時養子となり姓名を岡田武雄と改名。 ※(原籍)兵庫県尼ヶ崎市杭瀬町大崩六眞宗西本願寺布教所三神	—	—	—	—	—	※受取人日照徳順。※付箋あり。	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

561	560	559	558	557	556	555
309	309	309	307	309	309	307
<p>出張旅費請求に付上申書</p> <p>信岳小原在勤葬儀参列並に事務打合せのため奉天別院への出張旅費請求に付上申書</p> <p>満洲開教監督部書記五反田正信</p>	<p>監督部書記五反田正信岳小原在勤葬儀参列並に事務打合せのため奉天別院への出張旅費請求に付上申書</p> <p>満洲開教監督部大照 徳順</p>	<p>監督部年末手当支給願に付上申書</p> <p>興亜事務局次長恵美安壺</p>	<p>ハル濱訓練所入所生兵役に付二俣義山・益谷陽志郎・岡田武雄補充を以って入所申付の儀上申書</p> <p>満洲開教監督部大照 徳順</p>	<p>ハル濱訓練所入所生二俣義山・益谷陽志郎・岡田武雄訓練延長に付入所手当延長認可に付上申書</p> <p>興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安壺</p>	<p>ハル濱訓練所入所生兵役のため退所に付二俣義山・益谷陽志郎・岡田武雄補充及び昭和一五年度開教費請求の儀上申書</p> <p>満洲開教監督部大照 徳順</p>	<p>能登国宝蔵寺衆徒益谷陽志郎履歴書</p> <p>石川県能登国寶蔵寺衆徒益谷陽志郎</p>
大照監督	安田局長	會計部長	安田局長	安田局長	安田局長	
昭和15年 12月20日	昭和15年 12月20日	昭和15年 12月31日	昭和15年 8月28日 上申 9月1日 日申付	昭和16年 1月10日	昭和15年 9月7日	昭和14年 12月29日
				※付箋に「原書御返報相成度方」とあり。		※一紙に「満洲開教監督部専用」とあり。※昭和11年9月9日渡満・新京布教所詰。※昭和15年2月5日満洲別院在勤申付。

570	569	568	567	566	565	564	563	562
309・310	309・310	309・310	309	309	309	309	301	309・301・307
隆藤氏付同行者日程並びに旅費計算書	野間氏付同行者日程並びに旅費計算書	野間・稲葉・隆藤慰問使同行者・旅費明細書	昭和一五年度満洲開教監督部年末手当支給の件に付上申書	監督管内出張随行旅費請求書	管内出張旅費請求書	四平街慰霊法要に付出張旅費支給の儀上申書	三道溜鹿西郷開拓団布教所開設請願書	竹視義道三道溜鹿西郷開拓団布教所開設所開設係任命並に開設費認可に付上申書
	野間		満洲開教監督大照 徳順	山崎順了	大照徳順	満洲開教監督大照 徳順	三道溜開拓団团长 長谷田江志カ	満洲開教監督大照 徳順
			安田局長	開教監督大照 徳順		安田局長	竹視義道	安田局長
			昭和15年 11月29日	昭和15年 12月20日	昭和15年 12月20日	昭和15年 12月20日	康徳7年 12月12日	昭和15年 12月20日
			※付箋2枚あり。「内譯一、金壹百九拾圓也五反田外三名分年末手当支出金貳百参拾圓也大照・佐々木昭和拾六年四月七日」、「原書御返報相成度方」。			※「原書御返報相成度方」の付箋あり。		※付箋2枚貼付。「開設費二〇〇圓防寒具費一〇〇圓赴任費五〇圓ノ支出上申ハ本人ヨリノ申請ヲ添付シ本書ニ依リテ扱ヒ月手當七〇圓宛ノ支出ハ別上申ニテ扱フベク候条此点御承認ノ上御取扱相成度方」、「原書御返却相成度方」。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

579	578	577	576	575	574	573	572	571
309 ・ 322	305 ・ 309	322 301 ・ 309	326 301 ・ 322	322 301 ・ 326 309	309	309	309	310
佳木斯布教所開拓基点設備費支給願に付上申書	新京・佳木斯・承德・牡丹江・延吉・図們幼稚園補助に付上申書	佳木斯第一陸軍病院下附用仏具見積書	佳木斯第一陸軍病院に対する仏具下附願	佳木斯第一陸軍病院に対する本尊仏具下附認可に上申書	東安・白城子布教所に付する開拓基点設備費下附認可に付上申書	慰勞会費支給願に付上申書	開拓地教化・巡回慰問に付慰問使随行旅費支給の儀上申書	同行者日程並びに乘車区間計算書
德順	德順	福井佛具店	佳木斯第一陸軍病院院長金田友三郎	德順	德順	德順	德順	
安田局長	安田局長	興亜事務局	大谷派本願寺宗務総長 安田力	安田局長	安田局長	安田局長	安田局長	
昭和15年 10月16日	昭和15年 10月16日	昭和15年 10月22日	昭和15年 9月6日	昭和15年 10月16日	昭和15年 10月26日 決/上申 日10月21 日カ	昭和15年 10月23日	昭和15年 11月6日	
※付箋あり。「原書御返却相来度方」。	※付箋2枚あり。「原書御返」「」、 もう1枚は全て破損。			※付箋あり。「原書御返却相成度方興亜事務局」。	方」。	※付箋あり。「原書御」」。※領収書一枚付属(新京吉野町割烹松翠)。		※稲葉氏付カ。

587	586	585	584	583	582	581	580
307	309 301 ・ 307	307	309 301 ・ 307	322 301 ・ 309	326 301 ・ 322	326 301 ・ 322	322 301 ・ 326 309
河内国第一〇組蓮信寺衆徒松田常行履歴書	河内国中河内郡蓮信寺衆徒松田常行北安省海倫県黒馬龍四国開拓団布教所開設係任命に付上申書	山城国第二組唯明寺衆徒木下延三履歴書	山城国唯明寺衆徒木下延三東安省密山県西二道崗開拓団布教所開設係任命に付上申書	黒河陸軍病院下附用本尊仏具見積書	黒河陸軍病院本尊請書	黒河陸軍病院に対する本尊仏具下附願	黒河陸軍病院に対する本尊仏具下附認可に付上申書
河内国第一〇組蓮信寺衆徒松田常行	滿洲開教監督大照 徳順	山城国第二組唯明寺衆徒木下延三	滿洲開教監督大照 徳順	福井佛具店	昌 黒河布教所武村義	黒河陸軍病院長中山政之	滿洲開教監督大照 徳順
—	安田局長	—	安田局長	興亜事務局	昌 開教監督大照 照徳順	昌 黒河本願寺主任武村義	安田局長
昭和15年10月9日	昭和15年10月11日 上申 11月1日申付	昭和15年10月9日	昭和15年10月11日 上申 11月1日申付	昭和15年7月24日	昭和15年10月11日	昭和15年9月24日	昭和15年10月15日
—	※付箋あり。「原書御返却」。「豫工河」を消して「四國」と訂正。	—	※付箋あり。	—	—	—	※付箋あり。「原書御返却相成度方」。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

596	595	594	593	592	591	590	589	588
309	310 301 ・ 307	309	309 301 ・ 302	309 301 ・ 302	309 301 ・ 302	309 ・ 322	301 ・ 309	301 ・ 309
察費支出認可に付上申書	哈爾濱訓練生大谷遜北滿各開拓団慰問視察による開拓地視察費支出認可に付上申書	哈爾濱訓練生手当拾月四日停止に付上申書	吉林布教所入仏法要参列による管内出張随行旅費請求書	吉林布教所入仏法要参列による管内出張旅費請求書	吉林布教所入仏式参列による出張旅費支出認可に付上申書	甘井子布教所新築による建築補助費支出認可に付上申書	北安省予工河布教所開設準備費及び開設係松田常次赴任費支出認可に付上申書	東安省西二道崗布教所開設準備費及び開設係木下延三赴任費支出認可に付上申書
德順	德順	德順	山崎順了	(大照德順カ)	德順	德順	德順	德順
安田局長	安田局長	安田局長	照德順	—	安田局長	安田局長	—	安田局長
9月18日	昭和15年9月18日	昭和15年10月9日	昭和15年10月21日	昭和15年10月21日	昭和15年10月21日	昭和15年10月10日	昭和15年10月11日	昭和15年10月11日
※開拓地における布教所開設のための慰問視察カ。	※付箋あり。「布教使種村義淵教用ニ付滿洲へ出張ヲ命セラル」。	※訓練生六名(大谷遜、小早川純、本田光、黒崎照一、木下延三、松田常行)。	—	—	※付箋あり。「原書御返却(以下破損)」。	※付箋あり。「原書御返却(以下破損)」。	—	—



604	603	602	601	600	599	598	597
309 ・ 312	309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	309	309	310 301 ・ 309	310 302 ・ 309
仏教總會補助金の内半額支出 認可に付上申書	田師付教所在勤横井諦信より 新設布教所費支給願に付上申 書	瑞穂布教所建築補助金下附願	瑞穂布教所建築補助下付認可 に付上申書	監督部書記五反田正信哈爾濱 訓練所出張旅費下附依頼に付 上申書	監督部書記五反田正信哈爾濱 訓練所出張に付旅費支出の儀 上申書	種村特派布教使滿洲巡回日程 表	特派布教使種村義淵に対する 旅費補助支出認可に付上申書
徳順	徳順	瑞穂布教所 佐々木令章	安田局長	監督部書記 五反田正信	満洲開教監督大照 徳順		満洲開教監督大照 徳順
安田局長	安田局長	満洲開教監督大照 徳順	満洲開教監督大照 徳順	大照監督	安田局長		安田局長
昭和15年 9月4日	昭和15年 9月4日	昭和15年 9月2日	昭和15年 9月7日	昭和15年 9月17日	昭和15年 9月18日		昭和15年 9月18日
※補助金一〇〇〇円の内五〇〇円支出。	※破損あり。			※監督部書記五反田正信、哈爾濱訓練所へ出張、9月12日から15日の4日間。金31円92銭。内訳：14円52銭：新京・哈爾濱間汽車賃（2等）、9円：宿泊3日間、6円：日当4日間、2円40銭：哈爾濱訓練所間自動車賃。	※31円92銭監督部費。		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

611	610	609	608	607	606	605
309・330	309・326	309・326	326	326	326	322 301・309
奉天別院在勤岳力原昇死亡による弔慰料下付に付上申書	七門見積書 金欄表装御文小本宥冊原価金	金欄表装御文小形合体に對する表彰品御文小形合会 金欄表装宥冊の原価照会	満洲壺蘆島布教所建築功勞者に對する表彰の原価照会	壺蘆島本願寺新築追加功勞者表彰に付上申書	壺蘆島布教所功勞者表彰に付追加功勞者二名に對する表彰の儀上申書	壺蘆島布教所鐘樓・梵鐘寄進に付寄進者及びその他功勞者一五名に對する表彰の儀上申書
徳順	蔵版係	興亜事務局	長澤隆雄	徳順	満洲開教監督大照	徳順
安田局長	興亜事務局	庶務課	満洲開教監督大照徳順	安田局長	安田総長	安田局長
昭和15年11月25日	昭和15年11月5日	昭和15年11月5日	昭和15年10月1日	昭和15年10月5日	昭和15年9月30日 上申／11月15日決	昭和15年8月28日
※付箋跡あり。 ※死亡届。			※追加功勞者二名 満鉄社員中原武夫、同三村喜助。	※世話方二名 中原武夫、三村喜助。 ※朱印で「至急」とあり。	※表彰者 高田貞雄、懷野まを、栗原八郎、矢田磯二、富増嘉市、野浪恭義、齊藤黙鏡、吉野秀秋、小池保二、大路重一、齊藤文一、大井章、三上徳市、山之内千代之進、上田純義。 ※付箋あり。「本申尤モト被存候條左記ノ通表彰相成ノ度方一、鐘樓・梵鐘寄進人へ小形合本御文宥冊ノ(金欄表装)十四円、二礼へ一、其ノ他功勞者十五名へ本盃一個宛及表彰状」。 ※表彰状の文案。	※付箋あり。「上局ニ於テ左ノ通り申合セ承認候事奉天別院建築補助ノ件昭和一五年度金三千円也下付昭和一六年度金貳千円也下付」。 ※奉天別院庫裡建築。

619	618	617	616	615	614	613	612
309 302 ・ 310 307	309 302 ・ 310 307	311 ・ 326	311 ・ 326	309 301 ・ 311 307	309 ・ 311	330	330
布教使上野馨紀元二六〇〇年 特別伝道特派布教使任命及び 経費支出認可に付上申書	布教使上野馨紀元二六〇〇年 特別伝道特派布教使任命及び 経費支出認可に付上申書	満洲石油株式会社社長他二名 に対する感謝状並びに感謝品 下附に付上申書	留学生加藤清に対する満洲石 油株式会社代表社員好意配慮 に付同社代表社員に前門様染 筆二字額三面贈呈の儀上申書	津市乙部町光徳寺衆徒大谷中 学校教諭清井義雄満洲国留学 生任命に付上申書	留学生清井義雄月手当増額に 付上申書	在勤死亡届	奉天別院在勤岳力原昇死亡に 付上申書
満洲開教監督大照 徳順	興亜事務局次長恵 美安霊	東本願寺蒙古留学 生加藤清	興亜事務局次長恵 美安霊	興亜事務局次長恵 美安霊	興亜事務局次長恵 美安霊	奉天別院輪番本明 龍貫	満洲開教監督大照 徳順
安田局長	宗務総長		宗務総長	宗務総長	宗務総長	大照監督	安田局長
昭和15年 8月27日	昭和15年 8月29日		昭和16年 2月4日 上申／2 月14日扱	昭和15年 8月30日 上申／9 月1日付 任命	昭和16年 3月22日 上申／4 月1日付	昭和15年 11月23日	昭和15年 11月25日
				※付箋跡あり。	※付箋跡あり。		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

628	627	626	625	624	623	622	621	620
307	309	309	302 ・ 309	302 ・ 309	309	309	302 ・ 309	302 ・ 310
安東別院在勤横井諦信田師付 布教所在勤申付に付上申書	滿洲開教監督部例授三級司計 補記伊正信赴任旅費請求書	監督部司計記伊正信赴任旅費 支出に付上申書	監督部書記山崎順了開教監督 管内出張随行旅費請求書	大照徳順管内出張旅費請求書	管内視察懇問による旅費支出 に付上申書	哈爾濱出張旅費日当下附に付 上申書	監督部書記五反田正信哈爾濱 出張旅費支出に付上申書	特派布教使上野馨巡回日程表
滿洲開教監督大照 徳順	滿洲開教監督部例 授三級司計補記伊 正信	滿洲開教監督大照 徳順	監督部書記山崎順 了	大照徳順	滿洲開教監督大照 徳順	監督部書記五反田 正信	滿洲開教監督大照 徳順	—
安田局長	滿洲開教監督 大照徳順	安田局長	—	—	安田局長	大照監督	安田局長	—
昭和15年 8月7日 申上申付	昭和15年 8月1日	昭和15年 8月31日	昭和15年 8月29日	昭和15年 8月29日	昭和15年 8月31日	昭和15年 8月29日	昭和15年 8月31日	—
—	—	※56円6銭。	※昭和15年8月9日から8月25日。 ※運賃66円87銭。※旅費17日間21円 25銭。※宿泊16日間40円。※総計128 円12銭。	※昭和15年8月9日から8月25日。 75銭、16日間宿泊手当56円。※運賃 111円39銭。※総計197円14銭。	—	※昭和15年8月23日から8月26日の 4日間。※金33円52銭。	※金33円52銭。	—

637	636	635	634	633	632	631	630	629
309	309 ・ 322	322 301 ・ 309	309 ・ 322	307	307 ・ 309	330	309	307
昭和一五年度開拓地開教費に付上申書	壺蓋島布教所に対する建築補助費支出に付上申書	靖國寺に対する建築補助支出に付上申書	北安布教所土地購入による補助費支出に付上申書	満洲別院在勤岡川憲文履歴書	満洲別院在勤岡川憲文山形郷開拓団布教所開設係任命並びに月手当支出認可に付上申書	第一回開拓地団長及村長其他直接関係者招待氏名	第一回開拓地団長及村長其他直接関係者招待費支出に付上申書	横井諦信履歴書
徳順	徳順	徳順	徳順	岡川憲文 能登国覚生寺衆徒	徳順	――	徳順	尾張国西照寺横井諦信
安田局長	安田局長	安田局長	安田局長	――	安田局長	――	安田局長	――
7月18日	昭和15年7月19日	昭和15年7月29日	昭和15年7月29日	昭和15年3月24日	昭和15年7月30日 上申／8月1日付	――	昭和15年8月6日	昭和15年8月7日
※金32円80銭。	※付箋あり(破損)。	――	――	――	――	月輪孝雄。 照徳順。※主事佐々木照雄。※輪番	――	――
						※団長21名。※村長3名。※満拓公社福祉課長。※哈爾濱訓練所長。※哈爾濱訓練所指導員一名。※監督大照徳順。※主事佐々木照雄。※輪番		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

644	643	642	641	640	639	638
307	307	309	309	309	330	330
児玉保指叙令写し	児玉保教務官任命状写し	東本願寺委託生開拓地における実務演習に関する件	開拓指導員訓練所訓練生開拓地における実務演習派遣旅費支出に付上申書	お茶代見積書	電報	満拓事務所各所長及東安開拓庁長氏名一覧
		国立開拓指導員訓練所長富永良男	満洲開教監督大照 徳順			
		東本願寺満洲開教監督大照徳順	安田局長	東本願寺興亜事務局	興亜事務局 フヂハラセ ンエイ	
付12月1日	康徳7年 12月1日	康徳7年 6月25日	昭和15年 7月1日	7月18日	昭和15年 7月10日	
			※付箋あり。「原書（以下破損）」。		※「ハンギンセン50センノチャカ ンイリ10コシケイニモタセタノムオ テル」。	※満拓理事・佳木斯出張所長中村孝 次郎。満拓東安事務所長長澤信之助。 満拓齊々哈爾事務所長菱川敬三。満 拓北安事務所長寶珠山弥高。満拓牡 丹江事務所長安田弘嗣。満拓佳木斯 事務所長秋山恒躬。満拓哈爾濱事務 所長藤田廣。満拓吉林事務所長山崎 保之丞。満拓北鮮事務所長熊田興四 郎。東安開拓庁長中山保雄。

651	650	649	648	647	646	645
322 301 ・ 309	309	306 ・ 309	309	309	309	309 301 ・ 307
錦州布教所拡張費支出認可に 付上申書	安田総長・恵美次長東京出張 旅費支出に付上申書	昭和一五年六月二五日海軍合 同葬出任者及び手当一覽	京都大津間三等往復一二〇名 分運賃領収書	京都大津間往復送票並びに領 収証	東本願寺御染筆収入通知票	吉林省舒蘭県小城子郡上団開 拓地布教所開設係毛利諦静に 対する月手当支給に付上申書
滿洲開教監督大照 徳順	興亜事務局出仕増 田圓磨	泉	大津駅出札掛	—	興亜事務局	滿洲開教監督大照 徳順
安田局長	會計部長	—	—	—	—	安田局長
昭和15年 7月10日	昭和15年 8月8日	昭和15年 7月27日	昭和15年 9月27日	昭和15年 9月27日	昭和15年 9月27日	昭和15年 2月27日
※金300円 14年度予算既設教場拡張 費より支出。※付箋あり。「金三百円 也錦州布教所拡張費本申事情斟酌ノ 上、予算支出御認可相成度方」。	※安田総長東京京都間往復…38円70 銭宿泊費(2泊)・10円日当(3日分) 7円50銭計56円20銭。※恵美次長東 京都往復…25円宿泊費(2泊)・7 円日当(3日分)・5円25銭計37円25 銭。	※会場・舞鶴鎮守府庁者、調聲人、 足利榮食。参勤、愛宕紫朗。掛役、 四辻龍瑞。参勤兼掛役、滋賀均書衆 惣塚弦真・真島董仲書西脇真三郎。	—	※送票の発給者は大谷派宗務所出納 主任、受給者は興亜事務局。※領収 書の発給者は大津陸軍病院陸軍衛生 伍長杉野力三、受給者は大谷派宗務 所出納主任殿。	—	※月30円。昭和15年2月から6月ま で計150円。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

659	658	657	656	655	654	653	652
322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	309 ・ 320	307 ・ 309	307 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309
絵像本尊見積書	絵像本尊原価照会依頼書	満洲国第九次礪波開拓団に対し本尊・蔵版物下附認可に付上申書	『聖戦美術』購入費支出認可に付上申書	赴任旅費下附願	敦化布教所在勤佐々木米人赴任旅費支出認可に付上申書	寧安・牡丹江・五常・錦洲・勃利布教所に対する移民基地設備費支給認可に付上申書	城子河・黒咀子布教所建築補助認可に付上申書
庶務課絵表掛	興亜事務局	興亜事務局次長恵美安靈	興亜事務局次長恵美安靈	佐々木米人	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照
興亜事務局	庶務課	宗務総長	宗務総長	大照監督	安田局長	安田局長	安田局長
昭和15年 6月20日	昭和15年 6月19日	昭和15年 6月21日	昭和15年 6月29日	昭和15年 6月18日	昭和15年 6月19日	昭和15年 7月9日	昭和15年 7月9日
		※内訳 31円35銭絵像本尊50代・1円44銭並御文五帖目1冊・3円44銭並大折三部経1部・3円25銭並和讃1部計39円48銭。	※一部購入30円。	※内訳 豊前中津・新京間3等28円88銭。※新京・敦化間3等6円11銭。	※金34円99銭。	※各布教所100円補助計500円。・昭和14年度移民基地設備費。※付箋あり。-本申已ムヲ得サルモノト被存候ニ付テハ予算ノ都合上仏教總會負担金五百円也ヲ(本費(流用)御支出ノ事(御認)可相成度方)(カッコ内赤線で抹消)。	※14年度既設教場建築補助城子河布教所500円黒咀子布教所500円計1000円。



668	667	666	665	664	663	662	661	660
301 ・ 309	309	309	309	330	321	301 ・ 322	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309
布教使萩野信昭開拓地布教所 新設実地調査旅費支出認可に 付上申書	監督部書記五反田正信満洲開 教使員会議大連出張旅費明細 書	監督部主事佐々木照雄満洲開 教使員会議大連出張旅費明細 書	別院開教使員会議出席に付 出張費支給願の儀上申書	第九次沖河礪波開拓団先遣隊 員名簿	第九次沖河礪波開拓団建設營 農方針概要	本尊・仏具・藏版物下附嘆願 書	御文・三部経・和讃見積書	御文・三部経・和讃原価照会 依頼書
満洲開教監督大照 徳順	(監督部書記五反 田正信)	(監督部主事佐々 木照雄)	満洲開教監督大照 徳順		団長林俊一指導員 高田栄作藁口宇一 郎	満洲国濱江省五常 県沖河礪波開拓団 長林俊一	藏版所	興亜事務局
安田局長			安田局長			宗務総長安 田力	興亜事務局	庶務課
昭和15年 6月18日	昭和15年 6月	昭和15年 6月	昭和15年 6月20日		康徳7年 4月5日	昭和15年 4月30日	昭和15年 6月20日	昭和15年 6月19日
※200円開拓地開教費より。※付箋あり。金二百円也開拓地布教所新設実地調査旅費右予算ノ都合上既設教場擴張費中ヨリ支出之件御認可相成度方。			※付箋あり。(佐々木・五反田会議出張旅費は予算の都合上、予備費より支出)。	※名簿。		※布教所は未開設。		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

672	671	670	669
322 301 ・ 309	322 301 ・ 306	322 301 ・ 306	301 ・ 309
管内出張旅費明細書	管内出張日程表	満洲開教監督大照徳順管内出張旅費支出認可に付上申書	開拓地布教所新設実地調査旅費内訳
	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	開教使萩野信照
		安田局長	
		昭和15年 6月20日	
※新東京・四平街3円25銭、四平街・錦州12円38銭、錦州壺蓋島1円92銭（往復・3円84銭）、錦州・赤峰・承德10円76銭、承德・新東京28円70銭、宿泊料（7日間）24円50銭、日当（8日間）14円計108円47銭。	6月30日新東京着。	※付箋あり。「金一〇八円四七銭也大照監督管内出張旅費・日当・泊右予算ノ關係上既設教場拡張費中ヨリ支出御認可相成度方」。	※内訳 10円28銭承德・北票（新設予定地） 20円86銭北票・寧年 5円43銭寧年・嫩江 6円96銭嫩江・北安 9円87銭北安・哈爾濱 21円海倫・鉄驪・木蘭・地方の車馬代見積 46銭60銭哈爾濱・新東京・承德 45円宿泊料15日分。※23円日当16日分11円宿泊料超過見積昭和15年6月10日―6月25日。

681	680	679	678	677	676	675	674	673
309	309	309	309	309	309 ・ 311	307	307	309
訓練所学生用六組貸布団・馬車領収書	國都飯店請求書	哈爾濱訓練所入所生壮行会開催に付開拓開教費中より支出の儀上申書	貸布団・枕領収書	中央満西飯店請求書	入蒙留學生壮行会開催に付開拓開教費中より支払の儀上申書	富山県氷見郡佛生寺村鞍骨専長寺衆徒古林賢政履歴書	古林賢政佳禾斯布教所在勤任命に付上申書	昭和十四年度宿舍費支給願に付上申書
酒井商店	株式会社國都飯店	徳順 満洲開教監督大照	新京吉野町二丁目 綿布団世帯道具一式・貸入酒井商店	中央満西飯店	徳順 満洲開教監督大照	富山県専生寺衆徒 古林賢政	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照
—	訓練生	安田局長	東本願寺	—	安田局長	—	安田局長	安田局長
3月28日	3月27日 康徳7年	4月27日 昭和15年	4月16日 昭和15年	4月11日 康徳7年	4月27日 昭和15年	5月7日 昭和15年	5月30日 昭和15年 付上申／申	5月28日 昭和15年
							※付箋あり。(昭和一四年度満洲監督部費残額僅少のため、宿舍費を開拓地開教費中より特別支出)。 ※古林賢政は富山県氷見郡専長寺衆徒。勝美三次の名前は消されている。	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

691	690	689	688	687	686	685	684	683	682
322 301 ・ 309	301 ・ 309	301 ・ 309	301 ・ 309	322 301 ・ 309	309	309	309	309	309
六道河布教所開設に付本尊・ 仏具一式・開設費・赴任旅費 下附の儀上申書	本尊一貫代大品原価見積書	本尊一貫代大品原価照会書	仏具一式見積書	汪清布教所開設に付本尊・仏 具一式下附の儀上申書	謄写板道具購入に付上申書	謄写道具一式見積書	林洋行領収証	謄写板道具一式購入代金、滿 洲監督部諸費より収出認可に 付上申書	訓練生昼食代割烹天平の領収 書
興亜事務局次長恵 美安靈	庶務課絵表掛	興亜事務局	福井仏具店	滿洲開教監督大照 徳順	滿洲開教監督大照 徳順	新日本橋通二〇 番地 合名会社林 金次	新日本橋通二拾 番地 合名会社林 洋行	滿洲開教監督大照 徳順	割烹天平
宗務総長	興亜事務局	庶務課	興亜事務局	安田局長	興亜局	東本願寺	東本願寺	安田局長	東本願寺
4 昭和 18 15年 日	4 昭和 18 15年 日	4 昭和 18 15年 日	3 昭和 13 15年 日	4 昭和 9 15年 日	12 昭和 5 14年 日	11 康徳 9 6年 日	12 康徳 2 6年 日	11 昭和 11 14年 日	—
									※天井8つ。

701	700	699	698	697	696	695	694	693	692
309	307 ・ 309	309	309	306 ・ 309	306 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309
監督部主事佐々木照雄出張旅費支出認可に付上申書	月輪孝雄・登坂溪雪開拓地及び入植者慰問使として派遣に付上申書	承德布教所在勤萩野信昭転任旅費下附願	承德布教所在勤萩野信昭転任旅費下附願に付上申書	海拉爾忠靈顕彰資金受領書	ノモンハン事件忠靈顕彰資金支出に付上申書	仏具一式見積書	本尊原価見積書	満洲甘南県開拓団布教所下附本尊原価照会書	六道河開拓団本尊・仏具一式・開設費・赴任旅費下附願に付上申書
満洲開教監督大照 徳順	満洲開教監督大照 徳順	承德布教所在勤萩野信昭	満洲開教監督大照 徳順	海拉爾憲兵隊長安藤次郎	満洲開教監督大照 徳順	福井仏具店	庶務課絵表掛	興亜事務局	満洲開教監督大照 徳順
安田局長	安田局長	大照監督	安田局長	—	安田局長	興亜事務局	興亜事務局	庶務課	安田局長
昭和15年 4月9日	昭和15年 4月9日	昭和15年 3月22日	昭和15年 4月12日	昭和15年 3月30日	昭和15年 4月9日	昭和15年 3月13日	昭和15年 4月4日	昭和15年 3月27日	昭和15年 2月12日
—	※哈爾濱別院輪番月輪孝雄と佳木斯布教所在勤登坂溪雪。	※奉天別院より承德布教所へ転任。	—	—	※巡回慰問費より支出。	—	—	—	※六道河開拓団の開設係は松枝英俊。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

709	708	707	706	705	704	703	702
309	309	320	309 301 ・ 321 302	309	322	309	309 ・ 330
新聞記者接待に付開拓教費 中より支払の儀上申書	割烹松翠請求書	新聞記者接待に付接待費下附 願の儀上申書	黒台布教所建築物の状況及び 活動状況報告書簡	黒台駐留大浦円一年分手当支 給認可に付上申書	移民団宿泊所備品用夜具下附 願に付上申書	佳木斯布教所主任登坂溪雪よ り移民団宿泊所備品購入費下 附願に付上申書	監督部主事佐々木照雄遼陽布 教所出張旅費請求に付上申書
徳順	満洲開教監督大照	徳順	第五次黒台開拓団 大浦円	徳順	佳木斯布教所登坂 溪雪	徳順	監督部主事佐々木 照雄
安田局長	東本願寺	安田局長	新京大同大 街東本願寺 別院開教監 督部	安田局長	満洲開教監 督大照徳順	安田局長	大照監督
2月21日	昭和15年 12月11日	昭和15年 3月12日	昭和15年 2月16日	昭和15年 2月21日	昭和15年 3月17日	昭和15年 3月18日	昭和15年 4月9日
			※布教所外観の写真あり。	※付箋有り。「内訳大浦円手当／金四百五十円也／昭和十四年七月ヨリ十五年三（ママ）月迄」。	※移民団宿泊所備品の下附願。佳木斯布教所は境内地買収問題や庫裏増築費未支払など返済金の調達に苦勞しており、資金がないため本山に宿泊所備品の下附を願っている。		※遼陽布教所在勤町野哲秀に不敬罪及び詐欺罪の疑いで問題化したため、現地解決のため佐々木主事を派遣。

716	715	714	713	712	711	710
302 ・ 309	322 301 ・ 309	309 ・ 326	326	326 ・ 330	322 301 ・ 326 309	330
香川開拓団香川布教所開設係 藤沢要より伝道費認可に付上 申書	香川開拓団香川布教所開設係 藤沢要より布教所開設補助願 に付上申書	記念品用念珠見積書	感謝状文案	海拉爾布教所総代世話方氏名 一覧	海拉爾布教所本堂建築功労者 に対する感謝状及び記念品下 附に付上申書	大照徳順満洲開教監督着任に 付新聞各社に対する着任歓談 会の案内状
徳満洲開教監督大照 順	徳満洲開教監督大照 順	京都市東本願寺前 (上珠教屋町角) いけだや福永藤助 商店	—	—	徳満洲開教監督大照 順	満洲開教監督大照 別院輪番大照徳順
安田局長	安田局長	興亜事務局	—	—	安田局長	—
昭和15年 2月28日	昭和15年 2月28日	昭和15年 3月13日	昭和15年	—	昭和15年 3月2日	昭和14年 12月9日
—	—	—	—	—	—	※歓談会の案内 日時12月11日(月 曜)午後5時、場所大同大街東本願 寺本堂(ニッケ裏)、食事当日午後6 時より松翠(吉野町)ニ於テ※案内 者芳名 満洲日々新聞社遠山、福田、 満洲新聞社江崎、望月、新京日々新 聞杉山、野口、大阪朝日新聞社今井、 満洲国通信社社会部長、モダン満洲 社奥社長、協和会坂井広報處磯部。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

725	724	723	722	721	720	719	718	717
309 301 ・ 307	307	307	309	309	305 ・ 309	309	309	309
林重誓通遼布教所開設係任命 及び月手当支給認可に付上申 書	浄宗寺衆徒履歴書	哈爾濱訓練生松枝英俊開教使 四級任命に付上申書	故真栗良起供物料支出認可に 付上申書	佳木斯布教所赴任旅費支給に 付上申書	昭和一四年度幼稚園補助に付 上申書	監督部用掛時計購入領収書	監督部用テーブル掛・チリ箆 購入領収書	監督部用掛時計・テーブル 掛・チリ箆購入費支出認可に 付上申書
満洲開教監督大照 徳順	近江国犬上郡亀山 村浄宗寺衆徒松枝 英俊	満洲開教監督大照 徳順	満洲開教監督大照 徳順	満洲開教監督大照 徳順	満洲開教監督大照 徳順	新京大和通四二天 龍堂時計店	株式会社三中井大 同大街	満洲開教監督大照 徳順
安田局長	—	安田局長	安田局長	安田局長	安田局長	東本願寺	上様	安田局長
昭和15年 2月23日 上申 昭和15年 2月1日 日申付	—	昭和15年 2月12日 上申 昭和15年 2月10日 日申付	昭和15年 3月4日	昭和15年 2月21日	昭和15年 3月2日	昭和14年 12月8日	昭和15年 2月27日	昭和15年 2月28日
—	※満蒙移民教化研究のため哈爾濱駐 留、昭和14年4月24日。	—	※供物料10円。	—	※昭和14年度幼稚園補助500円の内訳、 100円新京、100円牡丹江、100円佳木斯、 100円承德、50円龍井、50円図們。	※23円75銭。	※テーブル掛15円、チリ箆（2ヶ） 2円、計17円。	※付箋あり。「事後ニ候へ共特別ヲ以 テ御認可相成度方追而爾後斯ル事ナ キ様申伝可致候」。



731	730	729	728	727	726
309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	309	309	309 ・ 322
佳木斯布教所敷地代借用金返済に付補助金下附方請願に付理由書	佳木斯布教所境内地買収費下附に付申請書	佳木斯布教所境内地買収費問題に関する報告書	佳木斯布教所敷地代借用金返済に付補助金下附方請願に付上申書	佳木斯布教所境内地買収費支出認可に付上申書	大谷派本願寺通遼布教所設立補助金下附願
佳木斯布教所主任 登坂溪雲	石家莊布教所 在勤 吉田智信	佳木斯布教所主任 登坂溪雲	佳木斯布教所主任 登坂溪雲	滿洲開教監督大照 徳順	通遼布教所主任林 重誓・信徒総代大 庭尹・平田績・井 上隆雄
東京浅草坂 東報恩寺住 職坂東環城	滿洲開教監 督	滿洲開教監 督大照徳順	滿洲開教監 督大照徳順	安田局長	大谷派本願 寺宗務所
昭和12月 15日	昭和15年 1月25日	昭和15年 3月8日		昭和15年 3月11日	昭和14年 12月25日
	※佳木斯布教所境内地買収費、金500円内訳。金250円は境内地買収費、金250円は境内地買収工作費。	※佳木斯布教所境内地買収において吉田智信の功績を感謝するも、今後このような買収費問題に対する佳木斯布教所主任登坂溪雲の意見報告書。		※佳木斯布教所境内地買収費に関する本山とのやりとり。※金300円の内訳として250円を返済金、50円を借主への御礼とする。また、支出として開拓地開教費より150円、慰問寄贈費より150円とする。※「支払ノ上ハ土地ハ有て本山名義トシテ登記スルハ勿論、借用証及吉田智信、領収書ハ本山と囀附セ令ムルコトシテ認可相成度方」の付箋あり。	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

739	738	737	736	735	734	733	732
307	301 ・ 307	307 ・ 309	309	321	322 301 ・ 309	321 301 ・ 322 309	309 ・ 330
三森純孝履歴書	三森純孝開教使三級任命並びに東安省密山県口林線第三次北五道崗山形郷開拓团布教所開設係申付に付上申書	北安布教所在勤竹視義直異動に付月手当名義変更の儀上申書	佳木斯布教所境内地買取費用題に関する大照徳順書簡	日本居留民会理事稲垣春吉「経論の一端を披瀝す」と題し新聞に寄稿した部分の切り抜き	佳木斯布教所境内地買取に関する理由書	吉田智信昭和十五年二月一日付書面に対する回答書	満洲国三江省佳木斯東本願寺境内地買取費として金二五〇〇円借用書写し
山形県三森純孝	満洲開教監督大照徳順	興亜事務局次長恵美安霊	大照徳順			吉田智信	借用人佳木斯東本願寺在勤主任吉田智信
	安田務長	会計部長				興亜事務局	東京浅草坂東報恩寺住職坂東環城
昭和14年	昭和14年11月13日	昭和15年3月16日	5月13日			昭和15年2月25日	昭和12年2月15日
		※付箋あり。「月手当五拾圓支給」。	※竹視義直は北安布教所から満洲別院在勤（4月1日付）。※竹視の後任として矢田勇雄が赴任（4月1日付）。			※「東本願寺の記念事業」と題する新聞の切り抜き記事あり。	※保証人として大谷派満洲開教監督藤岡了淳、佳木斯東本願寺檀家総代として佳木斯通江街北内商会北内徳市、佳木斯中央大街三富洋行前蘭佐市、佳木斯南崗大街三江公司佐藤久子。

749	748	747	746	745	744	743	742	741	740
307	307	309	307	307・309	309	307	307	307	309
光明寺衆徒本多光履歴書	蓮信寺衆徒松田常行履歴書	哈爾濱訓練所留學生旅費・準備費ほか追加予算証	哈爾濱訓練生入所に付上申書	哈爾濱訓練所八名入所に付上申書	昭和一四年一二月赤字に付上申書	二村四郎一履歴書	滿洲別院主任二村四郎一黒咀子布教所主任申付に付上申書	中堂秀英履歴書	哈爾濱訓練生中堂秀英月手当金三五円支出認可に付上申書
徒本多光	河内国渋川組蓮信寺衆徒松田常行		徳順 滿洲開教監督大照	徳順 滿洲開教監督大照	徳順 滿洲開教監督大照	三河国龍讚寺衆徒二村四郎一	徳順 滿洲開教監督大照	能登国誓運寺衆徒中堂秀英	徳順 滿洲開教監督大照
			安田局長	安田局長	興亜事務局・會計部		安田興亜局長		安田務長
昭和15年2月	昭和15年2月	昭和15年	昭和15年3月4日	昭和15年3月4日	昭和15年2月27日	昭和14年12月29日	昭和14年12月31日 付上申／申	昭和14年11月30日	昭和14年11月30日 上申／14年11月1日申付
				※当初は訓練生八名であったが、すぐに七名に変更された。	※昨年十二月壹円余の赤字。		※黒咀子布教所主任中堂秀英、哈爾濱訓練所へ入所につき二村四郎一を同布教所主任に申付ける。		※付箋あり。「中堂秀英ハ現在滿洲国黒咀子布教所ニ在勤シ毎月補助二〇円程支給セラレ十四年十一月、十二月兩月支出上申取扱済（支出費但開教開拓費ニシテ本中ト同費日ナリ）」。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

759	758	757	756	755	754	753	752	751	750
322 301 ・ 326 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 326 309	309	309	307	307	307	307	307
入植者用三ツ折本尊下附認可に付上申書	三ツ折本尊価格照会依頼書	入植者用三ツ折本尊下附認可に付上申書	満洲仏教總會費開教費より支出に付上申書	満洲仏教總會費開教費より支出に付上申書	大谷遜履歴書	昭蓮寺衆徒黒崎典一履歴書	浄福寺衆徒香城光磨履歴書	願隆寺衆徒小早川純履歴書	唯明寺衆徒木下延三履歴書
美安壺 興亜事務局次長恵	興亜事務局	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	大谷遜 京都市左京区下鴨	播磨国第四区昭蓮 寺衆徒黒崎典一	光磨 加賀国石川郡第三 組浄福寺衆徒香城	山城国第二組願隆 寺衆徒小早川純	山城国第二組唯明 寺衆徒木下延三
田力 宗務総長安	庶務課	安田総長	安田局長	安田総長					
1月23日 昭和15年	1月19日 昭和15年	1月20日 昭和15年	1月15日 昭和15年	12月5日 昭和14年	2月 昭和15年	2月 昭和15年	2月 昭和15年	2月 昭和15年	2月 昭和15年

770	769	768	767	766	765	764	763	762	761	760	
330	309 ・ 322	309 ・ 326	309	302 ・ 309	307	309	307	309 ・ 322	309 ・ 322	322 301 ・ 309	
満洲里布教所世話方氏名	下附用念珠価格見積書	珠購入費支出認可に付上申書	佐々木主事出張旅費予定表	監督部主事佐々木照雄出張旅費支出認可に付上申書	克山駐留開教使真栗良超殉職に付齋々哈爾布教所在勤野原泰雄克山出張認可の儀上申書	真栗開教使葬儀支出認可に付上申書	齋々哈爾布教所在勤野原泰雄派遣に付電報	克山駐留真栗良超殉職及び齋々哈爾布教所在勤野原泰雄派遣に付電報	移民宿泊所設備費補助下附願	開拓地基点布教所設備費より哈爾濱別院に対する補助金支出認可に付上申書	三ツ折本尊価格見積書
—	商店 いけだや福永藤助	徳順 満洲開教監督大照	—	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	徳順 満洲開教監督大照	—	院輪番月輪孝雄 哈爾濱東本願寺別	徳順 満洲開教監督大照	庶務課絵表掛	
—	興亜事務局	安田局長	—	長 興亜事務局	長 安田興亜局	長 安田興亜局	大照徳順	督大照徳順 満洲開教監	安田局長	興亜事務局	
—	3月13日 昭和15年	3月2日 昭和15年	—	11月29日 昭和14年	1月2日 昭和15年	1月7日 昭和15年	—	12月28日 昭和14年	1月15日 昭和15年	1月19日 昭和15年	
—	—	—	—	※付箋あり。「金二百四十一円六十錢也監督部主事佐々木照雄旅ヒ右本申之通支出御認可相成度方」。	—	—	—	—	—	—	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

779	778	777	776	775	774	773	772	771
309 ・ 326	330	307	307	322 301 ・ 309	301 ・ 322	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	307 ・ 309
可上申書 下附用仏壇変更による差額支出及び表彰状文案訂正に付認	渡満に際しての注意事項	光円寺副住職履歴書林重誓	布教使二級任命に付上申書	本尊価格見積書	満洲哈爾濱開拓中央病院に対する本尊下附認可に付上申書	本尊下附認可に付上申書	本尊価格照会依頼書	牡丹江布教所在勤矢田勇雄北安布教所在勤申付に付上申書
磨 興亜局贅事増田圓	満洲開教監督部	—	了淳 満洲開教監督藤岡	庶務課絵表掛	徳順 満洲開教監督大照	美安霊 興亜事務局次長恵	興亜事務局	徳順 満洲開教監督大照
宗務総長	—	—	宗務総長	興亜事務局	宗務総長	田力 宗務総長安	庶務課	安田局長
月13日決 上申／5	—	10月12日	—	12月29日	12月1日	カ 1月19日	12月29日	付 月1日申 上申／4 3月5日
昭16年5月8日	—	昭16年10月12日	—	昭14年12月29日	昭14年12月1日	昭15年1月19日	昭14年12月29日	昭15年3月5日
※付箋跡あり。※宗務総長大谷瑩潤名義の表彰状文案（B5・大谷派宗務所野紙・1枚）別紙としてあり。	—	—	※布教使林重誓に二級任命。※教師審査会の貼紙に「褒授二級」とあり。	—	—	—	—	—

788	787	786	785	784	783	782	781	780
309 301 ・ 322 307	301 ・ 322	309	326	309 ・ 326	326	326	326	309 ・ 326
小出唯信桓仁布教所開設係任命申請の件に付上申書	桓仁街布教所下附仏具一時保留認可の件に付上申書	柏樹開教員並びに本明皓二赴任旅費支出の儀上申書	彌榮布教所信徒猪又群平に対する表彰状文案	御文化仏壇見積書	妙好人猪又群平表彰に付上申書	彌榮布教所門徒猪又群平表彰に付認可上申書	彌榮布教所門徒猪又群平に対する表彰状の文案	百代用仏壇見積書
満洲開教監督藤岡了淳	興亜部長事務取扱 大山賢	興亜局長稲葉善雄	—	福井仏具店	彌榮布教所 多賢純	興亜事務局次長・ 臨時満洲開教監督 事務取扱恵美安霊	—	福井仏具店
宗務総長	宗務総長	財務局長	—	興亜局	満洲開教監督 恵美安霊	宗務総長	—	興亜局
昭和16年 6月1日 上申 昭和16年 4月1日 日申付	昭和16年 9月16日	昭和16年 9月25日	—	昭和16年 3月20日	昭和16年 3月8日	昭和16年 3月23日 上申 昭和16年 3月31日 決	—	昭和16年 5月8日
※桓仁布教所開設費・準備費・仏具に関する付箋あり。	—	※赴任旅費受取人藤岡監督金八十六円内訳一、金五十五円三十六銭柏樹開教員赴任旅費京都佳木斯間三等旅費一、金三十円六十四銭本明皓二赴任旅費京都より撫順まで三等旅費。	—	—	—	※付箋跡あり。※宗務総長安田力名義による表彰状文案の別紙(B5・大谷派宗務所野紙1枚)あり。	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

797	796	795	794	793	792	791	790	789
309 301 ・ 307	322 301 ・ 309	301 ・ 322	309	301 ・ 322	307	308 ・ 321	301 ・ 322	322 301 ・ 309
開教員毛利諦静久田見布教所 開設係申付及び開設費・月手 當下付認可に付上申書	久田見布教所下付用仏具一時 保留に付上申書	恒仁布教所開設準備仏具類見 積書	恒仁布教所下附本尊見積書	恒仁布教所下附本尊原価照会 書類	小出唯信履歷書	恒仁街々勢概要	恒仁布教所新設願書	恒仁布教所開設費・本尊仏具 費・赴任及準備費下附の件に 付上申書
満洲開教監督藤岡 了淳	興亜部長事務取扱 大山賢	福井佛具店	庶務部絵表掛	興亜局	大分市善巧寺衆 徒・東本願寺鶏冠 山布教所在勤小出 唯信	小出唯信	真宗大谷派本願寺 鶏冠山布教所在勤 小出唯信	満洲開教監督藤岡 了淳
宗務総長	宗務総長	興亜局	興亜局	庶務部	—	—	宗務総長	宗務総長
付上申／申 6月1日 昭和16年	9月16日 昭和16年	6月27日 昭和16年	—	6月27日 昭和16年	5月20日 昭和16年	5月20日 昭和16年	5月20日 昭和16年	6月23日 昭和16年
※付箋2枚あり。	※付箋跡あり。	—	—	—	—	—	—	—



807	806	805	804	803	802	801	800	799	798
309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	307	301	301 ・ 307	301 ・ 322	301 ・ 309	322 301 ・ 309
加藤元英佳木斯布教所赴任旅費支給願に付上申書	久田見布教所用仏具類見積書	絵表本尊見積書	久田見布教所用絵像本尊原価照会依頼書	開教員毛利諦靜履歴書	布教所開設請願書	開教員毛利諦靜久田見布教所開設係任命願	久田見布教所用本尊並びに仏具下付願	久田見布教所開設費補助並びに月手當下布願	久田見布教所開設費・本尊仏具費・赴任及準備費月額手當下付認可に付上申書
満洲開教監督藤岡了淳	福井佛具店	庶務部絵表掛	興亜局	美濃国蓮生寺衆徒毛利諦靜	安東馬蓮河久田見開拓団団長馬場明夫	吉林省舒蘭県小城子郡上開拓団布教所開設係毛利諦靜	久田見開拓団布教所開設係毛利諦靜	久田見開拓団布教所開設係毛利諦靜	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	興亜事務局	興亜局	庶務部	—	東本願寺満洲開教監督恵美安壺	満洲開教監督	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長
昭和16年7月カ	昭和16年4月18日	昭和16年6月28日	昭和16年6月27日	昭和16年3月15日	康德8年3月15日	昭和16年5月2日	昭和16年5月	昭和16年5月	昭和16年6月23日

817	816	815	814	813	812	811	810	809	808
309	309	309	301 ・ 309	301 ・ 309	309	302 ・ 309	309	309	309
藤岡了淳新京赴任旅費請求書	藤岡了淳監督奉天別院出張・ 新京赴任旅費申請願に付上申 書	満洲現地費・留学生費・既設 教場拡張費より新設布教所費 へ予算流用に付上申書	開原城子河布教所建築補助金 下附申請願	城子河布教所建築補助金申請 に付上申書	『十七憲法講話』購入見積書	満洲開教監督部員及び中堅青 年層信徒に対する修養講座開 催に付、講本『聖徳太子十七 憲法講話』購入願上申書	佳木斯布教所主任登坂溪雪監 督部出頭旅費請求書	佳木斯主任登坂溪雪監督部招 致旅費の件に付上申書	佳木斯赴任旅費請求書
了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	開原城子河布教所 主任徳永孝英開原 城子河開拓團長佐 藤修	満洲開教監督藤岡 了淳	法蔵館西村七兵衛	満洲開教監督藤岡 了淳	佳木斯布教所主任 登坂溪雪	満洲開教監督藤岡 了淳	佳木斯布教所 開教員加藤元英
宗務総長	宗務総長	宗務総長	満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	興亜局	宗務総長	満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	満洲開教監 督
昭和16年 5月31日	昭和16年 6月23日	昭和16年 6月カ	昭和16年 6月10日	昭和16年 6月24日	昭和16年 6月30日	昭和16年 6月カ	昭和16年 6月25日	昭和16年 6月26日	昭和16年 5月20日
※大坂―新京間。	※付箋あり。	※綴はずれ。	※カーボン複写の申請書2部有り。 ※開原城子河布教所の略図有り。				※富錦布教所実情懇談のため、佳木 斯布教所から満洲開教監督部へ出頭。		

825	824	823	822	821	820	819	818
307	302 ・ 309	318 302 ・ 309	301 ・ 309	301 ・ 309	301	309 301 ・ 307	309
奉天別院在勤児玉保奉天第二監獄刑務教誨任命に付上申書	昭和一四年度報恩講冥加金通知書	開教地相統講特別内規	布教所開設費補助並びに赴任準備費下附願	海倫布教所新設に関する具申書	海倫布教所新設願	北安布教所在勤中村陸磨海開教員任命並びに開設準備費・赴任旅費申請願に付上申書	藤岡了淳奉天別院出張旅費請求書
興亜局長木下萬溪 教学局贊事野間修	満洲開教監督部	宗務総長安田力	大谷派北安布教所在勤海倫布教所開設係中村陸磨	中村陸磨	大谷派北安布教所在勤中村陸磨	興亜局贊事増田圓磨	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	—	—	恵美安靈	—	恵美安靈	興亜局長	宗務総長
命 月1日任 上申／5日	昭和16年 11月13日	昭和15年 7月15日 発布	昭和16年 2月20日	昭和16年 2月20日	康徳8年 2月1日	昭和16年 4月30日 上申／16年 2月1日 日申付	昭和16年 6月5日
—	—	※「甲第一號ノ開教地相統講特別内規左之通相定ム昭和一五年七月十五日宗務総長安田力」	—	※前後の資料から受給者は「恵美安靈」と思われる。	—	※付箋あり。	※昭和16年6月3日より6月4日まで。※興亜局長木下萬溪と事務打合せの目的。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

833	832	831	830	829	828	827	826
309 ・ 322	307	307	309	309	307	307	307
哈爾濱別院開拓基地設備補助に付上申書	開教使佐藤廉履歴書	開教使佐藤廉滿洲開教監督部 出仕任命に付上申書	奉天別院・滿洲開教団總會 参加出張旅費請求書	白木澤主事出張奉天旅費監督 部事務諸費中より支出に付上 申書	児玉保奉天別院在勤退職願	児玉保履歴書	奉天別院在勤児玉保奉天第二 監獄刑務教誨任命に付上申書
興亜事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	佐藤廉	興亜事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	滿洲開教監督部主事白木澤大專	興亜局長恵美安靈	児玉保	尾張国第一五組正明寺衆徒児玉保	東本願寺滿洲開教監督部主事白木澤大專
宗務総長	—	宗務総長	興亜事務局次長滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	財務局長	興亜事務局長	—	興亜局長木下萬溪
昭和16年 3月28日	昭和16年	昭和16年 4月12日 上申 4月1日 日申付	昭和16年 3月11日	昭和16年 4月24日	康徳8年 3月11日	昭和16年 3月11日	昭和16年 5月2日
※付箋あり。	—	—	—	—	—	—	—

841	840	839	838	837	836	835	834
309 ・ 322	309 ・ 322	309 ・ 322	309 ・ 322	309 ・ 322	309	330	309 ・ 322
開拓基点設備費下附願書	開拓基点設備費下附申請書	開拓基点設備申請書	開拓基点設備費下附申請書	北滿布教所開拓基点設備費補助に付上申書	千羽義正・海野幸典準備費並びに旅費支給に付上申書	開教使並びに留学生・訓練生・開拓関係者来院宿泊延日数月別表	哈爾濱別院開拓基地としての補助申請に付上申書
原泰男(連署筆頭)	大谷派本願寺齊野 哈爾濱布教所 在勤野	東本願寺依蘭布教所	滿洲国吉林市大和町四経路大谷派布教所 開教使出雲路康哉	興亜局事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	興亜事務局次長恵美安靈		哈爾濱別院輪番月輪考雄
督恵美安靈	滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	監督事務取扱恵美安靈	監督事務取扱恵美安靈	宗務総長	宗務総長		滿洲開教監督事務取扱恵美安靈
3月25日	昭和16年3月26日	昭和16年3月29日	昭和16年3月27日	昭和16年4月11日	昭和16年3月21日		昭和16年3月15日
村惣三郎	※連署あり。「檀徒総代瀧波龍照／同石橋行三／同中山久次郎」。	※連署あり。「布教所在勤大野龍俊／右門徒総代小安清次郎／同右田中實／同右佐藤勇松」。	※連署あり。「信徒総代辻川佐助／同久保田求」。	※北滿布教所とはキツリン・イラシ・シントンタル・チチハル・エンキツ・キョウカ。	※付箋に「原書御返却相来度方」とあり。	※昭和15年3月から昭和16年2月。	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

849	848	847	846	845	844	843	842
307	307	307 ・ 309	307 ・ 309	309	309 ・ 311	309 ・ 322	309 ・ 322
春岡順正履歴書	千原正隆履歴書	満洲国立哈爾濱開拓幹部訓練所入所申付に付上申書	哈爾濱開拓指導員訓練所入所生千原正隆、春岡順正に対する準備支度金支給に付上申書	黒台布教所在勤大浦圓・鶴立布教所在勤牧村初雄妻帯による補助金増額に付上申書	監督部費予算留学生費に流用認可に付上申書	開拓基点設備費下附申請書	開拓基点設備費下附申請書
能登国第十組妙厳寺衆徒春岡順正	豊後第六組別助音隆 地西光衆徒千原正	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安壺	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安壺	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安壺	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安壺	敦化布教所主任能登谷英雄（連署筆頭）	延吉靖國寺住職天兒昊
長 興亜事務局	大谷派本願寺執務総長 安田力	宗務総長	長 興亜事務局	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督恵美安壺	興亜事務局次長満洲開教監督事務取扱恵美安壺
3月19日	昭和16年3月3日	昭和16年3月21日 上申／4月1日申付	昭和16年3月28日	昭和16年3月20日	昭和16年3月20日	昭和16年3月26日	昭和16年3月19日
		※ハ爾濱別院在勤開教員佐々木堅城・平塚武・北村外照。※大分県日田市北豆田西光寺衆徒・布教使補千原正隆。※石川県珠洲郡寶立村鶴飼妙厳寺衆徒春岡順正。	※付箋あり。			※連署あり。「総代木下秀教、西澤新藏、矢野大三郎、田口豊治」。	

858	857	856	855	854	853	852	851	850
309 ・ 322	309 ・ 322	309 ・ 322	307	307	307	307	307	307
満洲別院に対する開拓基点設 備費下付申請書	満洲別院に対する開拓基点設 備費支給に付上申書	満洲別院に対する開拓基点設 備費下付に付上申書	佐々木賢城履歴書	哈爾濱別院在勤佐々木賢城満 洲国立開拓指導員訓練所入所 願	北村外照履歴書	哈爾濱別院在勤北村外照満洲 国立開拓指導員訓練所入所願	平塚武履歴書	哈爾濱別院在勤平塚武満洲国 立開拓指導員訓練所入所願
満洲別院輪番事務 取扱恵美安霊門徒 総代久野清太郎	東本願寺満洲開教 監督部主事白木澤 大専	興亜事務局次長臨 時満洲開教監督事 務取扱恵美安霊	越後国古志郡第一 四組通善寺住職 佐々木賢城	哈爾濱別院在勤 佐々木賢城	越中国第四組妙善 寺副住職北村外照	哈爾濱別院在勤北 村外照	飛騨国第二組秋聲 寺副住職平塚武	哈爾濱別院在勤平 塚武
満洲開教監 督事務取扱 恵美安霊	監督事務取 扱恵美安霊	宗務総長	—	満洲開教監 督事務取扱 恵美安霊	—	満洲開教監 督部事務取 扱恵美安霊	—	開教監督事 務取扱恵美 安霊
—	—	昭和16年 3月19日	昭和16年 3月21日	昭和16年 3月21日	昭和16年 3月21日	昭和16年 3月21日	昭和16年 3月21日	昭和16年 3月21日
—	—	※付箋あり。「原書御返却相成度 方」。	※肖像写真貼付。	—	※肖像写真貼付。	—	—	※肖像写真貼付。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

867	866	865	864	863	862	861	860	859
322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	307	319 307 ・ 312	319 307 ・ 312	309	309	309	309
富錦布教所開設補助金下付願	三江省富錦布教所開設補助金 下付に付上申書	天兒昊履歷書	開教使天兒昊滿洲開教監督部 出仕に付上申書	開教使天兒昊滿洲開教監督部 出仕に付上申書	監督部事務諸費より支出に付 上申書	昭和一五年度真宗大谷派滿洲 開教団収支予算書	大谷派滿洲開教団補助金支給 に付上申書	大谷派滿洲開教団補助金認可 に付上申書
静海 佳木斯駐留兼富錦 布教所開設係藤井	興亜事務局次長臨 時滿洲開教監督事 務取扱恵美安靈	滿洲国間島省延吉 街大和区延字路第 一牌天兒昊	德順 滿洲開教監督大照	興亜事務局次長臨 時滿洲開教監督事 務取扱恵美安靈	興亜事務局次長恵 美安靈	東本願寺滿洲開教 監督部主事白木澤 大專	興亜事務局次長臨 時滿洲開教監督事 務取扱恵美安靈	興亜事務局次長臨 時滿洲開教監督事 務取扱恵美安靈
滿洲開教監 督恵美安靈	宗務総長	—	安田局長	宗務総長	會計部長	—	監督事務取 扱恵美安靈	宗務総長
昭和16年 2月23日	昭和16年 3月3日	昭和14年 12月15日	昭和15年 12月3日	昭和16年 3月17日	昭和16年 3月18日	—	昭和16年 3月13日	昭和16年 3月18日
—	※付箋あり。「原書御返却相成度 方」。	※日付に上から筆で修正した跡あり。	—	—	※付箋あり。「開教監督部事務費中ヨ リ支出御認可ノ上本領収書ハ指令書 ト共ニ監督部へ御返戻相成度方昭和 拾六年參月拾九日」。	—	—	※付箋あり。「原書御返却相成度 方」。



876	875	874	873	872	871	870	869	868
322 301 326 309	322 301 326 309	322 301 326 309	322 301 326 309	322 301 326 309	326 309 322	322 301 326 309	322 301 326 309	321 301 322 309
佳木斯医科大学下附用本尊原 価照会依頼書	国立佳木斯医科大学へ本尊及 びその他下附願書	佳木斯医科大学へ本尊仏具下 附に付上申書	佳木斯火葬場宛本尊見積書	佳木斯火葬場宛本尊見積書	佳木斯火葬場宛本尊原価照会 依頼書	佳木斯火葬場に対する本尊及 び仏具下付願	佳木斯火葬場宛本尊・仏具下 付認可に付上申書	富錦布教所開設補助金再度申 請に付上申書
興亜事務局	佳木斯布教所在勤 登坂溪雪	興亜事務局次長臨 時満洲開教監督事 務取扱恵美安霊	福井佛具店	庶務課絵表掛	興亜事務局	佳木斯布教所在勤 登坂溪雪	興亜事務局次長恵 美安霊	佳木斯市東本願寺 布教所登坂溪雪
庶務課	満洲開教監 督恵美安霊	宗務総長	興亜事務局	興亜事務局	庶務課	満洲開教監 督恵美安霊	宗務総長	興亜事務局
昭和16年 2月28日	昭和16年 2月9日	昭和16年 3月1日	昭和16年 2月28日	昭和16年 3月1日		昭和16年 2月9日	昭和16年 3月1日	昭和16年 2月7日
		※付箋あり。「原書御返報相成度 方」。					※付箋あり。「原書御返却相成度 方」。	

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

885	884	883	882	881	880	879	878	877
301 ・ 307	326 301 ・ 322	326 301 ・ 322	322 301 ・ 326 309	322 301 ・ 326 309	322 301 ・ 326 309	322 301 ・ 326 309	322 301 ・ 326 309	322 301 ・ 326 309
書 佳木斯駐留開教使藤井静海三 江省富錦県富錦布教所開設係 任命並に準備費支給に付上申	別紙本尊下附申請理由書	本尊下附申請書	積書 滿洲大林訓練所下附用本尊見	積書 滿洲大林訓練所下附用本尊見	尊原価照会依頼書 滿洲大林訓練所下附用絵像本	申書 滿蒙青年義勇隊大林訓練所宛 本尊及び仏具下附認可に付上	佳木斯医科大学行佛具見積書	本尊原価見積書
務取扱恵美安壺	悠 千振布教所佐々木	大林訓練所長矢上 正則千振布教所主 任佐々木悠	福井佛具店	庶務課絵表掛	興亜事務局	興亜事務局次長臨 時滿洲開教監督事 務取扱恵美安壺	福井佛具店	庶務課絵表掛
宗務総長	督恵美安壺 滿洲開教監	督恵美安壺 滿洲開教監	興亜事務局	興亜事務局	庶務課	宗務総長	興亜事務局	興亜事務局
日申付 2月1日	昭和16年 2月15日 上申	昭和16年 1月31日	昭和16年 2月14日	昭和16年 2月15日	昭和16年 2月14日	昭和16年 2月27日	昭和16年 2月28日	昭和16年 3月1日
	※付箋あり。「原書御返報相成度方」。					※付箋あり。「原書御返報相成度方」。		

894	893	892	891	890	889	888	887	886
312 308 ・ 311	312 309 ・ 311	309	301 ・ 309	301 ・ 309	307	301 ・ 307	301 ・ 307	309 301 ・ 307
開教使加藤清満洲国協和会より重要事項申入に付報告及び今後の方針協議のため帰国出張認可の儀上申書	満洲留學生加藤清月手当増額の件に付上申	満洲国齊々ハ爾東京往復旅費・宿泊費・交通費・移民引率旅費費用明細書	野原泰雄満洲開拓民招置工作費補助金願書	齊々ハ爾布教所在勤野原泰雄満洲開拓民招置工作費認可に付上申書	藤井静海履歴書	佳木斯布教所在勤竹中静海開拓地駐在開教使任命願に付上申書	竹中静海開拓地駐在任命に付上申書	佳木斯布教所在勤開教使藤井静海佳木斯駐留任命並びに月手当支給に付上申書
興亜事務局次長恵美安靈	興亜事務局次長恵美安靈	齊々ハ爾布教所在勤野原泰雄	齊々ハ爾布教所在勤野原泰雄	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安靈	陽街藤井静海	佳木斯布教所在勤登坂溪雪	満洲開教監督部白木澤大専	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安靈
宗務総長	宗務総長	—	田力	宗務総長	—	満洲開教監督恵美安靈	恵美監督	宗務総長
昭和16年 2月7日	昭和16年 2月8日	—	昭和16年 1月30日	昭和16年 2月4日	昭和16年 1月3日	昭和16年 1月30日	昭和16年 2月4日	昭和16年 2月15日 上申 年2月1日 日申付
※「ラマ仏教学院」を創設。ラマ教古来の弊風改革に着手。※満洲国協和会とは満洲国唯一の政治団体であり、官民一致カ。※付箋に「原書御返却相成度方」とあり。	※加藤清は開教使。※ラマ教の研究に従事。※付箋あり。「原書御返却相成度方」。	—	—	—	—	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

903	902	901	900	899	898	897	896	895
308 ・ 309	308 ・ 309	309	309	307	307	309 ・ 312	309 ・ 312	309 ・ 312
教務官内地出張に付旅費支出の件申請書	奉天第二監獄教務官教務課長奥園俊明出張旅費不足分支給認可に付上申書	記伊正信司計補哈爾濱国立開拓指導員訓練所出張旅費申請認可に付上申書	記伊正信司計補哈爾濱出張旅費請求書	白木澤大専履歴書	白木澤大専滿洲開教監督部主事任命に付上申書	滿洲国仏教總會歳計決算報告	滿洲国仏教總會補助金下附願	昭和一五年度仏教總會負担金半額支出に付上申書
奉天第二監獄長代理典獄佐前間英六	興亜事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	興亜事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	東本願寺滿洲開教監督部司計補記伊正信	宮城県遠田郡南郷村大柳玉蓮寺住職白木澤大専	興亜事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈	滿洲国仏教總會	滿洲国仏教總會	興亜事務局次長臨時滿洲開教監督事務取扱恵美安靈
大谷派興亜局安田力	宗務総長	安田局長	滿洲監督事務取扱恵美安靈	—	宗務総長	—	真宗大谷派本願寺	宗務総長
1月4日 康徳8年	1月10日 昭和16年	1月11日 昭和16年	12月28日 昭和15年	—	1月9日 1月16日 1月8日 上申 日申付	12月31日 康徳7年	1月5日 康徳8年	1月23日 昭和16年
—	※付箋あり。「原書御返却相(以下破れ)」。	—	—	—	—	—	—	※付箋あり。「原書御返却相成度方」。

912	911	910	909	908	907	906	905	904
309	306 ・ 309	309	306 ・ 309	309	306 ・ 309	306 ・ 309	306 ・ 309	306 ・ 309
一覽 臨時満洲時局費支出金現在高	算額一覽 臨時満洲時局費第一次要要求予	一覽 臨時満洲時局費支出金現在高	算額一覽 臨時満洲時局費第一次要要求予	額下附に付上申書 臨時満洲国時局費第一次要要求	下附に付上申書 從軍僧防寒具二〇人分調整費	整費支出に付上申書 満洲從軍僧防寒具二〇人分調整費	從軍僧派遣準備費内訳	上申書 満洲從軍僧派遣準備により從軍僧用品調製費支出認可に付
—	—	—	—	了淳 満洲開教監督藤岡	了淳 満洲開教監督藤岡	興亜局長木下萬溪	了淳 満洲開教監督藤岡	興亜部長事務取扱 大山賢
—	—	—	—	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長
—	—	—	—	昭和16年 9月12日	昭和16年 6月27日	昭和16年 7月24日	昭和16年 8月27日	昭和16年 8月28日
※但昭和一六年九月一日現在。	—	※但昭和一六年九月一日現在。	—	—	※金5000円。 満洲土地買収費中より充当する。 ※付箋あり。	※金5000円。この金額は昭和15年度予算南京土地買収費中より充当する。 ※付箋あり。	20個。20円雑費（運賃等）。 クサツク28円10個。300円防寒具150円20個。 70円飯盒3.5円20個。70円水筒3.5円20個。60円雑糞3円20個。280円リュックサツク28円10個。300円防寒具150円20個。	※満洲從軍僧派遣準備費として金5000円（万一の場合第一線に活動する從軍僧用品調製品として）。※付箋あり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

918	917	916	915	914	913
326	307	307	307	307	307
満洲別院信徒総代林金次敷地 買取移転並びに本堂建築費寄 進等の功績に付法主台下染筆 六字名号下附の儀上申書	満洲開教使応募履歴書	千原正隆満洲別院開教員任命 願に付上申書	佐藤基則阜新布教所転勤に付 上申書	満洲開教員鈴木賢遵応募履歴 書	鈴木賢遵満洲開教員任命願に 付上申書
興亜局長木下萬溪	豊後第六組西光寺 衆徒・新京東本願 寺別院千原正隆	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	山形県羽前国南羽 組正願寺候補衆徒 鈴木賢遵	満洲開教監督藤岡 了淳
宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	興亜局	宗務総長
昭和16年 12月3日	昭和17年 1月21日	昭和17年 11月21日 上申／16 年12月1 日申付	昭和16年 12月30日 上申／17 年1月1 日申付	昭和16年 10月18日	昭和16年 11月12日 上申／16 年10月1 日申付
※満洲別院信徒総代林金次は、長春 布教所が別院（満洲別院）に昇格し て以来、当時至難であった敷地の買 収、移転、本堂の建築費等に巨額の 寄進をした。	—	※貼紙あり。「満洲別院在勤申付」。 ※布教員・開教員は千原正、昭和一 六年一二月一日付で満洲別院在勤申 付。	※阜新は遼寧省。※履歴書なし。	※上申書類の綴はずれ。	—

927	926	925	924	923	922	921	920	919
326	326	307	307	307	307	307	307	326
満洲国海倫布教所開設功勞者に対する表彰状文案	満洲国海倫布教所開設功勞者表彰願	開教使禿賢澄大連別院在勤任命に付上申書	開教使禿賢澄大連別院在勤として採用に付上申書	布教員白濱福三開教員申付及び哈爾濱別院在勤申付に付上申書	布教員白濱福三開教員応募履歴書	大連別院開教員彪瑩正辭職願	大連別院補番畑文哲満洲開教上業務打合せに付東京認可上申書	染筆六字名号縮尺寸法図
長大谷瑩潤	真宗大谷派宗務総長 街東門中村睦曆	満洲国北安省海倫了淳	大連別院院輪番高西賢正	満洲開教監督藤岡了淳	北海道中川郡白濱福三	大連別院在勤開教員彪瑩正	興亜局長木下萬溪	—
—	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	—	興亜局長木下萬溪	宗務総長	—
昭和16年12月15日	—	昭和17年3月20日申付	昭和16年11月21日	昭和16年12月5日 上申／16年9月28日申付	昭和16年10月10日	昭和16年12月25日	昭和16年5月20日	—
—	—	※付箋あり。「大連別院在勤申付日昭和十七年三月二十日付」。	—	※付箋あり。「開教員申付布教員白濱福三開教員申付昭和一六年廿八日付開教員同人哈爾濱別院在勤申付昭和一六年九月廿八日日本申通御任命相成度方」。	—	—	※大連別院補番畑文哲に関して、大連から新京に戻らず別院の運営に支障をきたしたため、召喚し業務の打合せを行う件に関する上申か。※別紙が外れた形跡あり。	—

935	934	933	932	931	930	929	928
307	307	307	307	307	307	326	326
布教使本多静應履歴書	布教使本多静應階列昇級に付上申書	政坂賢壽阜新市布教所開教員依願退職に付上申書	開教使遠州心諒履歴書	大連別院在勤遠州心諒辭職願届	遠州心諒開教使依願退職に付上申書	奉天別院世話方出口源之助死亡に付染筆院号法名下附願	奉天別院世話方出口源之助死亡に付染筆院号法名下附に付上申書
新瀉県聞念寺住職本多静應	興亜部長大山賢	満洲開教監督藤岡了淳	石川県加賀国第二組別助音地勝円寺住職遠州心諒	大連別院在勤遠州心諒	満洲開教監督藤岡了淳	奉天別院輪番本明龍貫	興亜部長大山賢
—	宗務総長	宗務総長	興亜局	興亜局長木下萬溪	宗務総長	宗務総長大谷瑩潤	宗務総長
—	昭和16年11月23日	昭和16年12月5日 差解 上申/12月15日付	昭和16年8月10日	昭和16年9月10日	昭和16年12月23日	昭和16年12月20日	昭和16年12月29日 上申/17年1月8日 日允可
—	—	※老父が病気で危篤のため。※付箋あり。「依願開教員ヲ解ク」。	—	—	—	※出口は日露戦争後も満洲に止まり布教所開設時より世話方として功績があったが、内地に帰省中に急逝したので、生前の功に対し特別の思召を以つての下附願。	※俗名、出口源之助(源忠院釈義応)は昭和16年12月4日死亡。



942	941	940	939	938	937	936
307	307	307	307	309	309 301 ・ 305	301 ・ 309
准学師河邊勇履歴書	准学師河邊勇布教員及び開教員申付、大連別院在勤申付に付上申書	開教使無門二三辞職願	開教使無門二三辞職に付上申書	満洲開拓布教者訓練所の予算並びに決算事務打合せのため出張許可願	昭和一六年度更正満洲現地費内訳	昭和一六年度更正予算実施に關し一部予算流用により実施に付上申書
尾張国第七組寶善寺衆徒河邊勇	満洲開教監督藤岡了淳	大連別院在勤無門二三	興亜部長大山賢	満洲開教監督部附主計補記伊正信		満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	宗務総長	木下興亜局長	宗務総長	興亜局長木下萬溪財務局長末廣菱邦		宗務総長
	昭和16年11月12日	昭和16年11月10日	昭和16年11月18日	昭和16年11月25日		昭和16年11月23日
	通り御申付相成候方。	※理由は家事都合のため。		※出張目的は満洲開拓布教者訓練所予算並に決算事務所打合せのため。※付箋あり。主計簿記伊正信哈爾濱へ出張ノ件御認可相成度方。	※出張目的は満洲開拓布教者訓練所予算並に決算事務所打合せのため。※付箋あり。主計簿記伊正信哈爾濱へ出張ノ件御認可相成度方。 1000円減額	※既設教場拡張費※幼稚園補助200円減※新設布教所費更正予算1000円※流用450円計1550円※開拓地開教費※開拓地教化費巡回慰問費 1000円減額※布教所新設補助更正予算 1450円流用2300円

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

950	949	948	947	946	945	944	943
309	309	330	330	308	308	309	309
旅費請求書 白木澤大專西本願寺興亜学院 訓練所及び鶏冠山布教所出張 費用請求書	白木澤大專出張旅費 支出指令の件に付上申書	訓練所用仏壇受贈に関する満 洲国関税免除書類提出依頼書	満洲開拓青年義勇隊満鉄訓練 所用仏壇受贈に関する関税免 除申請手続依頼上申書	桓仁布教所所在地地名変更届	桓仁布教所所在地地名変更 に付上申書	大連別院在勤三谷繁太郎大連 新京間往復旅費請求書	大連別院在勤三谷繁太郎満洲 開教監督部招致に付招致旅費 監督部事務諸費中より支出の 件認可の儀上申書
出仕白木澤大專	満洲開教監督藤岡 了淳	南満洲鉄道株式会 社鉄道総局附業局 長有賀庫吉	興亜局長木下萬溪	桓仁布教所小出唯 信	満洲開教監督藤岡 了淳	大連別院在勤三谷 繁太郎	満洲開教監督藤岡 了淳
満洲開教監 督藤岡了淳	興亜局長財 務局長	大谷派本願 寺宗務所宗 務総長大谷 瑩潤	宗務総長	満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	満洲開教監 督藤岡了淳	興亜局長財 務局長
昭和16年 10月27日	昭和16年 10月27日	昭和16年 10月22日	昭和16年 10月28日 上申/10 月28日決	康德8年 10月18日	昭和16年 11月6日	昭和16年 10月	昭和16年 11月12日
※出張目的は西本願寺興亜学院訓練 所及び鶏冠山布教所在勤の件に関し て総代・世話方と懇談のため。	—	—	—	※旧地名は安徳省桓仁県桓仁街第五 區一四九號・新地名は安東省桓仁 街連沼區二五八號。・変更事由は行 政區域変更のため。	—	※「一金參拾四円貳拾五錢也但大連 新京間往復三等汽車賃三〇、五〇日 當三分三、七五」とあり。	—

958	957	956	955	954	953	952	951
307	307	307	307	307	307	307	309
美濃国第一組常誓寺衆徒國枝貞一布教員申付並びに開教員申付、錦洲布教所在勤申付につき上申書	松田宗圓大連別院開教員辭職願	松田宗圓大連別院開教員辭職に付上申書	退職願	開教員嵯峨法尊開教員差解依願上申書	鷄冠山布教所在勤開教員稲月政雪辭職願	鷄冠山布教所在勤開教員稲月政雪依願退職に付上申書	春岡順心哈爾濱訓練所練成修了を以つて入営に付帰国旅費支出の件上申書
満洲開教監督藤岡了淳	松田宗圓	満洲開教監督藤岡了淳	大谷派本願寺開教員桂木斯駐在嵯峨法尊	満洲開教監督藤岡了淳	鷄冠山布教所在勤稲月政雪	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	満洲開教監督	宗務総長	藤岡監督	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長
昭和16年10月16日	昭和16年9月21日	昭和16年10月16日 上申／9月30日付 辭職	昭和16年8月10日	昭和16年10月16日 上申／10月18日決	昭和16年10月10日	昭和16年10月16日	昭和16年10月上申 カ／10月22日受給
※付箋あり。	※養子縁組のため。			※満洲国の方針により、国民学校教師と兼任できなくなったため。			※付箋あり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

965	964	963	962	961	960	959
309	309	310	310	307	307	307
管内出張旅費請求上申書	記伊正信管内出張旅費支出認可上申書	開教事情並びに相統講奨励法懇談目的による出張の御伺	主計補記伊正信・奉天・撫順・鶏冠山・本溪湖へ出張指令書	梅田正秀履歴書	梅田正秀滿洲別院在勤布教員・開教員任命に付上申書	履歴書
滿洲開教監督部主計補記伊正信	滿洲開教監督藤岡了淳	東本願寺滿洲開教監督部主計補記伊正信	興亜局	越前国第七組国巡讚正等寺衆徒梅田正秀	滿洲開教監督藤岡了淳	美濃国第一組常誓寺衆徒國枝貞一
滿洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	興亜局長木下萬溪財務局長末廣愛邦	藤岡監督	—	宗務総長	記載なし (宗務総長カ)
昭和16年10月3日	昭和16年10月4日	昭和16年9月25日	昭和16年10月9日	昭和16年10月1日	昭和16年10月25日 上申/10月1日任命	昭和16年10月3日
—	※付箋あり。「一、金弍七円〇弍錢也記伊主計奉天、撫順出張旅費右滿洲監督部事務諸費ヨリ支出ノ件認可相成度方」。	—	※眞宗大谷派宗務所用紙にガリ版。	—	※付箋あり。「昭和拾六年十一月弍日梅田正秀布教員申付ノ列例授一級(十六年十月一日附)大谷大学専門部卒業し者ニ候ヘバ冠記御申付相成度方ノ布教員ノ梅田正秀開教員申付ノ開教員ノ梅田正秀滿洲別院在勤申付冠記之通り御申付相成度方」。	※「滿洲開教監督部専用履歴書」に記入。

974	973	972	971	970	969	968	967	966
308	308	301 ・ 309	301 ・ 309	309	309	309	309	326
届 東本願寺図們布教所地番改称	東本願寺図們布教所町名地番改称に付上申書	満洲開教監督部出仕白木澤大専管内出張旅費請求書	満洲開教監督部出仕白木澤大専庄河街並に鶏冠山出張旅費請求に付上申書	鶏冠山布教所主任稲月政雪監督部出頭旅費請求書	稲月政雪監督部招致旅費支出に付上申書	監督部出願旅費請求書	徳永孝英監督部招致旅費支出上申書	満洲別院門徒戸田易准商量員辞令下附に付上申書
准見 図們布教所主謹岡	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督部出仕白木澤大専	満洲開教監督藤岡了淳	鶏冠山布教所主任稲月政雪	満洲開教監督藤岡了淳	開原城子河布教所主任徳永孝英	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳
督部 満洲開教監	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	興亜局長財務局長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長内務局長
9月26日 昭和16年	9月29日 昭和16年	10月10日 昭和16年	10月10日 昭和16年	10月10日 昭和16年	10月10日 昭和16年	10月9日 昭和16年	10月10日 昭和16年	10月10日 昭和16年
—	長名。 ※付箋あり。「左記ノ通告示相成度方ノ告示第十五号今般中華尼国図們布教所々ノ在地左之通改ム間島省延吉県図們街銀河区ノ銀河路第四牌三十七号ノ昭和一六年十月日ノ宗務総長名」。	—	—	—	可。 ※付箋あり。「稲月政雪招致旅費22円20銭監督部事務諸費中より支出認可」。	—	方。 ※付箋あり。「一、金拾四円拾銭也徳永孝英監督部招致旅費右監督部事務諸費中ヨリ支出ノ件御認可相成度方」。	通り御依頼相成度方」。 ※付箋あり。「准商量員戸田易 右ノ

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

983	982	981	980	979	978	977	976	975
307 ・ 309	307 ・ 309	307	307	307	307	307	307	307
満洲開教監督藤岡了淳大連別院奉天別院出張旅費請求書	満洲開教員藤岡了淳大連別院・奉天別院出張旅費請求に付上申書	履歴書	履歴書	履歴書	履歴書	履歴書	履歴書	満洲開拓布教者訓練所入所生、採用及び法主接見認可上申
満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	近江国第一五組田勝寺衆徒七岡無涯	富山県越中国浄教寺衆徒石川宓	加賀国第七組専光寺衆徒吉道賢正	尾張国第一八組圓明寺衆徒勅使修	村木法賢	滋賀県西音寺衆徒進三治三男進三郎	福岡県京都郡戸主
宗務総長	宗務総長	—	—	—	—	—	—	宗務総長
—	昭和16年9月23日	昭和16年9月5日	昭和16年9月	昭和16年9月1日	昭和16年9月5日	昭和16年9月	昭和16年9月	昭和16年9月19日 上申／16年9月15日 日允日
※要務は大連別院において後任輪番赴任に關し総代と懇談及び奉天別院において木下興亜局長と開教事務打合せのため。	※理由は昭和16年9月16日より21日まで大連別院において後任輪番赴任に關し総代と懇談のため。※旅費は75円52銭。※付箋あり。	—	—	—	—	—	—	—

991	990	989	988	987	986	985	984
301	307	308	330	330	307	307	307
せのため出京に付上申書	毛利典寧履歴書	四平街布教所地名改称証明願	四平街布教所地名改称届	四平街布教所地名改称に付上申所	開教員鼻橋昌壽承德布教所転勤に付上申書	電報	大連別院輪番後任との事務引継のため出張・特別認可に付上申書
興亜部長事務取扱 大山賢	熊本県光現寺衆徒 毛利典寧	満洲国四平市大谷派本願寺四平街布教所在勤東野紀園	大谷派本願寺四平街布教所在勤東野紀園	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	オタニ	—
宗務総長	—	四平市長薄井友治	宗務総長大谷瑩潤	宗務総長	宗務総長	キノシタバ ンケイ	—
昭和16年 8月12日	—	康德8年 7月9日	康德8年 7月19日	昭和16年 9月11日 上申/9 月16日決	昭和16年 9月11日 上申/16 年9月1 日申付	昭和16年 9月15日	—
※満洲開教監督部出仕白木澤大専。	—	—	—	※旧名は満洲国奉天省四平街市祝町56番地、改名は満洲国四平市祝町56番地。	※龍江省南県朝陽山第八次開拓団開設係を差解し承德布教所在勤に付ける。	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

997	996	995	994	993	992
309	307	307・330	307・330	307・330	330
哈爾濱別院輪番月輪孝雄監督部招致費支出の件に付上申書	新京監獄教誨師五反田正信、濱江省阿城県八紘村開拓団へ布教所設置に付免役務依頼上申書	滿洲開拓布教者訓練所訓練生勸募に付上申書	哈爾濱別院輪番月輪孝雄滿洲開拓布教者訓練所訓練生勸募のため緊急出京に付電報	哈爾濱別院輪番月輪孝雄滿洲開拓布教者訓練所訓練生勸募のため緊急出京に付認可上申書	滿洲開教監督部出仕白木澤大專滿洲開拓布教者訓練所の件による緊急打合せのため帰京に付電報
滿洲開教監督藤岡了淳	滿洲開教監督藤岡了淳	滿洲開教監督藤岡了淳	—	興亜局長木下萬溪	滿洲開教監督部
宗務総長	滿洲開教監督藤岡了淳	宗務総長大谷瑩潤	木下興亜局長	滿洲開教監督藤岡了淳	木下興亜局長
昭和16年8月8日	昭和16年7月24日	昭和16年8月23日	昭和16年8月23日	昭和16年8月25日	昭和16年8月11日
※哈爾濱別院輪番月輪孝雄7月20日より21日まで滿洲開拓布教者訓練所規程に關し、哈爾濱国立開拓指導員訓練所と連絡及び懇談のため出頭により旅費及び日当・宿泊手当支出につき認可。※付箋あり。「一金、式拾円五拾式錢也／月輪哈爾濱別院輪番新京招致旅費、右監督部事務諸費中ヨリ支出ノ件御認可相成度方」。	※付箋あり。	—	—	※哈爾濱別院輪番月輪孝雄。	—



1005	1004	1003	1002	1001	1000	999	998
309 ・ 322	309	309	307	307	307	307	309
王爺廟布教所下附仏具関係官庁不認可に付代金一時金保管の儀上申書	昭和一六年度満洲現地費月送金額増減表	昭和一六年度満洲現地費月額支出送金認可に付上申書	履歴書	尾張国第一〇組光専寺衆徒加藤元英及び山城国第一組柏樹映開教員任命ならびに佳木斯布教所在勤申付に付上申書	辭職願	北安省綏稜県王榮廟開拓団布教所開設係藤澤要解任依頼上申書	哈爾濱別院輪番月輪孝雄監督部出頭旅費日当請求書
興亜部長事務取扱 大山賢	—	興亜部長事務取扱 大山賢	山城国第一組無量寺衆徒柏樹映	滿洲開教監督藤岡了淳	北安省綏稜県王榮廟開拓団員大谷派布教所開設係藤澤要	滿洲開教監督藤岡了淳	哈爾濱別院輪番月輪孝雄
宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	東本願寺滿洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	滿洲開教監督藤岡了淳
昭和16年 9月16日	—	昭和16年 7月15日 7月16日 上申 7月26日決	—	昭和16年 8月6日 8月16日 上申 7月1日申付	昭和16年 7月5日	昭和16年 8月6日	昭和16年 7月22日
※鎮鑰製仏具は、164円30銭と記載。	—	—	—	※尾張国第十組光専寺衆徒加藤元英命佳木斯布教所在勤申付。※山城国第一組無量寺衆徒柏樹映命佳木斯布教所在勤申付。※付箋あり。	—	※布教所開設係と布教所主任を兼任することは、公私少なからぬ支障があるという将来を考慮したため。	—

1013	1012	1011	1010	1009	1008	1007	1006
309	322	301・309	301	301	301・309	301・309	309 301・307
仏具類見積書	繪像本尊一貫代大品一幅見積書	王爺廟布教所下附繪像本尊一貫代大品一幅原価照会書	王爺廟布教所開設理由書	王爺廟布教所新設許可願	王爺廟布教所開設に付、開設費・赴任費及び準備費下附申請書	王爺廟布教所開設費・本尊仏具費・赴任及び準備費・月手当に付支出認可願の儀上申書	錦州布教所勤開教員三井縁得王爺廟布教所開設係任命に付上申書
福井仏具店	庶務課絵表掛	興亜局	大谷派本願寺錦州布教所勤三井縁得	真宗大谷派本願寺錦州布教所勤三井縁得	王爺廟布教所開設係三井縁得	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳
興亜局	興亜局	庶務課	—	宗務総長	—	宗務総長	宗務総長
昭和16年6月27日	昭和16年6月28日	昭和16年6月27日	昭和16年5月	昭和16年5月	昭和16年6月	昭和16年6月23日	昭和16年6月1日
※三具足、仏器などの仏具類の合計として164円30銭と記載あり。	—	—	※満洲国興安省西科旗王爺廟に軍官学校、電話電報局、警察学校、在満国民学校、青年訓練所等の主要機関設立のため、邦人人口の増加見込に付、布教所設立を要望。	※位置・満洲国興安省西科旗王爺廟。※名称・真宗大谷派本願寺王爺廟布教所。	—	※名目は仮設教場拡張費とし、支出は新設布教所費とする。	※付箋2枚あり。※上の付箋には、6月1日付で三井氏に対し月手当50円を支給すること。開設費300円、赴任及び準備50円、本尊一貫代大品65円66銭、仏具一式164円30銭と記載。※下の付箋には、開設費45円66銭、福本仏具店164円30銭と記載。

1019	1018	1017	1016	1015	1014
306 ・ 309	310	306 ・ 310	306 ・ 310	306 ・ 326	306 ・ 326
傷病兵慰安招待会開催に付上 申書	興亜演劇協会公演要録	興亜演劇協会地方巡回協会依 頼書文案	各宗務出張所長・教務所長・ 別院輪番宛興亜演劇協会公演 協力依頼書発送に付上申書	興亜演劇協会に対する希望書 文案	興亜演劇協会創立に対し希望 書下附に付上申書
興亜局長木下萬溪		内務局長稲葉道 意／興亜局長木下 萬溪	興亜局長木下萬溪	真宗大谷派宗務総 長大谷瑩潤	興亜局賛事増田圓 麿
宗務総長		宗務出張所 長・教務所 長・別院輪 番	宗務所長	興亜演劇協 会々々長岡本 庄次郎	宗務総長大 谷瑩潤
昭和16年 5月15日	昭和16年	昭和16年 6月17日	昭和16年 6月17日	昭和16年 5月29日	昭和16年 6月11日
※傷病兵慰安招待会行事予定として、 両堂参拝と御扉拝礼。大寢殿分骨安 置にて焼香。宗務総長挨拶。興亜演 劇協会成立及び蓮如上人劇上演につ いての挨拶。蓮如上人劇はか二・三 上演(午後1時より)。白衣勇士に茶 菓接待。記念撮影。					

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1029	1028	1027	1026	1025	1024	1023	1022	1021	1020
322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	301 ・ 306	309 301 ・ 306	301 ・ 306	309	309	326	306
哈爾濱別院開拓基地設備費補助認可に付上申書	佳木斯布教所開教基地補助金下附申請に付上申書	佳木斯布教所に対する開拓基地設備費補助認可に付上申書	従軍僧用陣中本尊見積書	従軍棒用陣中本尊原価照会	戦況緊迫に付従軍僧棒持用絵像本尊下附の儀上申書	五百代大品本尊一幅見積書	大連別院内八日講中の下附五百代大品絵像本尊原価照会書	大連別院八日講中に対し五日代大品絵像本尊一幅下附願に付上申書	興亜演劇協会設立趣意書
了淳	登坂溪雪	了淳	庶務部絵表掛	興亜局	了淳	庶務部絵表掛	興亜局	興亜部長大山賢	興亜演劇協会
宗務総長	滿洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	興亜局	庶務部	宗務総長	興亜部	庶務部	宗務総長	—
昭和16年 11月4日	昭和16年 11月1日	昭和16年 11月4日	昭和16年 8月29日	昭和16年 8月29日	昭和16年	昭和16年 12月26日	昭和16年 12月26日	昭和16年 12月26日	昭和15年 7月
※付箋跡あり。	—	※付箋跡あり。	—	—	※付箋に、絵像本尊三百代大品幅は38円60銭と記載。	※五百代大品一幅は、40円79銭と記載。	—	40円79銭と記載。 ※大連別院八日講は、昭和13年1月に大連別院加越能出身の門信徒によって組織された。※五百代品一幅は	※封筒あり。

1037	1036	1035	1034	1033	1032	1031	1030	
330	309	309	309	309	301・307	309・312	322 301・309	
上野順厚訓練生骨折に関する報告書	上野順厚骨折治療費支出に付上申書	満洲開拓布教者訓練所入所生上野順厚骨折治療費支出に付上申書	主計補記伊正信満洲開拓布教者訓練所事務所出張旅費支出に付上申書	主計補記伊正信満洲開拓布教者訓練所事務所出張旅費支出に付上申書	満洲開拓布教者訓練所嘱託講師新馬晋手当並旅費支出に付上申書	開教使旭祐雄満洲別院補番解任に付上申書	昭和一六年度仏教總會真宗大谷派負担金支出認可に付上申書	哈爾濱別院開拓基地補助申請書
孝雄	開拓地布教者訓練所哈爾濱輪番月輪了淳	満洲開教監督藤岡了淳	主計補記伊正信	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	哈爾濱別院輪番月輪孝雄
督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳
昭和16年12月3日	昭和16年12月5日	昭和16年11月30日	昭和16年11月30日	昭和16年11月30日	昭和16年11月10日付解任	昭和16年11月20日上申／16年11月10日付解任	昭和16年12月6日	昭和16年10月30日
	※上野順厚、運搬作業中に左足骨折に付、200円支給、約2ヶ月整骨治療をする。※付箋あり。		※満洲開拓布教者訓練所予算・決算事務打合せのため、哈爾濱大谷会館内訓練所事務所へ出張。※付箋あり。	※満洲開拓布教者訓練所における人件費・講師手当40円、講師旅費64円80銭支出。※新馬晋講師の講題は「満洲宗教事情」と題し、11月24・25日に実施。		※安東省河県莊河街に布教所開設のため赴任に付、満洲別院補番を解任する。※付箋あり。		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1046	1045	1044	1043	1042	1041	1040	1039	1038
322 301 ・ 309	322 301 ・ 309	309	309 ・ 322	309	330	309	309	301 ・ 309
彌榮布教所建築補助申請書	彌榮布教所建築補助支出に付上申書	滿洲開教監督部年末手当支給に付上申書	佳木斯布教所増築工事補助金支出に付上申書	更正予算実施に伴い諸会費より開拓地開教費へ流用認可に付上申書	開拓布教者訓練生七名冬期伐材事業従事に付出張報告書	滿洲開拓布教者訓練所入所生現地見学旅費支出に付上申書	齊々哈爾布教所在勤野原泰雄致到旅費支出に付上申書	更正予算実施に伴い即説教場拡張費四五〇円を新設布教所費へ流用に付上申書
彌榮布教所主任本多賢純	了淳	了淳	了淳	了淳	開拓地布教者訓練所月輪孝雄	了淳	了淳	了淳
滿洲開教監督藤岡	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	滿洲開教監督藤岡	興亜局長	宗務総長	宗務総長
昭和16年10月10日	昭和16年10月10日	昭和16年	昭和16年12月22日	昭和16年12月23日	昭和16年12月2日	昭和16年12月5日		昭和16年12月23日
	※付箋あり。	※支給額300円の内訳として、藤岡監督150円、白木澤出仕100円、記伊主計80円、高道書記30円とする。	※付箋あり。※「工事明細書相添」とあるが欠落している。	※1500円を現地の事情に即した予算運用上、諸会費より開拓地開教費へ流用。	※11月30日午後10時開拓地布教者訓練生7名、冬期伐材事業に従事のため50日間の予定で三道中河に向かいハ爾濱駅を出発。	※冬期伐材事業従事のため三道中河へ出張につき訓練生7名1人につき15円の計105円支出。※付箋あり。		

1052	1051	1050	1049	1048	1047
309	309	309 ・ 322	309	309 ・ 322	309 ・ 322
哈爾濱指導員訓練所入所生四名開拓地視察費支出に付上申書	奉天別院庫裡新築補助金下附に付上申書	昭和一六年度奉天別院庫裡建築補助金支出に付上申書	満洲国立哈爾濱開拓指導員訓練所入所生六名分旅費支出に付上申書	千振布教所昭和一六年度分本堂建築補助申請書	昭和一六年度千振布教所建築補助支出に付上申書
満洲開教監督藤岡了淳	満洲奉天宇治町八号奉天別院輸番本明龍貫	満洲開教監督藤岡了淳	興亜部長事務取扱 大山賢	三江省樺川県千振街千振布教所主任 佐々木悠	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	宗務総長大 谷登潤	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長
昭和16年 8月18日	昭和16年 9月29日	昭和16年 10月14日	昭和16年 9月19日		昭和16年 10月10日
※開拓地開教費、開拓養費より240円支出。尚、7月18日から9月17日まで訓練生平塚武第8次老名房開拓団、佐々木賢城第8次帽子心開拓団、春岡順正第1次彌榮村、並村外照第4次城子河開拓団寒地視察のため1名あたり60円視察費として支給。		※設教場拡張費建築補助として。	徒村木法賢。	※昭和16年度分本堂建築補助金500円支給。	※付箋あり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1058	1057	1056	1055	1054	1053
320・302・309	309・311	309・310	309・310	309・310	309・310
満洲人に対する満語教化伝道費補助に付上申書	留学生派遣経費補充に付開拓地開教費より予算流用の儀上申書	満洲開教監督部主事白木澤大専国立開拓指導員訓練所出張費請求書	満洲開教監督部主事白木澤大専国立開拓指導員訓練所出張旅費支出認可に付上申書	藤岡了淳哈爾濱国立開拓指導員訓練所主張に付管内出張旅費請求書	満洲開教監督藤岡了淳国立開拓指導員訓練所主張旅費支出に付上申書
興亜局長木下萬溪	興亜事務局次長臨時満洲開教監督事務取扱恵美安霊	主事白木澤大専	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	財務局長	宗務総長大谷瑩潤	宗務総長
昭和16年5月12日	昭和16年3月20日	昭和16年7月7日	昭和16年7月7日	昭和16年7月7日	昭和16年7月7日
※佳木斯布教所登坂溪雪の名あり。 ※伝道費補助金申請として850円と記載あり。 ※付箋跡あり。	※留学生派遣に伴う経費補充のため流用。		※宗務総長一行が訓練所訪問のため随員として出張。※白木澤大専哈爾濱出張費として監督部事務諸費より20円52銭を支給。※付箋あり。※受給者の部分「宗務総長」を消した跡あり。		※宗務総長一行が訓練所訪問のため随員として出張。※藤岡監督哈爾濱出張旅費として監督部事務諸費より21円52銭を支出。※付箋あり。



1065	1064	1063	1062	1061	1060	1059
309	309 ・ 326	326	309 ・ 326	309 ・ 326	320 302 ・ 309	320 302 ・ 309
表彰状見積書	奉天別院建築寄附金進納記念 品用念珠原価照会依頼書	奉天別院本堂・庫裡建築功勞 者表彰に付上申書	奉天別院用表彰状請求書	購入物品検収表	満語パンフレット出版計画書	満語文書伝道費補助金下附申 請に付上申書
丸本菊幸堂	興亜局	興亜局長木下萬溪	丸本菊幸堂	興亜局	登坂溪雪	佳木斯布教所在勤 登坂溪雪
興亜局	財務局	宗務総長	興亜局	会計監査局	—	満洲開教監 督
5 昭和 14 16年 日	5 昭和 12 16年 日	5 昭和 23 16年 日	5 昭和 21 16年 日	5 昭和 25 16年 日	—	4 昭和 10 16年 日
—	—	—	—	—	—	※一、「浴佛節」(花祭りパンフレット・日満両文) 1、小早川秋声画伯筆カード入(6葉、(オフセット版)500部60円。2、画料100円。3、菊半裁判48頁500部紙質良選300円。※二、「到彼岸」(満文)菊判10頁500部100円合計110円。※内訳 本山補助金850円、佳木斯布教所出資金250円。※「佛教的生活」(宇蘭盆會)等の再版計画あるも出費多額につき今回は「浴佛節」改版出版に重点を置き発行する準備中とある。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1075	1074	1073	1072	1071	1070	1069	1068	1067	1066
309	309	309	309	309	309	309	309	326	326
満洲開拓布教者訓練生現地視察費支出に付上申書	稲月政雪鶏冠山布教所離任に付引越旅費補助の儀上申書	上野順厚家族内地引上げ旅費支出補助に付上申書	慰労晩餐会会計計算書	贈与用ハンカチ購入明細伝票	満洲開拓布教者訓練所幹部・講師慰労に付晩餐会及び贈与品購入費認可の儀上申書	部出張旅費請求書 哈爾濱別院輪番月輪孝雄監督 哈爾濱別院輪番月輪孝雄監督 部出張旅費請求書	哈爾濱別院輪番月輪孝雄監督 部出張旅費請求に付上申書	黒河布教所世話方亀山誠一への感謝状文案	亀山誠一黒河布教所発展尽力に付感謝状・記念品下附の儀上申書
了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	哈爾濱石頭道六四号名古屋ホテル	株式会社 登喜和百貨店	—	哈爾濱別院輪番月輪孝雄	満洲開教監督藤岡了淳	大谷派宗務総長大谷榮潤	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	宗務総長	宗務総長	東本願寺	—	—	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	—	宗務総長
昭和17年2月9日	昭和17年2月9日	昭和17年2月9日	昭和17年2月4日	昭和17年2月4日	—	昭和17年2月25日	昭和17年3月3日	昭和17年3月1日	昭和17年3月11日
※付箋跡あり。	※付箋跡あり。	※三棵樹布教所より富錦布教所主任へ転勤のところ、富錦地元官辺とトラブルになったため離任、現在満洲開拓布教者訓練生。※付箋跡あり。	—	—	—	—	※満洲開拓布教者訓練所事務打合せのため。	—	※付箋に、記念品は木杯一個と記載。

1082	1081	1080	1079	1078	1077	1076
307	307 ・ 309	307	309	307 ・ 309	309	309
書 哈爾濱別院輪番月輪孝雄履歴	任命に付上申書 開拓布教者訓練所主事・書記 爾濱別院在勤佐々木令章満洲	大谷派満洲開拓布教者訓練所 入所生履歴報告書	満洲開拓布教者訓練所諸経費 支出に付上申書	満洲開拓布教者訓練所入所生 入所申付・支給金支出に付上 申書	書 藤岡了淳哈爾濱出張旅費請求	藤岡了淳哈爾濱満洲開拓布教 者訓練所主出張旅費請求に付上 申書
福井県願念寺衆徒 月輪孝雄	興亜部長大山賢	大谷派満洲開教監 督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	興亜部長大山賢	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳
	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長
	昭和17年 2月16日 上申 昭和17年 2月16日 日申付	昭和16年 12月1日	昭和17年 2月12日	昭和17年 2月12日 上申 昭和17年 2月12日 日申付	昭和17年 2月9日	昭和17年 2月9日
		※入所年昭和16年11月2日、入所者 8名、入所期間6ヶ月。	16年10月より支給。 ※事務費として月額60円を昭和16年 10月より支給、また人件費（主事並 び書記手当）として月額50円を昭和 16年9月より支給、また訓練生費と して採煖費月額40円、食費月額100円、 諸費月額20円いずれも8名分を昭和 16年10月より支給。			※昭和17年2月3日から4日間、訓 練所幹部講師と懇談及び慰労晩餐会。 ※付箋跡あり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1092	1091	1090	1089	1088	1087	1086	1085	1084	1083
322 301 ・ 309	309	309	309	309 ・ 310	309	309	309	309	307
鶴立布教所建築補助申請に付 上申書	満洲開拓布教者訓練所職員・ 訓練生晩餐会費支出認可に付 上申書	満洲開拓布教者訓練所生防寒 具費支出認可に付上申書	満洲開拓布教者訓練所講師新 馬晋滞在費支出認可に付上申 書	巡回慰問使本多静應防寒具購 入費支出認可に付上申書	満洲開拓布教者訓練所事務諸 費支出認可に付上申書	満洲開拓布教者訓練所生採暖 費支出認可に付上申書	満洲開拓布教者訓練所費内訳 明細書	満洲開拓布教者訓練所費決定 予算履行認可に付上申書	哈爾濱別院在勤佐々木令章履 歴書
満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	興亜部長大山賢	興亜部長大山賢	興亜部長大山賢	満洲開教監督藤岡 了淳	秋田市西方寺衆徒 佐々木令章
宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	
昭和17年 1月22日	昭和16年 12月25日	昭和17年 1月22日	昭和16年 12月25日	昭和17年 1月21日		昭和17年 2月12日	昭和16年 11月23日	昭和17年 1月18日	
	※10月1日訓練生哈爾濱到着後、慰 勞の意に於て露西亜飯店オフセコフ において晩餐会を催す。また満洲開 拓布教者訓練所事務費訓練生募集費 73円80銭支給。	※500円を訓練生8名に対して1人70 円を支給。	※11月23日から26日の滞在費。	※本多静應北満開拓村慰問の目的。	費として支給。	※月額60円を昭和16年10月より昭和 17年3月まで開設中の訓練所事務諸 費として支給。			

1101	1100	1099	1098	1097	1096	1095	1094	1093
307・309	307・309	307・309	309	309	309	309	309	322 301・309
阜新布教所主任在勤佐藤基則 転任旅費請求書	佐藤基則阜新布教所転任旅費 支出認可に付上申書	大連別院在勤古谷清二鶏冠山 布教所在勤申付に付上申書	阜新布教所主任在勤佐藤基	阜新布教所主任在勤佐藤基則 事務打合旅費請求に付上申書	満洲開教監督藤岡了淳哈爾濱 出張旅費請求書類	満洲開教監督藤岡了淳哈爾濱 出張旅費支出認可に付上申書	満洲開拓布教所訓練所入所生 入所準備費支給認可に付上申 書	鶴立布教所改造費中開拓団本 部立替金返済に付送金の儀上 申書
阜新布教所主任在勤佐藤基則	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	阜新布教所主任在勤佐藤基則	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	三江省鶴立県東海 村開拓団鶴立布教 所主任牧村初雄
満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長	満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	満洲開教監 督藤岡了淳
昭和17年 1月4日	昭和17年 1月4日	昭和16年 12月10日 上申／12 月11日申 付	昭和17年 11月4日	昭和17年 1月4日	昭和17年 1月12日	昭和17年 1月12日	昭和17年 1月22日	昭和16年 12月28日
—	※付箋跡あり。	—	※阜新布教所前任在勤政賢寿辞任 に伴い後任として事務打合のため。 ※月手当て20円支給。	※昭和16年12月6、7両日に前任者 政賢寿辞任に伴う後任として事務打 合せのため。	—	※昭和17年1月7日から9日まで、 大谷会館において事務打合せ並びに 開拓布教者訓練所訪問、訓練生2名 (上野、吉道)の病氣見舞い。※付 箋跡あり。	※昭和16年10月入所の訓練生8名に 対する準備費の支給400円、1人当た り50円を支給。※付箋あり。	※請求書の写しあり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1109	1108	1107	1106	1105	1104	1103	1102
307	307	307	307	307	307	307	308
職に付上申書	願 浅井澁大連別院開教員依願退	退職に付上申書	願 大連別院開教員杉浦顕成辞任	上申書	勤 杉浦顕成開教員依願退職に付	書 開教員鼻橋昌壽差解に付上申	届 満洲開教監督印紛失に付改印
了 淳	員 満洲別院在勤開教	了 淳	勤 開教員大連別院在	興 與亜部長大山賢	橋 承德布教所在勤鼻	了 淳	了 淳
宗務総長	督 満洲開教監	宗務総長	谷 宗務総長大	宗務総長	督 満洲開教監	宗務総長	宗務総長
2月28日	昭和17年1月31日	昭和17年2月20日	昭和17年2月26日	昭和17年2月28日	昭和17年2月23日	昭和17年3月12日	昭和17年4月1日
※付箋あり。「依願開教員差解」。	※一身上の都合による。	※一身上の都合による。※付箋あり。「昭和十七年二月二十日附開教員梅田正秀依願開教員差解」。	※本籍地は和歌山県和歌山市東紺屋町、現住所は関東州大連市八幡町。※辞任理由は父の病気の為。		※一身上の都合により辞職。	※一身上の都合により辞任。	※移動中になくしてしまつたので、新たに急造した。※使用開始は昭和17年4月1日。

1117	1116	1115	1114	1113	1112	1111	1110
307 ・ 309	326	307	307	307	307	307	307
浮田雪代興亜部事務担当採用に付上申書	満洲国海倫布教所開設功労者表彰に付上申書	千原正隆満洲別院開教員辞職願	千原正隆満洲別院開教員依願退職に付上申書	彪瑩正大連別院開教員辞職出願に付上申書	彪瑩正大連別院開教員依願退職に付上申書	浅井澁大連別院開教員依願退職に付上申書	大連別院在勤浅井澁辞職願
興亜部長出雲路善尊	興亜部長大山賢	満洲別院在勤開教員千原正隆	満洲開教監督藤岡了淳	大連別院輪番高西賢正	満洲開教監督藤岡了淳	大連別院輪番高西賢正	大連別院在勤浅井澁
興亜局長	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	興亜局長木下萬溪
昭和17年5月4日 上申／5 月9日履用	昭和17年2月20日 上申／2 月25日決	昭和17年2月25日	昭和17年2月28日 上申／差 解	昭和17年2月27日	昭和17年2月28日 上申／差 解	昭和17年2月27日	昭和16年12月5日
	※功労者は高木秀雄・岩永良介・細田福・廣田善助・濱本末吉。※木盃、感謝状。		※付箋あり。「依願開教員差解」。※開教員千原正隆を依願により昭和十七年二月二十八日付で差解。		※付箋あり。「依願開教員差解」。		

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1124	1123	1122	1121	1120	1119	1118
307	307	307	307	307	309	322 309 300 ・ 321 307
真教寺衆徒略歴	開教使並びに哈爾濱別院在勤 申付に付上申書	願教寺衆徒履歴書	教師試験合格証並びに成年に 達し教師補任に付上申書	東安布教所詰員教師検定合格 に付補任上申書	興亜局雇西本婦美子月手当・ 臨時手当支給に付上申書	大谷派満洲移民開教状況報告 書
典 真教寺衆徒海野幸	宗務総長	長島真證	東安本願寺布教所 詰員長島真證	満洲開教監督藤岡 了淳	興亜部長事務取扱 山口徹澄	哈爾濱別院月輪孝 雄
—	澄 取扱山口徹	満洲開教監 督藤原了淳	満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長	—
—	昭和19年 2月14日 上申／18 年10月5 日申付	昭和18年 11月1日	昭和18年 11月1日	昭和18年 11月3日 上申／12 月5日申 付	昭和18年 4月12日	—
—	※教師審査会の稟授四級評価の貼紙あり。	※「藤岡」が正しいが「藤原」と記載されている。	※昭和17年8月施行の教師試験に合格したが、20才に達していなかった。宗制第40条により補任されなかった。今度昭和18年12月5日で20才になるので補任されたい旨。※教師検定合格証を貼付。※教学部長飯田法遠に對しての教師補任願を貼付。	※昭和18年12月5日付補入位状。※昭和17年8月に教師検定に合格した旨の貼紙あり。※美濃國願教寺衆徒長島真證。	—	※移民開教報告概説 ※大谷派移民布教使派遣状況 ※大谷派移民布教使訓練生 ※大谷派移民宿泊所 ※布教所設置希望団 ※移民布教費内訳 ※満洲移民全



1135	1134	1133	1132	1131	1130	1129	1128	1127	1126	1125
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
光福寺衆徒履歴書	布教使四級任命に付上申書	徳台寺衆徒履歴書	歴応寺衆徒履歴書	布教使四級任命に付上申書	円重寺衆徒履歴書	布教使四級任命に付上申書	誓源寺住職履歴書	奉天別院在勤並びに開教員申付に付上申書	晃玄寺衆徒履歴書	奉天別院在勤申付に付上申書
高山龍音	了淳 満洲開教監督藤岡	佐藤基則	高田等	岡了淳 満洲開教監督部藤岡	今津甚助	了淳 満洲開教監督藤岡	福部清成	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	末廣一磨	興亜部長山口徹澄
—	宗務総長	—	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長
—	昭和18年 11月25日	昭和18年 11月20日	昭和18年 11月20日	昭和18年 11月25日	—	昭和18年 11月25日	昭和19年 1月7日	昭和19年 2月17日 ／ 2月20日申	—	—
—	※布教員高山龍音を布教使四級に任命。※任命願と教師審査会の貼紙あり。	—	—	※布教員高田等を布教使四級に任命。※任命願と教師審査会の貼紙あり。	—	※布教使今津甚助を布教使四級に任命。※任命願と教師審査会の貼紙あり。	—	—	—	※末廣一磨は台北別院在勤。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1146	1145	1144	1143	1142	1141	1140	1139	1138	1137	1136
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
布教使三級任命に付上申書	浄喜寺衆徒履歴書	布教使三級任命に付上申書	順念寺履歴書	布教使二級任命に付上申書	葉室登正履歴書	布教使三級任命に付上申書	勝傳寺衆徒履歴書	布教使二級任命に付上申書	末永温了履歴書	布教使三級任命に付上申書
了淳 満洲開教監督藤岡	加来神正	了淳 満洲開教監督藤岡	—	了淳 満洲開教監督藤岡	職 越中国行願寺副住 葉室登正	了淳 満洲開教監督藤岡	柳原志遠	了淳 満洲開教監督藤岡	末永温了	了淳 満洲開教監督藤岡
宗務総長	興亜局長	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	—
—	昭和17年 10月日	—	—	昭和18年 11月13日	昭和18年 8月14日	昭和18年 9月23日	昭和18年	—	昭和16年 10月20日	—
紙あり。 ※満洲別院在勤布教員國枝貞一を布教使三級に任命。※教師審査会の貼紙あり。	—	紙あり。 ※奉天別院在勤布教員加来神正を布教使三級に任命。※教師審査会の貼紙あり。	—	紙あり。 ※布教員清水博(海拉爾布教所在勤)を布教使二級に任命。※教師審査会の貼紙あり。	—	紙あり。 ※元大連別院在勤布教員葉室登正を布教使三級に任命。※教師審査会の貼紙あり。	—	紙あり。 ※布教使柳原志遠を布教使二級に任命。※任命願と教師審査会の貼紙あり。	—	紙あり。 ※通化布教所在勤布教使末永温了を布教使三級に任命。

1155	1154	1153	1152	1151	1150	1149	1148	1147
326	326	308 ・ 321	308 ・ 321	308 ・ 321	307	307	307	307
院号染筆願	撫順市真教寺信徒総代に対し 染筆院号下附願	布教所所在地名並びに布教所 名改称理由明記書	六道河布教所の改称認可願 に付上申書	満洲国濱江省六道河布教所名 称並びに所在地変更告示書	久田見布教所総代世話方推薦 に付任命願	久田見布教所総代並びに世話 方任命願	敦化布教所総代並びに世話方 任命願	國枝貞一履歴書
住職廣部訣	満洲国撫順真教寺	六道河布教所在勤 松枝英俊	満洲開教監督藤岡 了淳	宗務総長大谷瑩潤	久田見布教所毛利 諦静	満洲開教監督藤岡 了淳	満洲開教監督藤岡 了淳	岐阜県本巣郡北方 町常誓寺衆徒國枝 貞一
谷瑩潤	宗務総長大	真宗大谷派 満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	—	満洲開教監 督藤岡了淳	宗務総長	宗務総長	—
—	昭和18年 5月9日	—	昭和18年 12月27日	昭和19年 1月14日	—	昭和18年 1月11日	昭和19年 1月13日	昭和18年
—	紙あり。 ※撫順市新教寺信徒総代故松井辰三 郎に対し、染筆院号下附願。※院号 「浄徳院釋清徹」。※本紙と同様の貼	—	—	—	—	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1166	1165	1164	1163	1162	1161	1160	1159	1158	1157	1156
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
南教信履歴書	布教員二級任命に付上申書	専福寺衆徒履歴書	専福寺衆徒大連別院在勤任命に付上申書	大連別院在勤並びに開教員申付に付上申書	酒井了宏履歴書	開教員申付並びに満洲別院在勤申付に付上申書	存徳寺衆徒履歴書	開教使並びに吟爾濱別院在勤申付に付上申書	富錦布教所在勤布教員履歴書	布教使四級任命に付上申書
南教信	満洲開教監督藤岡了淳	本間哲榮	大連別院輪番高西堅正	満洲開教監督藤岡了淳	豊後国第六組鯛生教会主管酒井了宏	満洲開教監督藤岡了淳	徳永二二男	満洲開教監督藤岡了淳	高田等	満洲開教監督藤岡了淳
—	宗務総長	—	谷瑩潤 宗務総長大	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長
11月 昭和18年	11月25日 昭和18年	—	11月9日 昭和18年	11月17日 昭和18年	7月1日 昭和18年	11月5日 昭和18年	11月4日 昭和18年	11月5日 昭和18年 上申／18 年11月1 日申付	—	11月25日 昭和18年
—	※南教信を布教員二級に任命。	—	—	—	—	※布教員酒井了宏を開教員に、開教員としての同人を満洲別院在勤に任命に付上申。※本文書の草稿的な内容の貼紙あり。	—	—	—	—

1178	1177	1176	1175	1174	1173	1172	1171	1170	1169	1168	1167
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	306
末永温了	布教使三級任命に付上申書	光圓寺副住職履歴書	布教使二級任命に付上申書	順念寺候補衆徒履歴書	布教使二級任命に付上申書	徳臺寺衆徒佐藤其則履歴書	布教使四級付任命に付上申書	円重寺衆徒今津甚助履歴書	布教使四級任命に付上申書	光福寺衆徒高山龍音履歴書	布教使四級任命に付上申書
豊前国第三組蕉縁寺衆徒末永温了	満洲開教監督藤岡了淳	林重誓	満洲開教監督藤岡了淳	—	満洲開教監督藤岡了淳	佐藤其則	満洲開教監督藤岡了淳	—	満洲開教監督藤岡了淳	高山龍音	満洲開教監督藤岡了淳
—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長
昭和16年10月20日	—	昭和16年10月12日	—	—	昭和18年11月13日	昭和18年11月20日	昭和18年11月25日	—	昭和18年11月25日	—	昭和18年11月25日
—	※末永温了を布教使三級に任命。	—	※布教使林重誓を二級に任命。	—	※布教員清水博を布教使二級に任命。 ※本人(清水博)は11月に応召入営したため、履歴書は監督部にて代筆。	—	※布教員佐藤其則を布教使四級に任命。	—	※布教員今津甚助を布教使四級に任命。	—	※布教員高山龍音を布教使四級に任命。

1189	1188	1187	1186	1185	1184	1183	1182	1181	1180	1179
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
哈爾濱駐留開教使解任に付上 申書	葉室榮正履歴書	開教員並びに大連別院在勤申 付に付上申書	浄喜寺衆徒履歴書	布教使三級任命に付上申書	勝傳寺衆徒履歴書	布教使二級任命に付上申書	香月周海履歴書	布教使一級任命に付上申書	常誓寺衆徒履歴書	布教使三級任命に付上申書
滿洲開教監督藤岡 了淳	越中国水見郡久目 村大字岩ヶ瀬行願 寺副住職葉室榮正	滿洲開教監督藤岡 了淳	加来神正	滿洲開教監督藤岡 了淳	柳原志遠	滿洲開教監督藤岡 了淳	越前国第六組永臨 寺副住職香月周海	滿洲開教監督藤岡 了淳	國枝貞一	滿洲開教監督藤岡 了淳
宗務総長	—	宗務総長	興亜局長	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長
付 月31日申 上申／8 8月21日 昭和18年	8月14日 昭和18年	9月23日 昭和18年	10月 昭和17年	—	昭和18年	—	10月10日 昭和16年	—	昭和18年	—
8月中に帰国。	—	※布教員葉室榮正を開教員に申付、 並びに開教員同人を大連別院在勤申 付。	—	※布教員加来神正を布教使三級に任 命。	—	※布教員柳原志遠を布教使二級に任 命。	—	—	—	※布教員國枝貞一を布教使三級に任 命。

1200	1199	1198	1197	1196	1195	1194	1193	1192	1191	1190
301・322	308	307	307	307	307	307	307	307	307	307
書 赤峰布教所移転完了に付上申	書 靖國寺所在地名改称に付上申	福善寺副住職履歴書	布教使三級任命に付上申書	智敬寺衆徒履歴書	布教使二級任命に付上申書	高木讓離任届	依願開教員差解に付上申書	訓練生都合により帰国並びに月手当停止に付上申書	坂本正信辭職願	依願開教員差解に付上申書
了淳 満洲開教監督藤岡	了淳 満洲開教監督藤岡	藤原闌英	了淳 満洲開教監督藤岡	酒井智学	了淳 満洲開教監督藤岡	佳木斯布教所在勤開教員高木讓	了淳 満洲開教監督藤岡	坂本正信 沙河口市布教所在勤	坂本正信 沙河口市布教所在勤	了淳 満洲開教監督藤岡
宗務総長	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	谷榮正 宗務総長大	宗務総長	谷榮正 宗務総長大	谷榮正 宗務総長大	宗務総長
昭和18年7月23日	昭和18年7月23日	昭和18年8月1日	昭和18年8月3日	昭和17年12月	昭和18年6月25日	昭和18年5月27日	昭和18年8月3日	昭和18年9月4日	昭和18年9月4日	昭和18年9月23日
※満洲国赤峰布教所の移転先の地名が記載された貼紙あり。	※草稿的な内容の貼紙あり。	—	※布教使藤岡闌英を三級に任命。	—	※布教員酒井智学を布教使二級に任命。	—	※布教員高木讓、依願開教員差解。	※開拓布教者訓練生大屋浄信は、昭和18年4月より訓練所に入るも、訓練中に家郷の都合により7月をもって月手当てを停止する。	—	※沙河口市布教所在勤坂本信正、依願開教員差解。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1210	1209	1208	1207	1206	1205	1204	1203	1202	1201
308	308	318	302	302	307	307	307	307	307
所在地改称届	安東別院所在地名改称に付上申書	満洲国開拓地末寺任職任命手続一定に付上申書	昭和御消息下附申請書	昭和御消息下附申請に付上申書	西祐寺衆徒履歴書	ロシア語研究のため布教使並びに開教使として哈爾濱駐留任命に付上申書	ロシア語研究のため哈爾濱に駐留任命	長島眞澄履歴書	東安布教所詰員依嘱に付上申書
大谷派安東別院輪番佐々木泰澄	了淳	満洲開教監督藤岡了淳	東安省勃利県勃利布教所加田岡俊雄	満洲開教監督藤岡了淳	—	満洲開教監督藤岡了淳	興亜部長山口徹澄	願教寺衆徒長島眞澄	満洲開教監督藤岡了淳
谷瑩潤	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	勅使善法	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督	宗務総長
昭和18年6月26日	昭和18年7月5日	昭和18年6月16日	康徳10年6月16日	昭和18年7月5日	昭和18年5月22日	昭和18年6月1日	昭和18年7月13日	昭和17年9月27日	昭和18年3月16日
—	※別院所在地名を改称する旨を告示する貼紙(墨筆書)あり。	※認可を求める貼紙あり。	—	※願人加田岡俊雄は当時、義勇隊開拓団に出張、昭和御消息の拝読を中心とする法話により団員激励慰問を行う。その業績を認め申請。※草稿的内容の貼紙あり。	—	※教師審査会稟授四紙の貼紙あり。※勅使善法を布教使に任命する旨の貼紙あり。	—	—	※生来の持病により、長島眞澄を開拓地布教者として不適任と判断。退所させ東安布教所詰員として採用。



1219	1218	1217	1216	1215	1214	1213	1212	1211
322 301 ・ 309	307	307	307	307	307	307	307	307
収入通知書	伊藤利己履歴書	開教員および満洲別院在勤申付に付上申書	武村義昌履歴書	布教使二級任命に付上申書	五反田正信履歴書	布教使三級任命に付上申書	古林賢政履歴書	布教員三級任命に付上申書
—	伊藤利己 組願海寺副住職	美濃国海津郡石津村大字太田第二〇 組願海寺副住職伊藤利己	真宗大谷派本願寺武村義昌	満洲開教監督藤岡了淳	薩摩国光徳寺衆徒五反田正信	満洲開教監督藤岡了淳	富山県氷見郡佛生村専長寺衆徒古林賢政	満洲開教監督藤岡了淳
—	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長
—	昭和18年 5月9日	昭和18年 6月25日	昭和16年 10月	昭和18年 5月9日	昭和18年 5月12日	昭和18年 5月16日	昭和18年 5月10日	昭和18年 5月12日
※満洲大泉寺布教所の「寺号山号願」を承認した「願事礼金」に関する収入通知票。※収入科目：願事礼金。 ※摘要：寺号山号願。※納入住所氏名：満洲大泉寺布教所。	—	※布教員伊藤利己を開教員に申付、並びに開教員としての同人に満洲別院在勤申付。	—	※武林義昌を布教使二級に任命。	—	※五反田正信を布教使三級に任命。	—	※古林賢政布教員を三級に任命。

1224	1223	1222	1221	1220
301	301	301	301	322 301 ・ 309
大泉子布教所寺號公称出願に 付当布教所概要條項	大泉子布教所寺號公称出願に 付当布教所概要條項	大泉子布教所設立に付寺號公 称許可申請書	大泉子布教所山寺号下附願に 付上申書	大谷派宗務所財務局領収書
上野順厚	上野順厚	大泉寺布教所開設 係上野順厚	滿洲開教監督藤岡 了淳	大谷派宗務所財務 局
		真宗大谷派 宗務総長	宗務総長	
4月3日 康德10年	4月3日 康德10年	4月3日 康德10年	4月13日 昭和18年	6月10日 昭和18年
※「第拾條」は欠。※「昭和拾八年 四月拾參日上申」の文字あり。	※「第拾條」は欠。※「昭和拾八年 四月拾參日上申」の文字あり。	※第一條、事由(寺號公称出願ニ及 ブ)。第二條、名称。第三條、設立 地。第四條、宗派系統。第五條、國 内又ハ國外ニ於ケル他ノ寺廟トノ間 ニ本末關係アルトキハ其關係。第六 條、主祀及併祀ノ神仏。第七條、祭 礼の名称及其期間。第八條、堂宇其 ノ他境内附屬建物ノ位置、種別構造、 用途面積及図面並ニ境内地ノ面積、 図面及周囲ノ状況。第九條、設立費 及其支弁方法。第拾壹條、布教方法。 第拾貳條、維持方法。第拾參條、寺 廟ノ代表者トナルベキ者ノ氏名、本 籍、現住所、生年月日、履歴并ニ資 権及其ノ証明書。第拾四條、所屬布 教者の職名及定員。※「第拾條」は 欠。	※布教所開設係より、開拓地におけ る特殊事情により特に山寺号(神明 山昭康寺)下附願。※本史料と同内 容の付箋あり。	※滿洲大泉寺布教所より「寺号及山 号下附」に対する礼金を受領した旨 を示す。

1235	1234	1233	1232	1231	1230	1229	1228	1227	1226	1225
307	307	307	307	307	307	307	307	307	330	330
五常布教所勤務布教使竹内真道布教使一級任命に付上申書	寂靜寺候補衆徒履歴書	江清布教所勤務布教使穆谷從尊布教使一級任命に付上申書	浄勝寺衆徒履歴書	大泉子布教所勤務布教使上野順厚布教使二級任命に付上申書	法通寺衆徒履歴書徳永孝英	布教員徳永孝英布教員一級任命に付上申書	満洲開教監督部賛事白木澤大專主任並びに三級任命に付上申書	玉蓮寺住職白木澤大專履歴書	満洲開教監督部賛事白木澤大專病氣静養に付帰省願	満洲開教監督部賛事白木澤大專病氣静養に付上申書
満洲開教監督藤岡了淳	穆谷從尊	満洲開教監督藤岡了淳	上野順厚	満洲開教監督藤岡了淳	徳永孝英	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	白木澤大專	満洲開教監督部賛事白木澤大專	満洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	宗務総長	—	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長
昭和18年5月9日	昭和16年10月13日	昭和18年5月9日	昭和13年12月28日	昭和18年5月9日	昭和15年3月2日	昭和18年5月9日	昭和18年3月30日 命上申／任	—	昭和17年7月23日	昭和17年7月24日
※例授二級、昭和15年12月15日。	—	※例授二級、昭和15年2月1日。	—	※例授四級、昭和13年11月16日。	—	※例授二級、昭和15年2月28日。	※付箋あり。	—	※病氣静養のため昭和17年7月27日より8月26日までの帰省願い。	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1247	1246	1245	1244	1243	1242	1241	1240	1239	1238	1237	1236
307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307	307
布教員布施秀夫布教員二級任命に付上申書	大乘寺衆徒履歴書	鶴立布教所勤務布教員牧村初雄布教員二級任命に付上申書	念善寺衆徒履歴書	奉天別院勤務布教使林實明布教使一級任命に付上申書	西照寺衆徒履歴書	田師付布教所勤務布教使横井諦信布教使一級任命に付上申書	空徳寺衆徒履歴書	安東別院勤務布教使朝山惠教布教使三級任命に付上申書	浄宗寺衆徒履歴書	六道河布教所勤務布教使松枝美俊布教使一級任命に付上申書	大成寺衆徒履歴書
了淳	牧村初雄	了淳	林實明	了淳	横井諦信	了淳	朝山惠教	了淳	松枝美俊	了淳	竹内真道
宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—
昭和18年4月20日	昭和14年11月1日	昭和18年5月9日	昭和15年3月	昭和18年5月9日	昭和16年10月11日	昭和18年5月9日	昭和18年5月8日	昭和18年5月9日	昭和17年9月	昭和18年5月9日	昭和16年10月18日
—	—	※例授三級、昭和15年12月1日。	—	※例授二級、昭和16年2月18日。	—	※例授二級、昭和15年12月15日。	—	※例授四級、昭和16年5月10日。	—	※例授二級、昭和15年2月1日。	—

1257	1256	1255	1254	1253	1252	1251	1250	1249	1248
326 301 ・ 322	326	326	308 ・ 322	308 ・ 322	307	307	307	307	307
弥栄布教所建築棟梁栗林兵衛 に対する表彰願に付上申書	奉天別院前世話方准講頭格故 佐々木長太郎に対する染筆院 号法名特別下附願	奉天別院前世話方准講頭格故 佐々木長太郎に対し染筆院号 法名下附願に付上申書	奉天別院前世話方准講頭格故 佐々木長太郎に対し染筆院号 に併い布教所名称変更願に付 上申書	西二道崗布教所、東光布教所 に名称変更に付上申書	上宮寺衆徒履歴書	甘南開拓団勤務布教使一色順 覺布教使三級任命に付上申書	中島寺衆徒履歴書	香蘭布教所布教使水谷文雄布 教使四級任命に付上申書	因徳寺衆徒履歴書
満洲開教監督藤岡 了淳	奉天別院輪番本明 龍貫	満洲開教監督藤岡 了淳	東安省密山県東光 村西二道崗布教所 開設係七岡無涯	満洲開教監督藤岡 了淳	一色順覺	満洲開教監督藤岡 了淳	水谷文雄	満洲開教監督藤岡 了淳	布施秀夫
宗務総長	宗務総長大 谷瑩潤	宗務総長	宗務総長大 谷瑩潤	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	—
昭和18年 4月20日	昭和18年 4月22日	昭和18年 4月26日	康德10年 5月7日	昭和18年 5月16日	昭和16年 10月22日	昭和18年 5月9日	昭和18年 3月1日	昭和18年 5月9日	—
※彌栄布教所建築棟梁に対する感謝 の意として賞品と賞状の下附願い。 ※付箋あり。「一、表彰状別紙文案／ 一、賞品木盃一個」。	※生前の功績により奉天別院輪番か らの院号法名特別下附願い。※「昭 和18年3月16日死亡、至信院釋西向 百代」とあり。	※生前の篤信によって奉天別院輪番 からの願出。※「至心院釋西向昭和 18年3月16日亡但し百代」とあり。	—	※付箋あり。	—	※稟授四級、昭和15年2月10日。	—	—	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1266	1265	1264	1263	1262	1261	1260	1259	1258
307	307	307	307	307	307	307	307	327
廣濟寺衆徒履歴書	布教使本多進開教使任命並びに沙河口布教所在勤申付に付上申書	正蓮寺衆徒履歴書	大連別院在勤桑野晴男満洲別院在勤申付に付上申書	浄喜寺衆徒履歴書	布教使加来神正開教使任命並びに奉天別院在勤申付に付上申書	開教使松田常行退職願	布教使松田常行依願退職に付上申書	栗林兵衛に対する表彰状文案
本多進	満洲開教監督藤岡了淳	桑野晴男	満洲開教監督藤岡了淳	加来神正	満洲開教監督藤岡了淳	四国村布教所開設係開教員松田常行	満洲開教監督藤岡了淳	—
—	宗務総長	—	宗務総長	—	宗務総長	満洲開教監督藤岡了淳	宗務総長	—
昭和18年3月	昭和18年3月29日	昭和18年3月9日	昭和18年3月30日 3月18日 3月1日付	昭和18年3月	昭和18年3月30日	昭和18年3月27日	昭和18年4月13日 3月31日 3月18日付	—
—	—	—	※転勤のため。	—	—	—	—	※添申として賞品はあり合わせの木盃一個を下附するとある。

1273	1272	1271	1270	1269	1268	1267
307	307	307	309	309	326	326 301 ・ 322
平塚武履歴書	布教員二級任命に付上申書	中川敏雄履歴書	昭和一八年度満洲開教費例月支給送金内訳書	昭和一八年度満洲開教費例月支給送金認可に付上申書	故畠山頼哲に対する一樹院釋淨映染筆院号法名下附願に付上申書	尼崎三之助に対する染筆下附願に付上申書
塚武 拓団布教所主任平	濱江省木蘭県老石房第八次河路村開拓団布教所主任平	越中国第參組恵林寺衆徒中川敏雄		満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳	満洲開教監督藤岡了淳
	宗務総長			宗務総長		宗務総長
昭和17年7月27日	昭和18年5月16日	昭和16年10月10日		昭和18年4月6日	昭和18年3月30日	昭和18年5月3日
	※中川敏雄布教員を二級に任命。		※満洲開教費内訳。一、開教監督部費。二、伝道費。三、人材養成費。四、既設教場費。五、開拓地開教費。六、満洲開拓布教者訓練所費、の六項目にそれぞれの例月支給金が書かれている。		※昭和18年2月7日死亡した畠山頼哲は大正八年現在の満洲別院前身である新京布教所の創立者として功勞があったので、染筆院号法名(一貫代)の下附を申請。※付箋あり。	※堺市中瓦町尼崎三之助が昭和13年5月20日に満洲別院の本尊として平安期の木彫阿弥陀如来像一体を寄進したので、その篤志を一派より表彰並びに染筆の下附願い。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1283	1282	1281	1280	1279	1278	1277	1276	1275	1274
301 ・ 307	307	307	307	307	306 ・ 307	330	307	307	307
北五道崗布教所開設係申付並びに経費支給願に付上申書	北五道崗布教所開設係申付に付上申書	戸籍証明書	大谷中学校卒業証明書	滿洲別院在勤開教員申付に付上申書	外地、外国における開教使・開教員応召者報告に付上申書	興亜局興亜部附録事稲葉真意帰休取消に付上申書	布教員中條是秀開教員差解に付上申書	恩行寺衆徒履歷書	布教員三級任命に付上申書
滿洲開教監督藤岡了淳	滿洲開教監督藤岡了淳	福井県坂井郡木部村長岡本與四郎	大谷中学校長野間修	興亜部長山口徹澄	興亜部長山口徹澄	興亜部長山口徹澄	興亜部長山口徹澄	木下時春	滿洲開教監督藤岡了淳
宗務総長	宗務総長	—	久光圓耀	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	—	宗務総長
昭和18年 4月20日	昭和19年 1月13日	昭和19年 5月3日	昭和19年 6月22日	昭和19年 9月11日	昭和19年 6月5日	昭和19年 3月19日	昭和19年 9月12日	昭和17年 10月9日	昭和18年 5月20日
※開教員木下時春を東安省密山県北五道崗布教所の開設係に申付、布教所に月額補助金60円を支給。※開設係に任命の際に、開設費・御本尊並仏具費・赴任準備費の経費を支給してほしい旨。	※開教員木下時春を、昭和18年4月1日付で東安省密山県北五道崗布教所の開設係に申付。	—	—	※布教員久光圓耀を昭和19年9月10日付で滿洲別院在勤の開教員に任命。	—	—	—	—	※平塚武布教員を三級に任命。



1291	1290	1289	1288	1287	1286	1285	1284
301	307	307	307	307	307	307	307
絵像本尊下附に付原価見積照会願	大連別院在勤採用・任命に付上申書	正得寺候補衆徒履歴書	開教員並びに大連別院在勤申付に付上申書	大行寺衆徒履歴書	開教員並びに哈爾濱別院在勤申付に付上申書	本龍寺衆徒履歴書	開教員並びに弥栄布教所在勤申付に付上申書
興亜部	大連別院輪番高西賢正	渡邊智旭	臨時滿洲開教監督部扱山口徹澄	高山幽之	興亜部長山口徹澄	本多明	興亜部長山口徹澄
係	庶務部繪表 谷瑩潤	宗務総長大	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長
	昭和19年2月23日	昭和19年2月18日	昭和11年3月6日 昭和19年3月20日 日申付	昭和19年3月14日	昭和19年3月13日 昭和19年3月15日 日申付		昭和19年3月13日 昭和19年3月20日 日申付
			※開教員並びに大連別院在勤に申付られたのは渡邊智旭。※上申日の昭和11年は19年の間違いか。		※昭和19年3月15日付で、高山幽之（福井県坂井郡鷹巣村大行寺衆徒）を開教員に申付。	※本龍寺は東京都浅草区今戸にあり。	※昭和19年3月20日付で本多明（東京都浅草区今戸本龍寺衆徒）を開教員に申付。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1297	1296	1295	1294	1293	1292
307	309	309	309 ・ 311	330	309
依頼 読書指導員養成所講習生推薦	満洲開拓読書協会より派遣要請に付出張補助費支給願	成吉思汗廟大祭典礼金請求並びに招待状添付に付上申書	哈爾濱留学生へ防寒具費支給願に付上申書	願 興亜局長重永潜療病に付休暇	積書 北五道崗布教所下附用本尊見
財団法人満洲開拓読書協会理事長五十子巻三	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	満洲開教監督本明龍貫	宗務総長	興亜局長重永潜	庶務部繪表掛
東本願寺満洲別院開教監督部長	宗務総長	宗務総長	満洲開教監督本明龍貫	宗務総長	興亜部
1月18日 康徳11年	2月11日 昭和19年	11月7日 昭和19年	3月30日 昭和19年	9月20日 昭和19年	5月7日 昭和18年
※満洲開拓読書協会講習生募集に付、北安班長から開教監督部下瑞穂村東本願寺二侯義山氏の推薦状支給を願う旨。	※開拓読書指導者養生に講習会出張補助として、金200円を下附願ひ、開拓地開教費中から「開拓地教化費」として支給する旨。 ※満洲開拓読書協会。	※満洲国政府の蒙古族教化機関として興安市郊外「成吉思汗廟テフ大殿堂」を建立。成吉思汗廟大祭典を開催するにあたって礼金を請求。 ※上申書、招待状、受領証、成吉思汗廟臨時大祭諸行事日程表の4点あり。	※ロシア語習得のため、哈爾濱学院特修科に留学した清井義雄と勅使善法に防寒具費を支給の旨。なお、既に支給しているため、2月分の清算書確書に入れた事が報告されている。	※休暇期間は9月20日より5日間。	—

1306	1305	1304	1303	1302	1301	1300	1299	1298
309	309	301 ・ 309	301	309	301	307	309	307
昭和一九年度真宗大谷派負担補助金依頼	昭和一九年度満洲仏教總會真宗大谷派負担金請求に付上申書	嫩江布教所開設に付補助増額上申書	絵像本尊見積書	絵像本尊原価照会	樺甸布教所開設許可願	陽願寺衆徒出雲路康哉履歴書	樺甸布教所開設係任命に付上申書	読書指導員養成所講習生推薦依頼並びに募集要項
智願	龍貫	龍貫	興亜局興亜部	興亜部	吉林布教所主任出雲路康哉	出雲路康哉代(藤原)	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	財団法人満洲開拓読書協会理事長五十子巻三
財団法人満洲国仏教總會副会長姫宮	満洲開教監督本明	満洲開教監督本明	興亜局興亜部	興亜部	吉林布教所主任出雲路康哉	出雲路康哉代(藤原)	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	財団法人満洲開拓読書協会理事長五十子巻三
真宗大谷派	宗務総長	宗務総長	係 庶務部絵表	係 庶務部絵表	大谷派宗務総長	—	宗務総長	—
6 康徳11年 24日	8 昭和19年 10日	9 昭和19年 21日	4 昭和19年 4日	4 昭和19年 3日	3 昭和19年 4日	3 昭和19年 3月	3 昭和19年 20日	12 康徳10年 28日
—	※昭和19年度満洲仏教總會当派負担金として二〇〇〇円を請求。	※嫩江布教所の開設に際し、仮布教所を引払い、また開設時支給分が未だに支給されていないので支給してほしい旨。※受領人は開設係林實明。	—	—	※出雲路康哉と同郷の高田派佐々木隆章は大谷派へ転派し、吉林省の樺甸布教所開設事務在勤に申付願。	—	※吉林布教所在勤出雲路康哉を吉林省樺甸県樺甸布教所開設係に任命し、昭和19年3月1日付で月額補助金50円を支給する旨。	—

1311	1310	1309	1308	1307
309	309	309	309	309
満洲開教団補助金請求に付上申書	登坂出仕工作巡回費請求に付上申書	成吉思汗廟大祭典礼金請求並びに招待状添付に付上申書	満洲開教概要印刷費請求に付上申書	昭和一九年度満洲開教費例月支出に付上申書
龍貫 満洲開教監督本明	龍貫 満洲開教監督本明	龍貫 満洲開教監督本明	龍貫 満洲開教監督本明	龍貫 満洲開教監督本明
宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長	宗務総長
昭和19年 11月9日	昭和19年 11月9日	昭和19年 11月7日	昭和19年 11月8日	昭和19年 4月18日
※満洲開教団は昭和19年3月29日の臨時総会において開教団を開教協賛会に改称し、新体制の満洲開教機構運営のため、前年の三倍の経費を請求。※上申書と、昭和一九年度満洲開教協賛会予算の2点あり。	※満洲開教団は昭和19年3月29日の臨時総会において開教団を開教協賛会に改称し、新体制の満洲開教機構運営のため、前年の三倍の経費を請求。※上申書と、昭和一九年度満洲開教協賛会予算の2点あり。	※成吉思汗廟大祭を機に、西尾教授と共に興安総省熱河省錦州省内各地の喇嘛廟その他を巡回歴訪し、民族教化の特別指導の工作にあたるための出張費の請求。※西尾教授は西尾京雄か。	※上申書、領収証、請求書、納品書の計4点あり。	※昭和19年度満洲開教費中例月支出に関して、開教監督部費・伝道費・満洲開拓布教者訓練所費・既設教場費・開拓地開教費等の内訳あり。※上申書他、内訳紙4枚あり。

1317	1316	1315	1314	1313	1312
309	309	309	309	309	309
願上申書 訓練生募集に付旅費経費支出	開拓地部会開催経費内訳に付 上申書	勃利布教所補助金下附願	勃利布教所建築追加補助金下 附願に付上申書	満洲民族教化委員依囑特別研 究費支給に付上申書	満洲開教共済会費補助に付上 申書
龍貫 満洲開教監督本明	龍貫 満洲開教監督本明	木谷慶悦 勃利布教所主任在 勤加田岡俊雄総代	臨時満洲開教監督 事務取扱山口徹澄	龍貫 満洲開教監督本明	龍貫 満洲開教監督本明
宗務総長	宗務総長	谷笠潤 宗務総長大	宗務総長	宗務総長	宗務総長
昭和19年 11月16日	昭和19年 8月16日	昭和19年 1月25日	昭和18年 2月7日	昭和19年 11月9日	昭和19年 11月9日
	※6月20・21日に満洲別院において開拓地部会を開催。その際、開教使を召集するための経費の内訳。	※建築補助三〇〇〇円と二〇〇〇円の千円差額が大きいため、三〇〇〇円を要請。	※布教所建築補助として三〇〇〇円の下附を願っていたが、査定の結果二〇〇〇円の補助をだした。しかし、再度補助金の要請があったため、特別に追加補助一〇〇〇円が下附された。※昭和18年は19年の間違いか。	※満洲民族教化委員依囑特別研究費一名に100円支給する旨。※西尾京雄、清井義雄、北條月照、新馬晋、加藤顕聖の5名。	※満洲開教協賛会において、在満開教使員の相互扶助を目的に共済会を結成。各開教使の会費は役級に応じて予出させたが、死亡弔慰は多額のため、現在の会計状態では実行至難になるので、財源捻出の策として各別院・布教所からの寄附金の納付を依頼。※上申書、大谷派満洲開教共済会会則、大谷派満洲開教共済会会則施行細則あり。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1326	1325	1324	1323	1322	1321	1320	1319	1318
301	301・309	301	301・309	301・309	307	301	307	301・309
絵像本尊原価照会	依蘭布教所南靠山屯安置本尊 下附願	本尊下附に付上申書	本尊見積書	南又布教所開設に付絵像下附 原価照会	光専寺衆徒履歴書	南又布教所開設要求書	南又布教所開設係任命に関する上申書	南又布教所開設並びに開設係任命・下附金願に付上申書
興亜局興亜部	南靠山屯開拓団長 工藤重吉	龍貫 滿洲開教監督本明	庶務部絵表掛	興亜部	加藤元英	—	佳木斯布教所登坂 溪雪	龍貫 滿洲開教監督本明
係 庶務部絵表	宗務総長	宗務総長	興亜部	係御中 庶務部絵表	—	—	滿洲開教監督本明龍貫	宗務総長
11月17日 昭和19年	7月5日 康德10年	11月9日 昭和19年	6月21日 昭和19年	6月21日 昭和19年	—	—	4月27日 昭和19年	5月30日 昭和19年
—	—	※三省省依蘭県南靠山屯開拓団へ本尊下附の旨。	—	※南又布教所開設にあたり、本尊として下附。	—	※南又布教所開設地は、滿洲国木材増産の最大集散地である。市外に青年義勇軍開拓団もいることから、開拓拡張を望み、三省省湯原県南又街での布教所開設を望む。	※南又布教所開設係の任命に関して、加藤元英の推薦・南又の重要性・地跡あり。※上申書の下書きカ。	※佳木斯布教所所在勤の加藤元英を三省省湯原県南又街南又布教所開設係に命じる。※昭和19年5月1日付。 ※開設費・佛具費・赴任準備費の内訳あり。

1336	1335	1334	1333	1332	1331	1330	1329	1328	1327
307	307	307	307	307	319	309	301・309	301・307	301・309
唯佛寺候補衆徒履歴書	満洲別院詰員申付に付上申書	徳恩寺副住職履歴職	布教員・開教員・満洲別院在勤申付に付上申書	僧侶勤員参加了承書	現地教師養成講習会開催聲明並びに作法講師派遣に付上申書	本尊見積書	絵像本尊原価照会	徳恵布教所開設係任命に付上申書	本尊見積書
田原唯臣代(主計/藤原)	興亜部長山口徹澄	末信修	興亜部長山口徹澄	長濱教務所長室江了圓	満洲開教監督本明龍貫	絵表所	興亜部	満洲開教監督本明龍貫	絵表掛
—	興亜局長	—	宗務総長	興亜局長	宗務総長	興亜部	庶務部絵表係	宗務総長	興亜部
—	昭和19年7月12日	昭和19年7月5日	昭和19年7月6日	昭和19年7月7日	昭和19年8月3日	昭和19年11月22日	昭和19年11月16日	昭和19年11月6日	昭和19年11月22日
—	—	—	院在勤を申付。 ※末信修に布教員・開教員・満洲別	※興亜局より第56号僧侶勤員除外の件に関して下命あり。※末信修長濱勤員4番を僧侶勤員へ参加させる旨。	嘱を願う。※貼紙あり。	—	—	※満洲別院輪番本明龍貫を吉林省徳恵街の徳恵布教所の開設係に任命。	—

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1345	1344	1343	1342	1341	1340	1339	1338	1337
307	307	307	301・309	309	307	309 301・307	307	307
秋聲寺住職履歴書	正等寺衆徒履歴書	布教員・開教員・滿洲別院在勤申付に付上申書	絵像本尊原価照会	本尊見積書	專明寺衆徒履歴書	方正布教所開設係任命に付上申書	願力寺衆徒履歴書	九台布教所開設係解任・任命に付上申書
平塚 武	幅田清稔	興亜部長山口徹澄	興亜部	絵表掛	嵯峨法尊	龍貫 滿洲開教監督本明	大梧照山	龍貫 滿洲開教監督本明
—	—	宗務総長	係 庶務部絵表	興亜部	—	宗務総長	—	宗務総長
昭和17年 7月27日	昭和19年 11月6日	昭和19年 11月6日	—	昭和19年 10月26日	—	昭和19年 9月27日	康德11年 11月6日	昭和19年 11月6日
※濱江省木蘭県老石房第八次川路村開拓団に布教所開設。 ※布教所主任は平塚武。	—	日付例授四級の貼紙あり。	—	—	—	※三江省方正県方正街方正布教開設係任命の旨。(方正駐留嵯峨法尊)・開設費と仏具費下附願。	—	※奉天別院在勤大梧照山を吉林省九台県九台街照明区九台布教所開設係に任命。 ※吉林布教所在勤兼九台布教所開設係出雲路康哉は九台布教所開設係を解任。



1357	1356	1355	1354	1353	1352	1351	1350	1349	1348	1347	1346
307	307	307	309	309	309	309	309	309	309	301・309	309 301・307
竹村スエノ履歴書	竹村スエノ興亜局雇用に付上申書	蛟河布教所開設係任命に付上申書	両面罫紙見積書	監督部用洋罫紙印刷費支給願	刷費下附願 満洲開教監督部用封筒購入印	封筒刷込見積書	封筒見積書	刷費支給願 満洲開教監督部用封筒購入印	本尊見積書	絵像本尊原価照会	通河布教所開設に付下附金依頼並びに開設係任命上申書
滋賀県竹村スエノ	意 興亜局録事稲葉真	龍貫 満洲開教監督本明	協和印刷所	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	協和印刷所	近藤 正	臨時満洲開教監督事務取扱山口徹澄	絵表所	興亜部	龍貫 満洲開教監督本明
—	興亜局長	宗務総長	東本願寺監督部	宗務総長	宗務総長	東本願寺監督部	東本願寺	宗務総長	興亜部	庶務部絵表係	宗務総長
昭和20年4月1日	昭和20年4月6日	昭和19年9月21日	—	昭和19年3月30日	昭和19年3月2日	—	昭和19年3月	—	昭和19年11月22日	昭和19年11月17日	昭和19年11月6日
—	—	※新站布教所在勤高山龍音に蛟河布教所開設係を兼任させる旨。	—	—	—	—	—	※満洲開教監督部用封筒代の貼紙。	—	—	※老石房布教所在勤平塚武に三江省通河県通河街通河布教所開設係を兼任させる旨。※開設費・仏具費・開設工作費下附願。

中国華北・東北・東部モンゴル地域の宗教と文化に関する基礎研究

1367	1366	1365	1364	1363	1362	1361	1360	1359	1358
307 ・ 309	307	309	307	307	307	307	307	307	310
弓削千代子興亜局職員採用に付二等俸戦時手当支給に付上申書	平和子履歴書	平和子興亜局職員にて二等俸戦時手当支給に付上申書	興亜局附書記浮田登代に対する退職慰勞金下附に付上申書	興亜局附書記浮田登代辭職願	興亜局附書記浮田登代退職に付上申書	興亜局附書記浮田登代退職取消及び教務局転職に付上申書	山本恵美子履歴書	山本恵美子興亜局雇用に付上申書	南方仏教親善使節派遣許可願
興亜部長禿諦住	平和子	興亜部長禿諦住	興亜部長禿諦住	浮田登代	興亜部長禿諦住	興亜部長禿諦住	京都市山本恵美子	興亜部録事稲葉真意	東京市京橋区築地本願寺内興亜佛教協会
興亜局長	—	興亜局長	宗務総長	興亜局長	宗務総長	興亜局長財務局長	—	興亜局長	外務大臣松岡洋右
月9日付 上申／4 4月9日 昭和20年	4月8日 昭和20年	月9日付 上申／4 4月9日 昭和20年	4月9日 昭和20年	3月31日 昭和20年	4月9日 昭和20年	4月25日 昭和20年	3月29日 昭和20年	—	8月26日 昭和15年
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

1372	1371	1370	1369	1368
327	325	307	307	307
別院並びに布教所等写真	満洲開教監督部管内における 哈爾濱別院近況報告書簡	専光寺衆徒履歴書	大連別院在勤・開教員申付並びに赴任費支給に付上申書	弓削千代子履歴書
	富山県真林寺	本明皓二	興亜部禿諦住	弓削千代子
	教学部長禿 諦住		宗務総長	
	3月22日	1月 昭和20年	上申 2月2日 昭和20年	4月8日 昭和20年
	※宛先人、京都市烏丸五条東本願寺 寺務所教学部。※差出人、富山県城 端町真林寺。		※布教員本明皓二。	